滿洲日報
十月七日發行
發行人 鈴木昇　編輯人 橋本喜代治　印刷人 本村武盛
大連市東公園町卅一番地 發行所 株式會社滿洲日報社

廣田外相の強調する對蘇、對米兩外交政策
六日の五相會議に提出

【東京七日發國通】政府は去る三日の閣議散會後並に六日の閣議後特に大藏、外務、陸、海軍等五大臣會議を開き非常時局を切拔けるための最高國策審議樹立を急いでゐるが、六日の五相會議に提出せる廣田外相の見解は大體次の如きもので、對蘇、對米政策の樹立を強調せるため、この點については荒木陸相、大角海相との間に相當應酬ありたるもの〻如くであるが今後二、三回の會議によつて最後の成案を得られる見通しが略確實となつた

外交基調　軍部と並行して對內對外上一元的に發動すべく、極東に於ける帝國の自主的立場を確立する方針を以て列國との折衝に努むべし

對蘇政策　ソ聯邦に對しては我國は實質的に兩國間個々の懸案を解決する方針を執るべく、不可侵條約はじめ通商條約其他の形式的取極めによつて双方の立場を束縛するが如きはソ聯邦の特殊性に鑑み極力これを避くべし

對支政策　日支關係の現狀が表面何等の動きなきが如き情勢を示したるため、これが打開策として日支直接交涉を促進すべしなその見解は、全然日支關係の現狀に有害無益のものである、對支政策においても同じく先づ當面の諸懸案を漸進的に處理解決し以て全面的の打開に到達すべし

對米政策　日米關係は滿洲事變後極度に惡化し來るべき一九三五年の第二次華府會議を目前に控へ益々緊張せる情勢にあり、よつて日米兩國の急迫せる情勢を緩和し以て一九三五年切拔の基礎工作として兩國政府間に太平洋平和保障協定實現の目的を持つ政治的交涉を開始すると共に兩國國民の感情融和のため國民的使節交換を行ふべし

各相何れも眞劍だ
荒木陸相語る

【東京七日發國通】荒木陸相語る　會議はこれからも當分每回閣議散會後開かれる豫定で、この會議は結果においては明年豫算の編成に關係あるかも知れぬが、自分は豫算には關係は無いものと思つてゐる、今日の會議も豫算のことは何も話が出なかつたから集つた大臣の顏觸れを見れば話は國防外交のことであることは明かだ、話は主に過去のことばかりで結論を得るまでには未だ却々だ、しかし各相何れも眞劍だから顏を合せてゐればそのうちには何か善い結論が出來るものと思つてゐる

方振武軍主力

【東京六日發國通】陸軍省着情報によれば方振武軍は昌平北方山地に退却しつゝあつたが一昨四日其の主力約四千は再び高麗營西方より小湯金山附近に現れ同地附近守備中の中央軍と對峙中だと

北支諸懸案解決の端緒を得べく期待
有吉、黃郛近く再會見

【北平特電六日發】曩に有吉公使と黃郛の會見において日支外交打開の諒解を暗默の裡に得たが、その後支那側も日支直接交涉の必要を痛感するにいたつたので、近く北平で行はれる有吉公使、黃郛の再會見においてはいよ〳〵北支懸案解決の端緒を得べく期待されてゐる

東洋の協力期待
北支政情視察に向つた 杉村陽太郎公使談

【奉天電話】杉村陽太郎公使は蜂谷奉天總領事、粟野事務所長、野田赤十字病院長、中野領事等の見送を受け七日午前十時廿五分奉山線で北平へ向つた、驛頭にて語る
滿洲の內面及び外面的實狀を素通りではあるが、詳細視察することが出來たので北支一帶を視察する考へで北平には時日の許す限り滯在し見聞する方針である、黃郛君とも會ふことができれば會見したいと思つてゐる、問題は滿洲と相關性を有する北支の政情と、日滿支の今後の關係で國際聯盟を拔きにして東洋の諸國が和衷協力し圓滿なる國際關係を保持すれば宜いのである
と杉村公使の北平行は日支問題の前途に私設公使として何等かの局面轉換が豫想され、停戰協定後の北支政局に好轉を期待されるものと見られてゐる

排日貨
殆んど絕滅
坂西中將の談

支那通として知られる坂西利八郎中將は今年七月末上海に赴き約四十日滯在後青島を經て北支方面を遊歷中であつたが今度菱刈軍司令官に初挨拶をなし軍司令部と種々打合せのため六日入港の青島丸で來連したが北支の情勢について次の如く語る
湯、劉軍と結合を謀つて平津を攻略せんとした方吉聯合軍も力及ばずと見て西方に逃げたから當分平津に兵火は起らぬだらう
黃郛は支那の政治家の中でも最もよく日本を理解してゐるから自衛的立場からも今後の對日政策を惡化するやうなことはないと思ふ、排日貨だつて？そんなことは全然ないよ

河北省の現狀と接收地區の問題
（上）
在北平 風間阜

方振武、吉鴻昌の討蔣聯軍も呆氣なく片づいた。方振武は察哈爾で、その配下の士兵に陰曆八月十五日の節季までには北平で月見ができると出兵をはげましたと傳へられた、恐らく彼が事を起すに當つて萬福麟、王以哲等の舊東北軍も呼應するであらう、李際春、石友三等も「河北國」の出現に協力するであらう、劉桂堂、湯玉麟等は勿論共同戰線を張ることを疑はなかつたであらう、また、彼等の代表は實際に協力を誓言したであらうことは略想像し得られる。方振武は人間が單純で、惡氣はなく湯玉麟や劉桂堂のやうな、土匪の親分のやうな惡ずれはしてゐないので、方々からの甘言乃至承諾をそのまゝ受取つたものであらう、そして縱令舊東北軍の一部、その他方、吉等胸算用の軍隊が呼應したところで現在の河北政權を打倒することは容易のことでは無い、況んや協定線內に這入つての行動である、瘠せ衰へた蟋蟀が晚秋の霜空にすだく姿の運命で寧ろ人をして悲哀を感ぜしめずには措かぬ　これにもなほ河北政權は狼狽したそれ相當なものである。

◇……◇

一時やかましかつた、北平公安局長更迭問題も片づいた。前公安局長鮑毓麟は舊東北第四十七旅長で、民國十五年六月北伐軍の北平占領に際し居殘つて治安維持の任に當り、この任務を果して北平退去に際し通州附近で韓復榘の部下に武裝解除せられた、この部隊は外交團が希望して殘留せしめた關係もあり、外交團の斡旋でやうやくその武器を馮玉祥から鮑の手に還附せしめた事件もあり北平治安には相當緣故がある。その後民國十八年九月張學良が入關して北平の主人となるに及び公安局長に任命され今日に及んだ。彼には特別の政治手腕が無いけれども、舊滿洲旗人の舊東北人であり、殆ど舊滿洲人の地盤となつてゐる北平の警界に取つては誂へ向きの人であるのと萬事が消極的に仕事するから他の敏腕なる南京政治家によく見るやうに種々の好名目で商民から搾取するを遠慮するのと公安局の役得から上る收入を貧民——貧民の大部分は滿洲旗人の子孫にある——に分與したこと等が彼を評判好くした

◇……◇

南京政府が鮑毓麟を免じ、余晉和（前青島公安局長）を任命するや命令が發せられてから各種團體の留任運動が盛んであつたこの運動の色彩から見る時は、余晉和の人物を疑ふといふ意味よりで無くして事通過したので、長く北平を留守した政務整理委員會長黃郛は一日の夜、北上の途につき、途中韓復榘、馮玉祥等とも會見し、北支問題を協議した上、七、八日頃までには北平着、對內外政治工作に本格的に從事することゝなつた。差當りの危險問題は片ついたとしても、この問題は全く餘計な問題である、河北本來の問題としては財政整理、舊東北及び雜軍整理問題、對日政治外交工作、河北接收地區の救濟、整理問題等山積してゐるこれは一朝にして右から左と整理し得られる問題では無く、黃郛等の誠意と手腕とに待つて徐々に解決さるべき問題であり、多くは支那の內政問題で、これを述べんとすれば際限が無い、我々の最も關心を持つものは滿洲國と直接に接觸してゐる河北接收地域整理問題である。

日支事變記念章の授與人員六十餘萬人
十一月初め決定、鑄造開始

【東京特電七日發】滿洲の軍事工作終了と共に所謂戰時事態は解消するわけで、これを契機に內閣賞勳局では滿洲、上海兩事變の出動部隊はじめ動員事務その他軍行動に關係せる官公吏、新聞通信記者總計六十餘萬人に對し授與する從軍記章製作に着手することゝなつた、これが圖案、名稱、受賞者については目下關係當局で講究中で、圖案は飛躍日本を表象するものと決定、圖塑界の巨匠より既に陸海軍に提出されてゐる、名稱は日支事變記念章が有力で、授與範圍は陸海軍が中心となり部隊外は關係各省で審査上申を急いでゐる、圖案決定は十一月初めで勅令發布と共に造幣廳で鑄造を開始する

政府廳舍、官邸の建設を急ぐ
明年の國都建設計畫

【新京電話】五ケ年計畫による首都新京建設の第一年度は正に結氷期を迎へんとしてゐるが、土地の拂下げも豫期以上に好成績を收めたので、來る結氷期においては

第二年度 に拂下ぐべき土地の選定をすると共に政府廳舍の敷地、大官連の官邸、執政府建築の第一年度計畫など愼重研究する筈で、執政府は杏花村を中心とした岡地で楡、柳、杏などの樹木鬱蒼たる森を取り入れ、第一年度は敷地の測量及び谷地を利用した十數萬坪の湖を掘る程度に止める模樣だが、四ケ年計畫で完成せしめることになつてゐる、勿論執政府完成までには執政府正門前順天廣場の政府廳舍及び執政府北面の白山公園、牡丹公園並びに執政府を圍む東萬壽大街、西萬壽大街、興安大路などにかけての政府

大官連の 堂々たる官邸は何れも完成を見るはずである、國都の完成は政府廳舍及びこれら官邸などの建設を急ぐことが大體急務であるとなし今後は極力その方針を以て進む模樣である

蘇聯領事狙擊事件一段落

【新京電話】ポグラのソ聯領事狙擊事件に關しては各方面の注目を惹き成行重視されてゐたが、情報によると三日ソ聯領事はポグラ特務機關長土屋大尉を訪問、同事件を全然個人問題として取扱ふ旨を言明したことが明かとなり一段落を告げたことが分つた

採金調査資料は本年中に整備
愈よ採金會社を設立

【新京電話】採金調査隊は新京出發以來北滿各地の產金狀況視察をなし着々成功を收めつゝあるも、目下精査班は五道河、佳木斯の兩地に分駐し大體の調査完了を見たので七日出發、南下の豫定であるなほ石河に駐留中の概査班は同地方に再び有望なる鑛地發見のためこれが調査の必要にせまられ出發は一ケ月餘り延期されるのであるが、右採金調査隊は何れも鐵嶺に落ち合ひ同地にて本年中に完全なる資料を作成し終ることになつてゐる、而して以上の事業完了と共に待望の滿洲採金會社の設立を見ることになる譯で會社設立後も調査隊は引續き會社の調査隊として依然滿洲各奧地において採金調査業務に携はることになつてゐる

滿鐵豫算重役會議
愈よ九日から開く

昭和九年度滿鐵豫算は事業費、營業收支とも既に各計算箇所より經理部に提出され、同部において查定中のところ原案の作成を見たのでいよ〳〵來週早々九日から豫算重役會議に附議することに決した同會議はまづ事業費を上程、約一週間に亘つて繼續し、終了後なほ二、三日間問題を起した項目について最後の討議折衝をなした上で事業費全部を決定、引つゞき營業收支豫算に入るが、この方は例年一、二日で濟むから十七、八日ごろには全豫算が重役會議を通過するわけである、豫算書の印刷は約一週間を要するから二十五、六日ごろには完成すべく、關東廳への說明を了し竹中理事が携帶して上京するは本月末になる豫定であるなほ竹中理事を助けて政府方面への說明に當るため市川經理部長も木村豫算係主任を隨へて十一月上旬には上京の運びとなるべく、九年度豫算は未曾有の膨脹をなしたゞけに關係方面への說明も自然力が要る模樣である

滿鐵重役會議

滿鐵重役會議は七日午前十時から正副總裁以下各重役、總務部、鐵道部各關係者參集のうへ總裁室で開かれ、先づ奉天、四平街、新京各驛の共同驛使用に伴ふ擴張案を審議、滿場異議なく可決確定し、次いで來週から豫算會議が開かれる關係上早急解決を要する各部の細部的問題を審議、同十一時散會した

滿鐵社員會の臨時幹事會

滿鐵社員會臨時幹事會は來る十四日開かれることに決定したが、今回の會議ではさきに幹事會で研究することゝして保留となつてゐる社員會規約改正について最後の決定を採り更に今回設定される社員會本部および各聯合會の會計規約についての審議を行ふ筈

滿鐵語學檢定筆記試驗結果

滿鐵の昭和八年度語學檢定試驗は語學熱の勃興につれて應試者支那語二九九八人、ロシア語一八〇人の多數に達したが、筆記試驗の結果は左のごとく發表された
▲支那語　特等二七、一等五〇、二等一二五、三等三七九、四等五九五、合計一、一七六人
▲ロシア語　特等四、一等九、二等一七、三等三六、合計六六人
なほ本試驗は十月十八日の撫順を皮切りとして十二月二十日の大連を以つて終了するが合格者氏名の發表は十二月二十九日の滿鐵社報上でなされる筈

附屬地學校增設決定

滿鐵地方部では附屬地居留民の激增に伴ひ小學校の不足を招き本年四月以來既に十五學級を增設したほか、更に本年中には二十一學級を增設し目下竣工を急ぎつゝある奉天第六、鞍山第二の兩小學校も本年中に完成の筈であるが、これを以てしても容易にその不足を補ふ見込がなく、この結果重役會議に學校および學級增設に關し追加豫算を提出したところ、この程その決裁も得たのでいよ〳〵九年度中に新京第三小學校の增設のほか附屬地全般に亘り十五學級を增設することに決定、不足の緩和を圖ることゝなつた

後宮大佐上京

關東軍司令部附大佐、滿鐵囑託特務、鐵路總局顧問後宮淳氏は七日出帆ばいかる丸で滿鐵山崎理事と同船急遽上京したが埠頭で村上、山西滿鐵理事、佐藤建設局長等とあわたゞしく何事か協議を重ねた後宮大佐は語る
關東軍、滿鐵、鐵路總局みんなそれ〴〵の用事があつて上京するのだ、要件は具體的にはいへぬ、山崎理事の上京要件とは關係なく別行動だ、本月末には歸つてくる

坂西氏滿鐵訪問

貴族院議員坂西利八郎氏は七日午前十一時滿鐵本社を訪れ林、八田正副總裁と會談約卅分で辭去した

うらる丸

八日午前七時三十分大連港外着豫定

▲山口二郎氏（前金州南金書院長）熱河省公署敎育廳赴任につき新任挨拶のため七日午後本社來訪
▲柳原勘次郎氏（金州公學堂南金書院長）新任挨拶のため七日本社來訪
▲植田金治郎氏（普蘭店公學堂長）同上
▲熊谷直太氏（衆議院議員）七日入港あめりか丸にて來連
▲山田喜久雄氏（辯護士）同歸連
▲釘本昌二氏（農林省技師）同來連ヤマトホテル投宿
▲毛里英於菟氏（滿洲國特別會計課長）同歸連午前九時發列車にて新京へ

◇
歐洲では「黑色」と「薔色」との睨み合ひが始まつた。
◇
ムッソーニとヒットラー、無論笑ひ出した方がまけ。
◇
「救國」はカモフラーヂ、實は「求錢」がその正體。
◇
ロボット英雄を「馬首」とする後援會、遂に「馬脚」を現す。
◇
問題の人山田辯護士歸る、山田君果して大伴の黑主？否？。
◇
腐肉二包、海路押送。
◇
はたかて溝に落ちけり秋の蠅

有色人種を差別待遇
ドイツ政府が法律制定を用意
我大使館抗議準備中

【東京特電七日發】ベルリン六日發電によれば、ヒツトラー政府はユダヤ人排斥に關聯して、一切の有色人種の土地所有を禁止すると共に、ドイツ人がこれ等の人種と結婚又はダンスする事さへ禁ずる法律制定を用意してゐる、有色人種の中には日本人も含まれこの差別觀念が外交方面にもおよび最近日本人侮蔑事件が起りつゝあるのでわが大使館は嚴重抗議の準備中である

心からの接待に勇士たち大喜び
けふの凱旋將兵接待模擬店

輝く第六師團の凱旋、鉾をさめた九州男子は割れるやうな市民の歡送迎裡に續々原隊に集結しつゝあるが、いよ〳〵その殿軍高田部隊は七日午後五時出帆御用船羽後丸で歸還する、これ等次々に凱旋する部隊に對する本社並びに滿日婦人團各女學校卒業生等の接待になる模擬店は百パーセントの效果を收め至れり盡せりのもてなし振りに若い逞しい勇士等を感激させてゐるが、七日最後のサービス、場所を關東倉庫內の廣場に變更して時間的に惠まれない將兵に充分歡待の眞心を見せやうと午前十一時から幔幕を引き萬國旗を飾つておでん、うどん、栗、りんご、だんご色とり〴〵の模擬店が開かれる、姉さん冠りの娘さん達奧さん達、滿洲國の女學生が甲斐々々しく兵隊の間を走り廻る、サービスもすつかり一人前以上、慣れたものである、秋のひざしを浴びながら滿腹した兵隊さん達レコードに聞き入つてゐる樣は美しい繪柄である、かくて正午近くうどん、おでんの品切れといふ繁昌ぶりを見せこの企ては頗る有意義に深い感銘を與へて午後三時終了した（寫眞は大繁昌の模擬店）

▲山崎元幹氏（滿鐵理事）七日出帆ばいかる丸にて上京
▲後宮淳氏（鐵路總局顧問）同上
▲大場鑑次郎氏（關東廳警務局長）七日午前七時四十分着列車にて
歸任
▲御厨信市氏（關東廳外事課長心得）同上
▲山中德二氏（關東廳商工課長）同上

東天紅（217）
田中純
林一三畫

貞操の危機（五）

夢中で鎌倉驛に駈けつけた相良は、折よくプラットフォームに入つて來た東京行きの列車に、すぐに乘り込んだ。それは僅か五十分間の車中であつたが、相良には、數時間の長さに思へたほど、彼の心持は焦つてゐた。

彼の氣持が、何故こんなに焦るのか、相良自身にもはつきり解らなかつた。ただ、何故ともなく、神田夫人の身邊に、豫期しがたいやうな危機が迫つて居るやうな氣がしてならないのだつた。

燒けるやうな焦慮の中に、相良が漸く東京驛に着いた時には、暮れ易い冬の日がすつかり夜に入つて、佗しい街燈が、人氣の少ないビルデング街を照らして居る頃だつた。相良は、すぐに驛前のタクシイを拾つて、麴町の松波邸に驅けつけた。松波邸には、彼はその後鮎子に呼び出されて、三四度も遊びに行つたことがあるので、家の中の樣子が、ほゞ解つてゐた。

彼は、平常ならば、內玄關に廻つて、鮎子への取り次ぎを賴むのであつた。鮎子の部屋は、この廣い邸內の裏庭の方に、小ぢんまりと建てられた煉瓦造りの二階家にあるのだつた。その日も、彼は、先づ鮎子に會つて、樣子を聞いて見やうかと、よつぽど思つたのであるが「もしや」と考へると、躊躇された。世間知らずの鮎子に、こんなことを知らせると、却てことが面倒になるやうに思へたからである。

そこで、相良は、內玄關とは逆の方へ廻つて、暗い植込みの中を、本館の方へ近づいて行つた。そこは、主屋とはまた別の一棟をなした鐵筋コンクリイトのライト建築で、階下に廣い應接室や、食堂があり、階上には、陽之助の書齋や、化粧室や、寢室があつた。

相良は、今夜何か事が起れば、この本館の何處かであるに違ひないと思つた。で、こつそりと足音を忍ばせて、近づいて見ると、果して燈火が、二ケ所の窓を照し出してゐた。一つの灯は、應接間らしい窓にあか〳〵と輝いてゐたし一つの灯は、二階の書齋らしい小窓に、ちら〳〵と動いてゐた。

相良は、身を縮めるやうにして先づ應接室の窓下に近づいて行つた。窓は相當に高かつたが、手近の松の枝に足をかけると、辛うじて室內の一部を覗き込むことが出來た。

それは、豫期したよりも宏壯な部屋で、ふか〴〵と溫かさうな椅子や、きら〳〵とシャンデリヤに照り映えて居る小卓など、何れも贅を盡したものらしく見えたが、かんじんな人影は何處にも見えないばかりでなく、人の居るらしいけはいさへしない。

「變だなア」

相良は、さう呟いて、今度は、隣の窓から覗いて見た。が、そこからも何の變つた樣子も見えない。

彼は、思ひ切つて、主屋に近い、反對がはの窓に廻つて見た。見ると、奧の方の二階への出口に近い壁ぎわのソフアの上に、一人の女らしい姿があるではないか。それは、相良の覗いて居る窓からは、相當に遠い場所であつたし、ライト建築の特長として、壁ぎわは光線が弱いので、最初は誰だか解らなかつたが、——しばらく見て居るうちに、晶子であることが解つた。

「おや、大貫さん一人か知ら」

彼はもう一度、部屋の中を見廻したが、何處にも、ほかの人影は見えない。而も、よく見ると、彼女は、膝の上に本を開いたまゝ、それを讀まうとするでもなく、誰かが來るのを待つてでも居るやうな樣子で、ぼんやりとして坐つて居るではないか？

「おや。それではまだ、神田さんの奧さんが來ないのか知ら？」

呟いた瞬間に、相良は、何だか人の言ひ爭つて居るやうな聲を、何處からか、かすかに聞いたやうな氣がした。

上陸と共に檢察局へ山田辯護士出頭
高井檢察官が取調べ

兒玉事件の全貌を逸早く握り、博士に自首の運びを安東博士と協議の上、二十三日ひそかに飛行機で東上したこの事件に重要な役割を買つてゐる山田喜久雄辯護士は事件が明るみに曝け出されると共に或ひは事件を知り乍ら直に自首せしめなかつた點につき非難の聲を浴び、または辯護士として職能外の策謀迄計つたのではないかと官邊筋からも注視されるなど事件のキーを握る丈にその行動はすこぶる興味をもつて見られてゐるが七日入港あめりか丸で恩師熊谷直太辯護士ともども歸連した、これより先高井檢察官は水上署司法係へ山田辯護士上陸と共に直に任意出頭の形式を以て檢察局に出頭せしむべしと命令して來たので水上署栗林部長より山田辯護士に傳へられ午前九時上陸と同時に檢察局に出頭、高井檢察官の登廳を待つて第四調室に入つた、高井檢察官の取調べは嚴秘に附されてゐるが、山田辯護士が事件の鍵を握つてゐると見られてゐるだけに取調は相當峻烈を極めた模樣で、正午まで續けられたが、晝食のため一時休憩となり、調室を出た山田辯護士は久しぶりに法院辯護士室を訪れたが、記者に對して次の如く語つた

まだ晝からも續くので話しはその後にしてくれたまへ、僕の行動が非常に問題となつてゐるやうだが、辯護士としてなし得る範圍において行動したのみであつて一點後暗い處はないつもりだ、檢察官に對してもその點よく了解してもらうべく事情を大體述べてゐるのである

更に關東廳辯護士會に對する態度を問へば

會から事情を話せと云はれるなれば或る程度話すが、然し如何に辯護士會にとは云へ、個人の秘密に關することは話すことが出來ない、自分は飽く迄辯護士としての本分を守つて行動するだけだ

て法律的な鑑定はさせないでくれ

上陸と共に星ヶ浦ヤマトホテルに投宿した

事件の全貌を知らずに上京した
船中で　山田辯護士語る

山田辯護士はまさか上陸直に檢察局へ任意出頭とは露知らず、あめりか丸二等五號室に納まつてゐたが沖迄出迎への記者團の包圍を受け流石にその物々しい有樣に顔面は蒼白となる、極力面會をさけ乍ら

檢察官に會ふ迄は何も聞いてくれるな、立場が無いだらうつてそんな事はない、自分は自分の最も正しいと思ふ事を信じて實行したのだ、事件を自分が知つたのは十八日、その日兒玉博士は衛研の長田氏と共に私の事務所に來て話されたのだ、自分のその時の考方としては御承知の如く博士があゝした學研の人格者だし自首の時期によつて最惡の場合を想像して善後處置をさるべく長兄の衛一氏を訪れる事になりあさの事は二十一日衛生研究所で安東博士と三人で會つてすべてを安東博士に一任したのだそれは要するに自首の時期の何日やるかといふ事でその時にも大分議論された、即ち安東博士は即時自首論で兒玉博士はそれを非常に躊躇されてゐた樣だつた、しかし私が中をとつては四日間位間を置いてからといふ事に一決し自首も兒玉博士は吃音で不明瞭な點が多いから安東博士からすべてを正しく說明して頂いてはと云ふ事に一決したのである、長兄の衛一氏とは信州の戸倉温泉で會ひ結局私の恩師である熊谷辯護士にすべてを一任する事になり自分は山本代議士と共に上京した樣なわけで既にその時分は新聞社の知るところとなつて大變な騷ぎであつた、中薗と勝美夫人とが一諸に内地に行つたなぞとは全く考へられない、自分は一度勝美夫人に會つて博士の悲慘な心境を打明けたいと思つたがそれも果せなかつた、中薗といふ男は全然未知な男で博士自身が「恐らくあの男を知つてゐる者は大連にもないだらう」と云つてゐた位だ、博士がたしか自分のトリックに掛かつてゐたなぞと云はれた樣だがそれは何か博士が聞き違ひをしてゐるのではないかと思ふ、とにかく重大事件であり危險性のある事件なので充分斯界の權威者に辯護をと云ふので熊谷辯護士に依頼したんだが、最後に自分がハツキリ云つておきたいのは自分が如何にも事件の全貌を知つてゐる樣に云はれるのは困つたもので僅かに一部しか知らないものである、今一つは自分が事件を知つて告發しなかつた事に對する非難に對してはあゝした問題だけにセンセーションを起したのだが義務はないと思ふ、しかし自分は自首する事を極力すゝめると共に博士にむしろ中薗を告發するどちらかの方法を執る事を主張してゐたものである、とにかくあゝした博士だけに自分も本氣になつて一肌脱ぐ氣だつたのだ

實兄の依賴で辯護に立つ
來連した熊谷直太氏

兒玉事件辯護の役を買つて出た斯界の元老熊谷直太辯護士は七日入港あめりか丸で山田辯護士と共に來連したが船中語る

私がこの事件を引受ける樣になつたのにはこの七月代議士團の一行中一緒に來滿した山本代議士と兒玉博士の長兄衛一氏が來られて色々頼まれたのと、山田辯護士が七八年前私の事務所に居つた關係で私を賴つて來たので期せずして皆の氣持が私に集つたのだ、何故長野縣の人が態々私のところへ來たかといふと大正九年長野上田の近く丸子町で騷擾事件があり、それに私が關係して全部無罪にしたので大變それを喜んで頂き當時山本代議士が縣會議長をしてゐた關係で私が選ばれたのだ、事件は大體私がお引受したいと思つてゐる、只云つておきたいのは辯護士に二つの職分がある、法律に從ふ場合と被告人の立場についてよく考究しなければならぬ場合と、山田辯護士の場合もよく考へなければならぬと思ふ、それと今一つ兒玉博士はあゝした學研の權威者で大發明の前にある人だけに社會的に相當愼重に考へばならぬと思ふ、まあ今こ

歸連した山田辯護士（向つて右）

覺悟を決めた中薗が危險
船中監視に苦心する・沙河口署の寺内刑事

【門司特電七日發】阿部、上郡山兩部長監視の下に神戸からはるびん丸で八日朝門司に着く勝美夫人中薗の兩人を門司に待ち受けて護送の任に當る沙河口署の寺内刑事堤巡査の兩氏は大連から七日朝うすりい丸で門司着茶庄旅館に一先づ落ついた、寺内刑事を訪ふと

明日から一生懸命働かねばなりません、これから門司水上署に行つて署長さんによく相談して手落なくやりたいと思つてゐます、情報によると中薗はたつた一目でよいから勝美に會はせてくれ、一目見せてくれと哀願してゐるさうですが彼は既に立派に覺悟をしてゐるから却つて危險です、一目でも會はせようものなら眼でどんな打合せをして舌でも嚙んで自殺せぬとも限らぬ、彼のまだ決心せぬときの方が扱ひよいので決心したら油斷はならぬ、そこで明日門司に着いたら勝美は門司水上署の移動警察官の部屋に入れて同警察と吾々と一緒に監視し中薗は三等室で多數の乘客のゐる中に置いてこれが中薗であることを誰の眼にも判らせ吾々は勿論寢ずの番だが多數の眼にも監視して貰うといふ方法をとりたいと思つてゐる、中薗は手錠がはめてあるが勝美は任意連行の形式にしてある、しかし人權蹂躪にならぬ程度で十二分の監視をします、また大連に着いたら見物人で埠頭は大變だらうと思ひますが下手にこつそりあげるやうなことをして最後の場で逃げられたり自殺されたりしてはならぬから堂々と上陸する積りです、無論二人を同時にはあげない、幾らか時間を置きます、なほ兒玉博士が投げ込んだ短刀の捜査は私の責任で熱心に河を捜したが遂に判らなかつた、博士は嘘をいふのではないと信じますが發見されません

と語つた

博士嶺前屯へ

兒玉博士に對する沙河口署の取調べも大體終了したので今後檢察局との連絡上刑務所の方に移される事になり兒玉博士は七日午前九時半岩崎刑事に護られながら署用自動車512號にて市内嶺前屯刑務支所に送られた

去月二十四日夜沙河口署に自首して以來約二週間沙河口署の薄暗き留置場に蔽はるゝ南京虫さへ堪へ難き不自由さに惱まされたらしく、蒼白な面持でセルの着物にセルの袴をつけやつれ果てた姿はいたく同情を惹いた

のぞく人目に萎れる勝美
はるびん丸に乘船

【神戸にて長谷部特派員七日發】大連に向つて六日午後十一時和歌山を送り出された勝美夫人、中薗の二人は秋雨降りしきる阪神道路を自動車でつッ走り七日午前四時神戸に着き神戸水上署に預けられたが、一目會ひたいといふ中薗の念願も遂に容れられず、二人が顔を合す機會は寸時も許されず憂愁に惱む二人の姿は今日も降りしきる秋雨の如く哀愁を喫つてゐる、二人は二十錢の官給辨當を平げて出帆の時を待つたが流石に大連に向けての船路の旅を目前に控へてさまざまの思ひに耽つてゐたが正午出帆間際に水上署員の手で巧に群がる彌次馬をまいてはるびん丸に乘り込ませたが、こゝでも二人を會はせることを避け、勝美夫人は上郡山刑事に護られて船首三等室、中薗は阿部刑事附添ひで船尾三等室に納まつた、阪神一帶の好奇の眼に追はれてゐた二人が乘つたといふので船内は上を下への大騷ぎとなり二人の船室を覗き込む有樣に流石に勝美夫人はしほれ返つてゐたが定期船のドラの響きとともに船が動き出せばホッと大きいため息をつき思ひ出深い母國の秋景色を眺めて深い物思ひに沈んで行つた

神兵隊黑幕天野氏
哈市に潛入

【ハルビン特電七日發至急報】神兵隊の黑幕として重大視されてゐる靜岡縣濱松出身天野辯護士（四三）は當局の嚴重な捜査に拘らず杳としてその消息を絶つてゐたが八月十六日以來ハルビン名古屋ホテルに止宿し人目を避けてゐたこと判明し七日朝九時四十分物々しい警戒裡に總領事館警察官が附添ひ新京に護送された、新京で令狀執行され警視廳派遣員の手に引渡される筈

明日のラグビー戰

八日午前十一時二十分より工專球場に於いて開始する筈であつた大連倶樂部對工專ラグビー戰は工專試驗中に付中止するが他の大連滿鐵對工大戰滿電對工大戰大連商業對滿鐵育成戰は午後一時、二時二十分、三時三十分の三回に亘つて舉行する

扶餘附近と長嶺縣城眞性ペスト發生
農安から侵入蔓延の兆

【奉天電話】ハルビンよりの情報によると二、三の兩日に亘つて扶餘縣城附近に二名の眞性ペスト發生し四日何れも死亡したが、長嶺縣城にも三十日二名のペスト新患者が發生死亡した、これ等は何れも目下猖獗中の農安方面より侵入したものらしくペストは漸次北方に延び北滿方面に蔓延する傾向あるため中央部では同地方に醫師を派遣防疫に努めつゝある

【新京細菌檢査所七日發】滿鐵衛生課入電によれば四日長嶺縣長より吉林廳に發したる情報によれば農安より長嶺に赴きたる滿人男女各一名長嶺東門外約二支里ゴカントンに至り發病し腺ペスト樣の症狀を呈して死亡した、その後同地に十三名發病し內十名死亡しますく蔓延の狀況にあると

補回戰でセ軍惜敗
ジ軍テリーが本壘打
ワールド・シリーズ第四回戰

【東京特電七日發】ワシントン六日發＝ワールド・シリーズ第四回戰はグリフイス・スタヂアムに於て六日午後一時三十分よりジ軍先攻にて開始されたがセ軍は新進のウイーヴァー投手をたてゝ必勝を期し、これに對しジ軍は一回戰の勝利投手ハツペンをたて、双方打擊戰を演じジ軍第四回にテリーの本壘打で一點を先取しセ軍も第七回に一點を返し遂に延長戰に入り第十一回にジ軍貴重な一點を入れ遂に二對一でジ軍三勝し七日の一戰により覇權が決せられることゝなつた

經過

ジ軍	000100000001	＝2
セ軍	000000100000	＝1

◇一回　ジ軍ムーア四球に出でクリッツの二直で併殺、テリー二壘強襲安打したがオツト三振▼セ軍無得

◇二、三回　兩軍投手好投して強打者連續凡退

◇四回　ジ軍クリッツ遊飛の後テリー中堅觀覽席にシリーズ三本目の本壘打を放ち一點を先取、

流石のウイーヴァーも動搖の色あり、オツトに四球を出しデーヴィス三壘強襲安打に續きセ軍の危機いたる、ヂヤックソン三邪飛後マンキユーソ四球に二死滿壘となりしもライアン三振▼セ軍マイヤー投飛ゴスリン一壘に最初の安打を放ちマヌーシユ四球、クローニンの右飛にゴスリン三進せるもシユルトの遊飛に終る

◇五回　ジ軍一死後ムーア左翼安打せるも以下セ軍の好防に止む▼セ軍二死後シユルト安打ありしのみ

◇六回　ジ軍オツト右中間に安打してデーヴィスのバントに進みしもジヤツクソン右飛マンキユーソ四球に敬遠されライアン投飛に終る▼セ軍マイヤー遊擊強襲に出でゴスリンの犠打に進みマヌーシユの二匍を二壘手一投する間にマイヤー三進せるもマヌーシユのアウト問題で場內騷然となりクローニン三振に終る

◇七回　（七回に先き立ちセ軍マヌーシユの問題で審判員と論爭したが審判はマヌーシユに出場を禁じたのでセ軍はハリスを右翼にゴスリンを左翼とする）ジ軍一死後ムーア三遊間を抜いて二壘打しクリッツの遊匍に三進せるもテリーの投匍に空し▼セ軍一死後クーヘル投手をあやまらして生きブルージユの投匍に二進しシウエルの中前安打に一擧還り同點となる、ウイーヴァー二飛

◇八回　ジ軍オツト遊擊に猛打して生きデーヴィス三振ジヤックソンの二匍に危く二壘に生きたがマンキユーソ遊匍▼セ軍マイヤー死球後ゴスリンの投匍に封殺ハリスの遊匍でゴスリンも封殺、クローニン右翼に安打しハリス三進したがシユルト二飛

◇九回　ジ軍ライアン一壘頭上を抜きハツペルのバントに送られしも後援なく▼セ軍三者凡退して遂に延長戰となる

◇十回　ジ軍凡退▼セ軍一死後マイヤー中前安打、ゴスリンの二匍に二進しハリス四球に續きしも、ものにならず

◇十一回　ジ軍ジャックソン三壘線に內野安打しマンキユーソのバントに送られライアン左前安打に決勝の一點を擧ぐ、ハッペルも左中間に安打しライアン二進（セ軍投手ラッセルとなる）ムーア三振、クリッツ中飛▼セ軍奮起してシユルツ左翼に安打しクーヘルのバント內野安打となりブルージユのバントで三、二進しシウエル四球で一死滿壘の好機となりしもPHホールトン遊匍して併殺、セ軍惜敗す

ジ軍

守	選手
7	ムーア
4	クリッツ
3	テリー
9	オツト
8	デーヴィス
5	ジヤツクソン
2	マンキユーソ
6	ライアン
1	ハツペン

セ軍

守	選手
4	マイヤー
97	ゴスリン
7	マヌーシユ
9	（ハリス）
6	クローニン
8	シユルト
3	クーヘル
5	ブルージユ
2	シウエル
1	ウイーヴアー
1	（ラツセル）
PH	ホールトン

	打數	安打	犠打	盗壘	三振	四球	失策
ジ軍	40	11	3	0	3	4	1
セ軍	38	8	3	0	3	4	0

『空閑少佐』を巧に改竄の不敬排日映畫を發見
小崗子で上映する所

小崗子支那劇場北京大戲院において最近上映せんとした映畫臺本が大連警察署檢閱濟のものなるに拘らずそのフイルムは內容筋書を全く改竄され實に不敬に亘る排日映畫なることを大連署が上映一日前に探知、目下極秘裡に關係者に就いて取調べ中の奇怪極まる事件がある

映畫はヘンリーキネマ製作の、「空閑少佐」と題するもので、上海事變に於いて壯烈なる働きをなしつひに敵國に於いて自刄せる空閑少佐の忠勇武烈なる物語りを扱つたもので、昨年末頃上海に輸入さし滿鐵業課動務の俳優滿人劉盛文（假名）の手に入り本月初旬前記北京大戲院に上映されんとしたものである

改竄されたフイルムは洋畫、支那館で上映するに際し大連署が檢閱濟の捺印せるものであるが然るにこのフイルムが臺本と共に映畫の各斷片を繼ぎ合せ殆ど原形を留めぬものとなつてゐるが、筋書は全然臺本と正反對のものとなつて居り、上海事變の如き上海に於いて製作した十九路軍の誇張された活躍振りを撮したものを繼ぎ支那軍の大勝利となつて結末とし、最後に畏れ多くも兩陛下の御肖像を現すなど云ふに忍びざる不敬な行ひを持つてゐる、これが改竄は上海邊りの排日支那人の手により行はれたものとみられてゐるが、目下該フイルム所持者の劉以下關係者が仲秋節で郷里山東に歸省してゐるので果して所持者劉が情を知つてこれを提供せるものか、また全然關知せぬものか大連署では劉の歸連を待つてゐる

なほ劉は滿鐵に十三年間勤務し相當上長にも信用あり、おそらく關知せぬものとみられてゐるが劉の歸連を待つて該フイルムの改竄經過が判明する筈である

女中さん獻金

滿洲派遣第六師團は市民の歡迎送裡に晴れの凱旋の途にあるが六日同師團司令部へ熊本の女として金二十圓封入して皇軍日本の威容を示されたことを女性として心から感謝するといふ手紙が舞ひ込んだ同司令部ではこの一女性の奇特に感激してその儘では濟まないと內査したところ大連佐渡町雲水ホテルの女中をしてゐる原籍熊本縣八代郡築村島本みえ子さんと判明した、司令部では直に陸軍省あてに國防獻金としての手續をとつた

やよひ新聞　惡德記者
三名を檢擧

大連市能登町四十二番地やよひ新聞大連支社記者上田彌（三〇）林義雄（三〇）靑木忠雄（三二）の三名は恐喝の嫌疑を以て六日朝十時大連署に引致され小平高等係の取調べを受けてゐたが

右は先月二十三日市内山縣通り國際運輸會社調査係勤務山中三郎氏（四七）假名＝が孔雀カフエー女給小夜子こと長野光子（二二）に惚れ、通ひ續けてゐることを探知原稿用紙に記載して新聞に發表すると恐喝山中氏より二十五圓を受取つたことを自白したので直ちに留置なほ餘罪を取調べ中である

やよひ新聞は福岡縣久留米市に本社を有し最近能登町四二足達和二方に支社を置き二、三面を大連版として大連花柳界、カフエーの暴露記事を連載無錢飲食或は脅喝を常習としてゐたものである

なほ大連署の不良記者狩は開始以來既に七件に上つてゐるがなほ極力探査を進めて居り大連に根據を有する某々社にも探査を進めて居り街の紳士の徹底的掃滅を期してゐる

開魯西方で行方不明
石上少尉捜査

【奉天電話】石上少尉は去る九月二十七日歸還命令を受け、自動車で蒙古人二名及び運轉手李某とともに林西を出發開魯を經由錢家店に向ふ途中、二十九日夕刻開魯縣西方において匪賊占中華の率ゆる約三百人の賊團に包圍され交戰約三十分の後自動車は燒かれ少尉及び李の兩名は行方不明となり他の二名は翌三十日開魯に歸還した、急報に接した我軍の加藤少尉は直に騎馬隊を引率開魯を出發錢家店附近において目下調査中であるが石上少尉の消息は今なほ不明である

羽衣運動會

羽衣高等女學校では八日午前八時半より同校々庭において運動會を開催するが同運動會は同校開設以來最初の運動會とて父兄達より歡迎を受けて居るが他校と大いに趣きを異にし父兄生徒合同の運動會で多數父兄及び一般の參加を歡迎してゐる

天氣豫報

八日　北西の風（晴）一時曇

滿潮（午前〇〇時三〇分　午後〇〇時四五分）

干潮（午前六時五五分　午後六時三五分）

各地溫度（七日午前十一時）

地名	溫度	地名	溫度
大連	一九	奉天	一五
旅順	一九	新京	一三
營口	一六	新義州	一九

今日の小洋相場（十一時半）
金百圓につき一二二圓一〇錢

善鬼惡鬼 (221)

平山蘆江作　刈谷深隍繪

重い手筥(一)

「手を貸してあげやうか」

お濱が云つた。

「いえ、大丈夫でござんす。小さいくせに重たい包みでござんすね」

金太は、さう云ひながら、風呂敷に包んだ手筥のやうなものを兩手に抱いてゐた。

お濱が千住の家から持つて來た手荷物である。

「エレキテールの機械が入つてゐます」

「機械といふものはこんなに、重いのでござんすか」

「これは格別重いのさ。樂齋どのに賴んで、つくつてもらひました女鹿屋に置きたいと思つてね」

エレキの機械を女鹿屋においても仕方があるまいにと、金太は思つてゐたが、默つておはまのあとへついてあるいた。

いつも離れに閉ぢこもつてゐる樂齋はおはまの聲がしても、知らん顔でゐるのが常であつた。

「旦那樣、お留守だそうな」

外から一寸のぞいたおはまは、離れへ通る道を通りすごして、自分の居間へ入つた。

「こちらへ持込むのですか」

金太が、手筥を下へ置いた。水門を上つて、うしろ庭をぬけ、縁から上つて廊下を通つたばかりだのに、兩手がしびれるほど重たかつた。

「重かつたかえ」

金太は、自分の手首をこすり合はして、指先のしびれを撫でてゐる。

おはまはいつの間にか、金太のうしろへまはつてゐた。入口のしまりをして身體をくるりと向直つたのだが、自分の座へすぐには戻らなかつた。

「へい、こんなに重たい機械を、どうなさらうといふ思召しでございました」

おはまはそれには答へず

「どれ、手首をさすつてあげやう」

言葉の切れない中に、自分の身體で、金太をうしろから包むやうにして、おつかぶさつて來た。

「へイ、いえ、もう大丈夫でございます」

蟹のやうに、女の兩手をくぐりぬけた金太が、座敷のすみへしやがんで、青くなつてゐた。

「まア、この子は、何でそんなに驚くのだえ」

「へイ」

「ほほほ、慄へてゐるぢやないか」

「へイ」

「私が怖いの」

「びつくりいたしました」

「びつくりする事はない。あんまり重たいものを持たせたから、手首の痛みをさつてやらうと思つたまでさ。もつとこつちへおいで」

金太はおはまの態度をどう思つて好いのか判らなかつた。心を入れかへた、これからは良人大事にしやうと、二つの死骸の前で、誓ひを立てるやうに云つたおはまだ。それが、半日經たぬ中に、元のおはまに逆戻りをしたのか、それとも、本當に手首のしびれを氣の毒に思つただけの事か、その判別がつかなかつた。

「お前、そんなに私が怖いのかえ」

さう云つて、おはまは薄氣味のわるい笑顔を見せて、少しづゝ少しづゝ寄つて來た。

金太はそれを、よけるやうにして、ゐざりあるきに、座敷のすみを、入口のところまではつて來た。いざといつたら、うしろへ手をかけて、逃げ出すつもりである。

突然おはまが笑つた。

「ほほほ、馬鹿だね。そこの扉はおしても引いても開かないやうになつてゐるのだよ」

十月の常盤座

キネマと演藝

目下ドイツゾーカル映畫「青の光」を上映中の常盤座の第二週以降の十月豫定プロは左の如くで愈々月末週間にパ社の名畫「戰場よさらば」を豫定してゐる

▲第二週(九日—十一日)「君とひとゝき」「タブウ」再映短期興行▲第三週(十二日—十六日)「競馬天國」「廿四時間」▲第四週(十七日—廿一日)「恐怖の甲板」「海底」又は東京少女歌劇▲第五週(廿二日—廿六日)「タイガージャーク」「假面の米國」又は「ボンゲ」▲第六週(廿七日—一日)「戰場よさらば」「海底二千尺」

篠田實二日目讀物

大連劇場の浪曲篠田實の二日目讀物は左の如くである

▲紀の國屋文左衛門(篠田實行)▲大石瀨左衛門(浪花燕博)▲小村と魚武(木村友明)▲河内山と直侍(東家樂友)▲清水次郎長(浪花亭愛吉)▲勝田新左衛門、紺屋高尾(篠田實)

パテー郊外撮影會

大連パテー倶樂部では新光倶樂部と合同して八日午前七時四十五分大連驛出發で營城子驛待合室に集合し撮影會を開催する

旭勝會淨瑠璃會

旭勝會では八、九日兩夜「ほてい」で秋季淨瑠璃會を開くが番組左の如くである

▲初日(八日)御祝儀寶ノ入船(入登)先代御殿竹ノ間(佳女子)一ノ谷陣屋(喜鳳)忠臣藏四段目(白水)双蝶々引窓ノ段(富士)三勝半七酒屋ノ段(みどり)四ッ谷民谷内(うろこ)三味線(竹本旭勝)

▲二日目(九日)御祝儀寶ノ入船(入登)義士傳赤垣出立(鶴松)天ノ網島紙治内(扇松)二十四孝十種香(喜樂)戀女房資掛村(翠香)白石噺新吉原(三幸)お千代半兵衛八百屋内(うろこ)三味線(竹本旭勝)

大連梅若綠葉會

大連梅若綠葉會では八日午前九時から連鎖街連鎖ホールで第六十一回素謡會を開くが番組左の如し

▲素謡 三輪、敦盛、松風、玉葛、清經、芭蕉、景清、朝長、山姥、俊寛▲獨吟▲仕舞 花月、鞍馬天狗、大江山、經政、殺生石、玉之段、小督、融、綾鼓、忠度、通小町、野守、巴▲囃子 西王母、小袖曾我、難波

福王會月次會

福王會では七日午後七時から攝津町會所で月次會を開くが番組は三輪、經政、夕顔、蟬丸、安達ヶ原

うわさ話

奉天の新映畫館新富座が五日開館式をあげ新興キネマで愈々蓋あけをしたが▲そこへ乘込むのが昨日中央映畫館を打揚げた柳さく子一行で好調の平安座が新館出現に對する樂觀策▲奉天の映畫街も各館とも好調の波にのつてシーズンを迎へ火花を散らす時代が訪れた▲大劇の篠田實「紺屋高尾」が呼びものだけに遂郷の組見をつくり遊女の鑑だと宣傳。▲柳さく子の實演がなくなつた中央映畫館は今日から二日間「蝶を寄すれば」を階下三十錢で開放し月曜日から「二つ燈籠」▲タマキ舞踊團に參加して來連したお馴染の丘麗兒君とジヤズ歌手正木正子孃が今夜から大檢ホールに特別出演する▲次週入江たか子の「新しき天」を上映する映樂館は早くも表飾りをして華々しく宣傳に着手

シムラ會商逐日進展

一本槍態度で進む日本側の主張

印度側も漸く反省か

【シムラ六日發國通】第二次民間協議會は六日午前十時半開會、日本代表は關稅引き下げ要求一本槍で進み、印棉買付量決定案の如き關稅引下げを見ぬ限り考慮の餘地なきを闡明、我代表は日本紡績界の不退轉の主張を說明し、日本綿製品の印度に於ける脅迫を擧げ、更に日本紡績界は飽くまでフエアープレーの職人道に進むもので日本綿製品の進出は棉業界粒々辛苦の結果である、印度が爲替ダンピングの非を鳴らし、拔打的七割五分の禁止的關稅を賦課するが如きは日印親善關係を阻害するものだと我方の主張を强調した、これに對し印度首席代表モディ氏は印度の

關稅 引上げにも拘らず日本製品は世界市場に雄飛してゐる爲に印度の棉業は窒息狀態にあり七割五分賦課は國內幼稚な產業保護の見地に外ならずと泣き言を述べ印棉不買は決定問題を持ち出さんとあせつたが遂に要領を得ず結局日本側の作戰圖に當り第二次會合は主題に觸れず散會した

出入の統制進展を策することと南米航路の運賃を引下げることも等の諸項目を審議することになつたが、民間側出席者は三井、三菱をはじめ五十餘社代表を網羅する筈である

緬羊視察に

釘本技師來滿

農林省畜產課技師釘本昌二氏は滿洲における緬羊視察のため七日入港あめりか丸で來連した船中語る

單に緬羊視察のため農林省からやつて來ただけです、約一ケ月位の豫定で出來ればコロンバイルまで行きハイラル、滿洲里にも行きたいと思つてゐる、どうしても蒙古が緬羊の重要地ですから、緬羊は今のところ全然駄目です、第一質も惡いから餘程力を入れねばならんでせう、先づ種類の問題と使用方法からやつて行かねば駄目だ、滿蒙でも相當研究され、その實驗の結果を發表してゐるやうですが、限られた地方においてのみのことだから、これとて隨分間違いだ話で一日も早く應用如何に向つて進まねばなりません、この緬羊問題は世界の狀勢からして可なり重要視されて居り、殊にこれだけは幾ら殖えてもよいものですからね

滿蒙輸組聯合會

設立案協議

極力對滿蒙輸出を促進

【東京七日發國通】東京滿蒙輸出組合では六日理事會を開催、同組合設立當時よりの目標であつた滿蒙輸出組合聯合會設立に關する具體案を協議した結果、現在ある輸出組合を打つて一丸とした聯合會を組織し、これが全般的指導統制を行ひ、對滿蒙輸出の促進を圖ることゝなつた、なほ同組合は近く滿洲市場紹介展覽會を開催して市場の宣傳に努めると共に滿蒙に常設駐在員を設置するとに決定した

一氣四割に引下げ方賛意

印度側輿論大體一致

【シムラ六日發國通】關稅引下げ輸出統制を骨子とする日本代表部の確固たる態度に比し、印度側は印棉買付量決定、爲替ダンピング對策など頗る蟲のいゝ提案を爲してゐるが、印度國內產業部門の對立深刻で紡績以外の一般は早くも日本の要求を容れ、印棉不買の撤回を求むべきだとなし、更に日本綿製品を七割五分から一氣に四割に引き下げ、英國品には三割を賦課すべきだと云ふに大體一致してゐる、紡績業者は國內輿論から見放され棉花栽培業者の意見相當强硬なので早くもあせり氣味の態度を見せてゐる

日印通商條約延長案附議

樞府臨時本會議

【東京七日發國通】樞府臨時本會議は七日午前十時宮中において、天皇陛下親臨の下に開會

一、日本、印度間の通商に關する條約の効力存續に關する暫定取極め締結奏請の件、他二件

上程、審議採決の結果異議なく原案通り可決散會、右の結果外相は駐英松平大使に對し直に訓電英政府にその旨通告するやう命じた

中南米との貿易促進策協議

十日官民懇談會開催

【東京七日發國通】海外新市場の情勢に應じた我が新貿易政策の樹立は、今後の本邦の海外貿易に一大飛躍を齎すので政府では取敢ず本邦の新市場として近來頓にその重要性を加へ來つた中南米諸國との貿易促進方に關し積極的に當業者と協議の上その大方針を確定することゝなり、十日午前十時より中南米貿易振興のため官民懇談會を開催、新貿易政策の

具體 的方策を確立することになつた從來も中南米諸國中には本邦との貿易振興を要望して經濟使節調査員等を派遣し來りたるものも相當あり殊にアルゼンチンでは特に本邦との貿易上東洋貿易株式會社を創立せる等の事情にあるが、一面最近の世界經濟情勢を反映して我が國の貿易に不利の點があるので懇談會では

一、爲替管理、片貿易等貿易上の障碍を出來得る限り除去のために對策を講ずること

一、中南米諸國よりの羊毛棉花等の原料品輸入の促進策

一、右に對する互讓的態度として中南米諸國に於ける爲替管理の緩和方を講ずると共に中南米貿易協會を設立し、全面的に輸

滿洲國商標法の一瞥

（九）

中村如峰

八、代理人の權限

滿洲國商標法には日本の如き辨理士法の制定はないが、之に代はるべき代理人制（實業部令第七號商標局に對する手續の代理に關する件）がある之に依れば代理人は

一、國內に住所、居所又は營業所を有すること（商標法第八條）

二、商標の出願、請求其他の手續の代理行爲を業となすべきこと（實業部令第七號第一條）

三、代理人たらんとする者は、氏名、住所、事務所及び經歷其他必要なる事項を記載したる願書を商標局を經由して差出し（同第二條第一項）實業部總長の許可を受くべきこと（同第一條）

四、前項外國人の場合は、國籍證明書を添付する事（同第二條第二項）

の規定に依らなければならぬ、而して日本の辨理士の如く代理人にも制裁が規定されてあるが、夫れは頗る簡單なものである、卽ち業務上不都合の行爲ありたる場合、又は業務を爲すに不適當なりと認められた場合は、其の許可を取消され（部令第七號第三條）實業部總長の許可なくして代理行爲を爲した者は、二月以下の拘役又は百圓以下の罰金に處せらる（同第四條）ることになつて居り、この規定は部令公布の日たる九月二十日から施行せられ効力がある。

この規定によれば、代理人は實業部總長の許可さへあれば、斯界に經驗のない素人でも、前科者でも、誰れでもよいことになつて居るから、代理人たるべき資格、身分の證明等は要しないのであり、實業部總長が許可の方針等も不明である、又た認定によつて取消されもする、次に斯る業務は自由營業に屬すべきものであるから、假令許可主義によるとはいへ、その數の如きは限定さるべくも思へない斯くして果して善良にして眞摯なる代理人が、滿洲國內に得られ、商工業者の權利を代表して、よく商標局と交涉を圓滿且つ迅速に遂行することが出來るであらうか、滿洲國商標法制定の聲を聞いてより各所に代理業務執行の宣傳、勸誘は可なりに多く、之が爲に商工業者は其の選擇に惑ひ、去就に困うじて居る、この現狀に就て其の表裏を察し、眞に代理人としての適任者を許可し得るだけの自信と用意があるであらうか、元來、商標事務取扱の如きは簡に似て複、易に似て難である、到底、猫子や杓子や定規では出來るものでない而も一度その許可の人選を誤り、情實や運動に依つて許可を濫造したならば、競爭激甚となり、弊害百出、商工業者が困惑するのみならず、商工業發展の將來の爲に憂慮する事態を現出しないとも限らない。

◇

商標の出願、請求その他の手續及び權利の主張は、その本人自身が爲すべきを原則とするも、商標法の如き工業所有權に屬する法規は、特殊法律に屬し、法理一點張りで取扱はるべき性質のものでない、素より法律的知識を要することはいふまでもないが、これに技術的技能を多分に加味しなければ解決の出來るものでないからしてこれ等の法律的、技術的の素養に缺如した者は、どうしても代理人によらなければならぬ、我が特許局取扱の現狀に見ても、その大部は辨理士を代理とする者であり、本人直接の取扱は僅少である、卽ち滿洲國における代理人の責任を重しとし、其の人選許可を重視する所以もこゝに存するのである。代理人は滿洲國內に居所、住所又は營業所を有する者と限定されて居る關係上、滿洲國の法權の及ばない鐵道附屬地や關東州に在る者は、假令商標の出願、請求其他の手續を業とする者でも、實業部總長の許可を得られないことになつて居るが、現狀のまゝで日滿兩國間に何等の協定も規約も出來ないとしたならば、滿洲國商標の大部が存在して居る關東州並に鐵道附屬地に代理人を見ることは出來ず、一般商工業者の不便不利は素より延いては通商取引上にも至大の影響を思はねばならぬ、さればとて滿洲國當局の諒解や默認の下に之等の取扱を爲すとせば、將來若しその商標權に紛議を生じたる場合に於て、權利の根源に忽ち疑義を惹起し、到底不利を免れることは出來ない、卽ち登錄に愼重を缺いだ結果は、永遠に禍根を胎すものたる危險を忘れてはならない。（未完）

滿洲國幣制落付きと

銀本位擴充對策

目下大藏省で愼重研究

【東京特電六日發】滿洲國の幣制改革については從來諸種の論議があつたが、過般大藏省青木爲替管理部長の渡滿の結果、大藏省當局に於ても滿洲國の健全なる經濟工作の發展のためには當分銀本位制の維持は止むを得ないとされ、向後は原則として銀本位制の擴充方針を取ることゝなつたが、たゞ日本資本の滿洲投資がこれによつて阻害されることは憂慮すべきことであるとし、目下大藏當局ではこれが對策につき腐心中であるが、大體左の如き便法が實現するものとみられてゐる

一、日滿荷爲替は金、銀何れについても取組むことが出來るとし當分であつたが、更にこれを六ケ月乃至一ケ年の長期荷爲替取組みも可能ならしむ

二、更に長期投資を圓滑ならしむるためには滿洲中央銀行をして現に東拓に對して試驗的に行つてゐる如き金資本擔保に銀の貸付を行ふの便法を採用しこれによつて長期金投資による金銀比價のリスクを可及的減少せしめんとする

錢鈔取引人へ

所長の警告

爲替管理法の實施により大連錢鈔市場では各取引人において實買の內容を三日以內に届出の義務を生じ、實施當日五日の分も七日までには届出でればならぬところから他取扱ひ方につき各取引人に詳細取引所及び組合側では記載事項其說明の上取引及び届出で方に付ても萬遺漏なきを期してゐるが、各取引人も處罰さることになるので注意されたしとの意味の警告を發したので取引人組合では取引所長警告の意味を各取引人に通告すると共に錢鈔信託會社でも管理法の漢譯を各取引人に配布し法令の主旨徹底を期することになつた

地賣と日本向增で

撫順炭好景氣

本年度上半期の成績

前年同期對六十萬噸增加

異常な躍進を續けて來た今年度上半期の撫順炭の販賣成績は九月末をもつて締切り精算中のところ左のごとき數字を示した（單位噸）

撫順炭

	（九年度）	（八年度）
社用	三五八、八〇四	三五四、四三一
滿洲地賣	九四一、六二四	五九九、二八七
朝鮮地賣	一一三、七一〇	七四、三一五
鮮鐵	三三、四九八	三三、〇〇一
內地	一、一三四、一三一	八一八、一六六
海外	三九〇、一〇五	四四三、三五七
船焚	四一五、五三四	三八〇、七五五
合計	三、三九七、五七六	三、六二二、四四四
▲煙臺炭		九九、六〇二
▲煉炭	五〇、五一〇	三二、八四四
▲本溪湖炭	一二、八四五	一四、三六三
總計	三、五一九、六〇三	三、八二四、七五二

卽ち昨年度に比して減少したのは社用と鮮鐵及び海外だが、社用は鞍山製鐵所が昭和製鋼所に買收された結果六月以降の同製鐵所分約十萬噸が滿洲地賣に繰入れられたためで、それだけに地賣に於て增加してゐるから實際においては增減なく、結局目立つて減少したのは海外の五萬噸も減位のものであるその他はいづれも目覺しい增加だが、就中軍需工業旺盛を極めてゐる內地向と煉瓦製造その他土建界活況の影響を受けた滿洲地賣とが斷然多く、結局撫順炭のみで約六十萬噸の增加を示した、なほ煙臺本溪湖煉炭は供給量を制限されてゐるので昨年度と殆ど大差ない數字を出してゐる

臺灣筋需要で

油房稍活氣

られて不況の極にある大連油房界は只僅かに臺灣の需要に一縷の望みをかけ一日の生產高も七千枚程度を維持してゐるが、臺灣各地農會の豆粕入札が切迫するにつれて邦商輸出筋の買氣が漸く擡頭し相場も漸次强調を示すに至つた、臺中州農會では來る九日三十三萬枚の入札を行ふが高雄、臺北、臺南の各地農會も相次いで入札を行ふ筈である

內地農村の購買力減退による買氣薄と支那の禁止的高率稅關に累せ

管理法實施で

錢鈔市場不振

出來高、殘玉共激減

大連錢鈔市場では爲替管理法發令以來一般ずバラ筋は法令の嚴重なるに鑑みいづれも建玉を手仕舞ひ特產並に輸出入業筋も消極主義をとり賣買を手控へてゐるので二十七日發令以來取引高も漸減の傾向を辿り、賣買殘高の如きも五百萬

加工綿布輸出

檢查高增加

【東京七日發國通】綿織物聯合會調査九月中の加工綿布輸出檢查高合計八千九十五萬八千平方ヤードで前月に比し十五萬四千平方ヤード增加本年中の新記錄で晒布に比し加工綿布の輸出增加は本邦綿布の高級化を示すものである

九月末

奉天管內在貨

【奉天電話】九月末の奉天管內在貨は新穀五千六百八十噸、其他二萬八千七百二十二噸合計三萬四千四百二噸にして、前年同期に比し一萬一千七百八十噸の增加なるが、內高粱、粟、木材は增加し大豆、豆粕は減少を示した

大連金融組合が

當座取引業務開始

中小商工業者の便に資し

庶民階級の金融機關として中小商工業者階級に深く喰ひ入つてゐた大連商業銀行が、今春閉業して以來同行を唯一の當座取引銀行としてゐた中小商工業者は日常の營業上

不便 を感じ、大連金融組合に對し當座預金業務創設方を熱烈に要望してゐたが、大連金融組合でも庶民金融機關としての本質に鑑み、愼重協議の結果これらの要望を容れ本月十五日前後より新に當座取引業務を開始するに決した、而して當座取引開始に當つては同組合の特殊機構に鑑み、原則として貸越契約によらず、五百圓程度の預金を爲さしめ、その範圍內に於て小切手の振出しに應ずることゝし特に根抵當を差入れた場合は貸越の特約に應ずることになる模樣で、また右の當座預金に對しては普通銀行が五百圓以上の預金殘に四厘の利子を附するに對し百圓以上の預金額に對し

日步 六厘の利子計算を爲すことになつており普通銀行の當座預金に比し非常に有利となつてゐる、然しながら金融組合の小切手は手形交換所には持ち出されないことになつてゐる

◇…シムラ會商へ船を暗礁から引き下ろして再び航海をつゞける、しかも風向きがが印度側も方向が誤つて居たことに氣づいて來た樣子、これでホントに反省して、日本の主張に追隨すれば、この航海どうやら無事に港に入りさう、こゝ數日の形勢が見ものだ。

◇…大連金融組合が、中小商工業者の要望で近く當座取引業務を開始する、何れ少數の人々にのみ利用されるのだらうが、しかし一便益を供するものだ、これから見ても閉店した大連商業銀行が庶民金融機關として如何に

英當業者

歸國の噂

【シムラ六日發國通】…によると英…迄にシムラ…

市況

特產

買氣旺盛に大豆强調

市場電報（七日）

銀塊及爲替

倫敦銀塊 一八片二分一
同 先物 一八片八分五
紐育銀塊 三五仙八分五
上海銀塊 三六留比一六分五
スチール 四六弗八分三
アナコンダ 一五弗四分三
英米爲替 四弗七三仙四分三
米日爲替 二六弗〇六仙
米支爲替 三〇弗七仙

神戶日米

第一回 二毛弗八分七
第二回 二毛弗八分七
第三回 二毛弗八分七

棉花

米棉

現物 九仙七三
十月 九仙三四
一月 九仙三八
三月 九仙四五
五月 九仙六三
七月 九仙七八

大阪株式

東京株式

大阪期米

神戶期米

東京期米

大阪綿糸

大阪棉花

橫濱生糸

印度麻袋

錢鈔

材料薄で保合閑散

定期喰合高

株式

新東二百圓臺

五品小巾保合

滿鐵株（强調）

◇定期前場

◇現物前場

前場

商品

麻袋低落

綿糸弱保合

上海爲替情報

上海標金

手形交換高（七日）

爲替相場

鮮銀

奧地相場

錢鈔

特產

各地特產發送高

大連埠頭到着高

滿洲日報
朝夕刊共十二頁
定價 一部 金五錢 一ヶ月 金一圓二十錢 郵稅 金十五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社 振替口座大連六〇番

五相會議

外交國防問題とも纏ることは纏らう
會議後 高橋藏相の談

【東京七日發國通】五大臣會議は十日第三次會議を開催する豫定だが六日の會議後高橋藏相は語る

我輩が如何なる意見を有してゐるかは諸君の御想像に委せるが外交は決して喧嘩の爲のものではない過般渙發された御詔勅にも仰せられてゐる通り我國は聯盟を脫退しても各國との外交は平和を旨として御聖旨に副ひ奉るやう努めねばならぬことはいふ迄もない、これがために國防財政その他の諸問題を外交が圓滑にやつて行けるやうに扶けねばならぬ、世間では外務省と陸軍省との間を如何に見てゐるか知らないが我輩の見るところでは決して兩者の意見は懸け離れてはゐない、國防の問題は當面のことのみを考へず根本方針を期せねばならぬ、此の方針がきまらぬと明年度の軍事費も決め難い、しかし又大藏省議で豫算の數字が一應決定せぬと軍部側と折衝を始めるわけには行かない、我輩の膽がもう少しよければ別々になつて話した方が早くきまるのだが思ふやうに行かぬので五大臣會議で一緒にやつてゐる次第である、何れ纏るには違ひないが何時纏るともいはれない、豫算閣議は大演習後の十一月上旬になるであらうがこれで充分間に合ふさうだから心配はない

意見扞格には困つた
五相會議について 荒木陸相語る

【宇都宮七日發國通】荒木陸相は宇都宮第十四師團部隊視察と國防義會發會式參列のため七日午前八時二十分上野發列車で出發したが車中語る

五相會議はお座なりで濟ます氣なら直にでも片附くだらうが、今の場合はそんなことは絕對に出來ぬ健全な子供を生まねばならぬのだから會議の前途には幾多の難關があらうと思ふ、同會議で藏相、外相と軍部の兩大臣の意見に開きのあることは事實で困つたことだ、これも要するに日本の現狀に對する認識に大差あるためであるから將來の方針に對し意見の合はぬのは當然だ、五相會議と僕が首相や藏相に進言した國策問題とはどんな關係があるか、これは僕の口からはいへぬが大きな問題であり又非常な疑問の問題だと云つておかう、とにかく大きな問題が一年後に迫つてるのだから愚圖々々してをられぬ、いよいよとなれば僕にも決心がある、豫算問題に就いて復活要求を一切認めぬことにする主義には贊成だが各大臣と藏相との間に先づ根本方針が一致することが絕對の要件だ、ロシア、アメリカに對しどうするかといふやうなことを色々聞かされるが互に裸になつてみたならば一番よく判らうと思ふ

"軍部不滿" 漸く濃厚

【東京特電七日發】五大臣會議の經過に對して軍部の不滿は漸く濃厚となつてきた、卽ち軍部は曩に荒木陸相より提示せる國策確立問題を五大臣會議によつて體よくあしらひ軍部の主張をこれによつて巧に阻止せんとする魂膽と見てゐる、殊に石井子の歸朝以來廣田氏の外交正常化運動が何となく氣勢をそへる模樣となつたのを見て軍部は深く憂慮し若し閣僚の多數が軍部の意見を容れなければ現內閣に對する考へを變へなければならぬと稱してゐるので來週の五大臣會議の成行は最も注目を要すと

時局談
山本內相

【淺川七日發國通】山本內相は地方行政視察の爲め七日長野、新潟兩縣下に赴いたが車中左の如く時局談を試みた

明年度の豫算編成に就て陸海軍が大分强硬意見を持つてゐるやうだが如何に國防が重要であるといつても外國を刺戟するやうなことは避けねばならぬと考へる、軍事費の問題に就て五大臣會議を開き色々相談してゐるやうだが軍部側でも財政上の考慮なしに軍事費を要求するやうな事はないだらうから圓滿な解決點に到達する事と思ふ、增稅問題に就ては我輩は高橋藏相と同樣反對である、種々說をなすものもあるがその衝に當る大藏大臣が反對である以上何もいはぬ方が良いと考へる、我輩は何時も同問題に付ては高橋君と同意見だ、增稅をしなければ地方の要望たる地方財政調整、交附金の實現も不可能となると思ふが然し財政が許さぬといふ以上これも亦已むを得ない事と考へてゐる

陸相宇都宮へ

【宇都宮七日發國通】荒木陸相は七日午前宇都宮に到着多數官民の盛んな歡迎を受けた後、宇都宮師團留守隊を視察した後衞戍病院に收容されてゐる滿洲事變の傷病兵を見舞ひ午後は當市に於ける國防義會開會式に臨み非常時局に關する講演をなした

黎明熱河斷描 ㈦
島田特派員記 山口特派員撮影

元氣な我警官
南京虫退治と水不足に惱む 茅屋に仲よく雜魚寢

熱河におけるわが關東廳警察官の生活について述べて見やう、熱河省は從來赤峰領事館の管轄として各主要都市には警官が二三名乃至數名づつ配置されてゐたのであつたが、今回同じく赤峰領事館の支配は受けるが、警察官は直接關東廳より派遣されることゝなり、現在三百名近い關東廳警察官が熱河の各地に駐在してゐる、記者達が旅行した北票、承德間に於ても承德、平泉、凌源、朝陽、北票の五ケ所に赤峰領事館警察分署が置かれ、約百名の警察官が活躍してゐる、何れも希望者を募つて派遣したもので、進んで熱河に進出しただけに實に元氣旺盛、見る目にも氣持よく執務してゐる、記者達は各地の分署を訪問したが、各署の首腦者は左の如くである

承德（署長門脇警部、係主任鹽谷警部補）平泉（署長保月警部補）凌源（署長吉浦警部補）朝陽（署長中川警部補）北票（署長大井警部補）

▽……△

各署とも八月末から九月にかけて赴任したのであつたが、北票の如き鐵道沿線の土地は別として銃器を始め世帶道具から執務用の紙類までトラックによつて運ばれねばならぬ奧地の分署員の赴任は相當苦勞をさせられたらしい、殊に承德分署組は折惡く北票で雨にたゝられ、途中の河川が水を增したゝめ川止めを喰つて北票から承德まで一週間をつひやして、やつとたどりついたといふことである

大きな鍋釜までトラックに積み上げ、機關銃を後先きにそなへて匪賊を警戒しつゝ、大凌河畔に立往生して水の引くのを待つてゐた有樣は、正に漫畫のネタだれエ……

と哄笑しながら承德の鹽谷警部補は記者に語つたが、その時の警察官諸君の氣持を考へると記者達は何うしても笑ふことが出來なかつたのである

▽……△

着任して一番困つたのは執務する廳舍及び警察官の官舍であつたとのことだ、從來二三名の外務省警官が執務してゐた廳舍へ、二十名乃至三十名の大勢が入れるわけがない、派遣警察官達は、執務する前に、先づ廳舍と、官舍を搜さねばならなかつたのだ、記者達が各分署を訪れた際には、北票、朝陽、凌源の三分署は既に落ちついて執務してゐたが、平泉と承德とはまだ廳舍の改築に、巡查諸君が大童となつてゐた、平泉の如きは着任と同時に滿人の家屋を買ひとり直に事務を開始したまではよかつたが、その家に蝎が澤山居て着任早々四名の警官が被害を受けた、そこで、記者が訪問した時は、內勤巡查總がかりで壁紙はりに夢中になつてゐた、大連あたりでは一寸想像も及ばぬことであらう

▽……△

殊にひどいのは承德で、領事分館の一室、といつても天井の低い支那家屋の十疊程の部屋に、十名餘りの內勤巡查が、例の棺桶をこわして造つた椅子を並べて執務してゐた、それはまだ好いとして官舍がないので宿屋に下宿して小さな部屋に巡查も監督者も雜魚寢の有樣、目下適當の官舍を見つけたので改築中だと聞いてその現場に行つて見ると、成程大きな支那家屋だが、造作も何もなく、巡查が古煉瓦を運んだり、泥を煉つたり大騷ぎだ、大きな釜に腰を下して署員の左官振りを眺めてゐる、シャツ一枚の門脇署長を見つけ出したので挨拶すると

やア……今井戶を掘つてゐるよ三十二尺ほど掘つたが、まだいゝ水が出ない、困るよ水には、部下を病氣にでもさせては大變だからねエ……

と深い穴へ記者を案內する、署長自ら井戶掘り……知らず知らず記者の目頭はあつくなつた

▽……△

だが派遣警察官は何れも元氣だ居留邦人の保護に當ると同時に、わが軍部と連絡、或る時は市街の大搜索を行ひ、或る時は討伐に出動する等、寸暇も得ず活躍を續けてゐる、文字通りの第一線に立つて重き使命の下に活動するわが派遣警察官の努力が、熱河發達の大きな基礎となることを記者は信じて疑はない……（寫眞は官舍を改築中の承德分署員）

英保守黨大會で軍擴方針强調
造船、兵器廠活況

【東京特電七日發】ロンドン六日發電によれば國際不安と各國の軍擴熱に煽られてイギリスの保守黨は五日バーミンガムの大會においてチャーチル卿の提議によりイギリスの國防缺陷は憂慮に堪へずとて軍國主義を高調し軍縮會議を盛んに攻擊した、議會に絕對勢力を有する保守黨のこの態度は政府を左右するものでイギリスの軍擴はすでに實質的に進行し造船諸兵器廠はさかんに活氣を呈しつゝある（寫眞はチャーチル卿）

パナマ西軍港

【ホノルル六日發國通】玖瑪、パナマ等を經て布哇に來り同方面の米國海軍備狀態を視察中であつた米國海軍長官スワンソン氏は六日朝ホノルル發歸途についた、出發に先だつて同長官はホノルルの海軍軍備につき左の如く語つた

眞珠灣は米國海軍の主要根據地として既に選定濟みで今一つの根據地としてはパナマ太平洋岸のココソロ港が考慮されて居る隨つて眞珠灣は更に擴張する必要あり、歸米の途中艦上で計畫を樹てる考へて居る

軍縮會議不安
ドイツの强硬態度 フランス實力行使か

【東京特電七日發】ジュネーヴ及びロンドンよりの情報を綜合するに軍縮會議は開會に先立ちドイツが軍備均等案を提出し一切の他國の案に反對する意向が明らかとなり殊に英伊二國に對案を送つてフランスが先づ攻擊的武器の放棄をなし各國がフランスと同樣の軍縮をなすことを先決要件としてゐるので會議は全く不安に陷りフランスは早くもラインランド再占領を決意し英國は軍備の全般的擴張を決意する等歐洲は暗雲低迷の狀態である

"不買"に怯える印度
關稅引下げを容認か

【シムラ六日發國通】日本代表部では五日紡織聯合會から從來印棉で紡いで來た十番手、八番手物を米棉ストリングとミドリングだけで紡ぐこととし既に一月物まで米棉買付の約定が出來た內地市場は良好だとの入電あり、加ふるに今年度印棉、支那棉も遲くがよい實狀に益々强氣となりじつくり腰を据ゑて交涉を續けてゐるが印棉不買の痛手により高率關稅により直接負傷を受ける紡績業者以外には早くも關稅引下げに關する日本代表部の要求を容れ印棉不買の決議の撤回を求めるのが得策だといふ現實に卽した穩健論が擡頭するに至つてゐる

次の會商地はニューデリーか
シムラ會商近く終了

【シムラ六日發國通】確聞する處に依れば英國民間代表は歸國を急いで居り來る十四日孟買發の汽船に船室の豫約を申込んでゐたが汽船の都合で出帆が二週間遲れ來る二十八日に變更された模樣である英國代表は出發當時より往復二ケ月の豫定であつたものゝ如くれてゐるが何れにせよ二十八日にはシムラを去らねばならずその頃には日印政府の交涉もニューデリーに移される事が略確實なので日印會商は後五、六回で大した成果なく終了するであらうと見られてゐる

之に依つても英國側は最初から印度とも日本とも別に確とした協定に達せんとする誠意を持つて來たものでない事が明かである

英國側がシムラ會商の經過如何に拘らず二十八日歸國せんとするのは英國における日英會商で最後の決定を行はんとする肚かともいはれてゐる

滿洲文化委員會
日本側委員十六日新京着

【東京七日發國通】日滿文化提携具體化の第一着手として兩國學者を以て滿洲文化委員會を組織し同會の協議に依り各種事業を實行する爲め今般滿洲國鄭總理から我が菱刈全權を通じ本邦學者を招請して來たので外務省文化事業部では喜んでこれに應じ滿蒙文化研究の學者中から左の諸氏を派遣するに決し

東大名譽教授服部宇之吉、同關野貞、東大教授池內宏、帝室博物館鑑查官溝口禎次郎、京大名譽教授濱田耕作、同羽田亨

右一行は九日服部、羽田兩氏を先發として個々に出發十五日夕刻迄に奉天に集合し十六日新京に入る豫定である

長城線五口問題
と協定地區剿匪問題解決か ―天津大公報所報―

【天津六日發國通】本朝の大公報によれば非武裝地區保安隊問題並に長城五口問題については喜多大佐と黃郛との間に商議の結果大體

一、問題となつてゐた支那側保安隊の非戰區剿匪繼續を認める

二、喜峰、冷口、界嶺、古北、山海關の五口は支那側に接收せしむる

ことに決したと報じてゐる

救國の英雄
ロボットだつた 馬占山後援會遂に醜狀暴露

【新京六日發國通】僞英雄馬占山及び李杜の昨今は華やかなりし昔日の面影なく國民政府の冷遇に鬱々の日を送つてゐるが、最近の上海電報は事變當時同人等を救國の英雄として讃仰し、支那民衆から多額の義捐金を募集した所謂救國義勇軍後援會なるものがインチキ的存在であつて、馬占山等は此等の私腹を肥すため抗日戰線に躍つたロボットに過ぎずと報じてゐる 卽ち

馬占山 彼の許に送られた義捐金總額は二千萬元の巨額に達し、上海のみで四百萬元といはれてゐたが、彼が上海に上陸した時實際受領した額は百七十萬元に過ぎずと發表したことから民衆は極度に憤慨し、若しそれが眞實ならば募集の衝に當つた後援會幹部が着服したに違ひないと、去る八月一日上海市商務會、總工會、市民聯合會以下の各團體は聯合して救國義捐金調査委員會を組織し、前記金額の行方を糾明する事を決議し、後援會に對し義捐金收支帳簿を至急提出せよと迫つたが今以つて判明しない

李杜 李杜は曩に彼のために義捐金募集に奔走した義勇軍後援會長朱慶瀾に對し八月十一日公開狀を發し朱の取扱つた義捐金の使途につき說明を要求したが朱は直ちに詳細な反駁電報を公表した、これにつき前記調査委員會は朱が收支決算の帳簿を提出せざる故を以つて法院に向け朱の檢擧を要求したが、最近の支那紙は何れもこの間の事情を大々的に報じインチキ振りをこつぴどくやつつけてゐるが、此等は何れも抗日反滿團體の裏面を暴露した一端に過ぎず全支民衆は彼等の馬脚を徹底的に暴露すると敦圉いてゐる

權度所
來年度より增設

關東廳商工課では滿鐵沿線の近時著るしき發展に刺戟され商賈人の度量衡を直接取締る權度所增設の必要に迫られてゐたが愈々昭和九年度豫算に三萬一千餘圓を計上し奉天にも權度所を增設する事になつた、而して大連を本所、奉天を支所として開業されるが從事員は技師一名、技手二名、屬一名、外に雇員數名が置かれることに大體決定してゐる、尚これと同時に滿洲國の度量衡取締規則と併行し、關東廳においても度量衡取締規則細則を實施するので目下取締規則の原案を起草中である

新京地委議長副議長選擧

【新京電話】新京地方委員會の議長副議長選擧は七日午後二時より地方事務所長室に於て開催したが年長委員佐藤宇治太郎氏議長席につき單記無記名投票の結果大原萬千百、勘崎仙英の兩氏共に六點の同點で兩氏の決選投票を行つた結果大原九點、勘崎七點で萬年議長の觀あつた勘崎氏は遂に落選次に副議長選擧に入り勘崎氏當選せしも直に辭退したため再投票となり德丸助太郎氏當選したが受諾を兩三日保留した

方、吉聯合軍 北平攻略を企つ
高麗營附近再び混亂

【天津六日發國通】宋哲元軍の遮路遮斷により方振武吉鴻昌聯合軍は再び北平攻略を企圖し高麗營一帶に進出し今朝來激戰で高麗營方面は再び混亂に陷つた

日本品大歡迎
ボルネオ方面

【東京七日發國通】蘭領東印度のボルネオ島に於て邦人が經營してゐるボルネオ林業株式會社は包容職工數の如き完全に一萬人を突破する程で同社の盛衰は同地方經濟消長に關すると稱される程で之が爲め同地方の土人間には日本品に對する要望昂まり日本製の商標あるものは爭ひ合ひの有樣だが同社では構內に購買組合を設け優良且つ廉價品を同社內の土人に支給する計畫を立てた所有力者は寧ろ購買組合で取扱ふべき商品は出來るだけ日本品に仰ぐ事を主張し芳々蘭領東印度政府でも大いに乘氣になつて來たので同社では先づ日常雜貨品はこれを全部日本內地より直接購入したき旨この程南洋協會を通じて日本織物聯合會に申込んで來た

古田檢事の滿洲國入り

【東京特電七日發】滿洲國への派遣司法官につき詮衡中のところ、大審院檢事古田正武氏が承諾した爲め近く解職の發令を見る筈である、これと同時に滿洲國政府より司法部總務司長の地位に任命の筈

同氏は岐阜縣出身大正三年東大獨法科出、直に司法官となり、東京地方檢事司法書記官を經て昭和六年東京地方次席檢事に任ぜられ、七年大審院檢事となり今日に至つた若手勅任官中の俊秀である

蔣作賓公使赴日

【上海七日發國通】駐日支那公使蔣作賓氏は六日南京より馳せつけた外交部次長と最後的打合せを了し對日外交局面打開の秘策を胸底深く藏しつゝ七日午前十時出帆の秩父丸で支那側要人並びに有吉公使等多數の見送りを受け赴日の途に就いた

輸組聯合會
山中繁雄氏を理事長に

滿洲輸入組合聯合會理事長は神成季吉氏の辭任以來缺員となり中村太郎氏次いで富田大連輸入組合理事が業務を統べつゝあつたが、最近に至り元長春取引所信託專務で長春商議の會頭たりし山中繁雄氏に白羽の矢を立て、五日新京にある同氏に對し出連方を促し同氏は六日午前七時二十分着列車で來連中西地方部長より同氏の理事長就任方を希望した結果、同氏も遂にこれを承諾せるものゝ如くである

氏は福岡縣人、明治四十年東京高等商業を卒業し同年九月滿鐵入社、累進して長春、奉天、安東の地方事務所長となり退社後最近まで長春取引所信託專務であつた

本日夕刊共十六頁

社說

米穀政策と作付反別の制限
角を矯めて牛を殺す勿れ

米が餘るといふので、主務省では價格の調節を謀り、米の買上、籾の貯藏等の外作付反別の制限といふことを唱へる。數字の上から考へて、誠に合理的な政策の樣だが、死んだ數字を基礎にして、左樣なことがさう簡單に出來るものだらうかとは、誰しも思ひ及ぶ所である。植民地官廳の方面では、作付反別の割り當てに異議があるさうだが吾人の見る所では、割り當の問題よりも、もつと根本的な不都合があつて、恐らく實行困難なるべしと思つたことであつた。

◇

然るに最近傳ふる所によれば軍部方面から、重要な異論が出たといふ。國防の見地からであるが、その意は大略左の如きものであるらしい。平時に於て非常時の食糧問題を準備しておかねばならぬ。故に米穀の如きは相當多額を豫備しておく必要がある。實際の米穀のみならず、その本源たる米作耕地を愛護しておくことが必要である。耕地を愛護しておく必要あるのみならず、農村の米に對する耕作心を愛護しておく必要がある。

◇

今まで折角と米作の改良を謀り、耕地の開拓と改良とを謀り、漸く其の効果の顯はれた時に當つて、忽然として作付反別の制限を強制するが如きは、農村の士氣を一朝にして挫折せしむるものである。一旦有事の際に當りて直に米の不足に當面すべく國民總動員の必要ある時、耕地上の技術からも、俄に作付反別を增加することは出來ない。殊に農村士氣の頓挫を再び作興せんとするは尙更困難である。されば左樣な危險を冒すのは、今日の場合に極めて寒心すべきである。左樣なことをせずとも一方では籾にて貯藏し、一方では之れをアルコール化してガソリン代用と爲す方法もあるのだから、左樣な危險な政策を執る必要はないといふのである。

◇

以上は、一部は傳へられた處であり、一部は吾人の推測する所であつて、しかも未だ軍部方面から閣議席上にて意見の開陳があつたとも聞かないが、此の主張には頗る考慮すべき點ありと思はれる。上述の考へ方は單に國防的見地からとのみいふばかりでなく、米が國民の主要食料だといふ點から、平時の米穀統制政策から考量しても矢張り同樣な意見が立てられる。米穀の生產、消費、配給に關して國家的統制政策の必要なるはいふまでもないが、その統制策たるや目先勘定であつてはならぬ。

◇

一體我政府では、早くから人口の增加に伴ひて米の生產が足らぬといふので產米の奬勵政策を建て、府縣農事試驗場で研究した耕作法を一般に普及し、その爲めには各種の奬勵法を行ふは勿論、可なり強制的の手段をも執つた。尙植民地に米作の奬勵を實行する等、增產政策は多年に渉つて殆ど徹底的だつた。その結果が漸く現はれて、多少の天候不良にも餘り怖れぬやうになり、しかも良天候の年も續くので、近年の剩餘米問題を生ずるに至つたのである。併しながら今後天候不良の年がいつ來るか、又は何年續くかも分らぬ。米が廉くなると、國民一般の心の持方次第では、俄然、消費度を高めることもあり得る。又數字に表はれた統計は必ずしも絕對に信を置き難き性質のものでもある。かたがた、今俄に耕地を制限したり、農人の士氣を挫折せしむる如き政策を執るは極めて危險であるといはねばならぬ。況んや一朝有事の際を思へば尙更の事だ。

◇

恐らくは目先勘定に走ることなく、專ら貯藏の奬勵、買上政策、肥料の配給、副業の研究、租稅、さては液化の新研究等其他の堅實な方法によりて人心の自然的作用によりて生產消費が圓滑に行はるゝ方法を執るが妥當と考へられる。徒らに統制の美名に醉ひ、角を矯めて牛を殺す方法は、唯り米穀問題に限らず他のすべての問題に關しても避ければならぬ。現在五・一五事件の橘被告は農人がすべて商人になり、眞の農人は我邦に一人もないとまで激語してゐる。吾人の見る所にては、商人よりも寧ろ相場師になつてゐるのが多いやうだ。自然に然らざるを得ざるに至るので、畢竟其の罪は米穀政策の不妥當なるによる。一時を糊塗するやうな政策は問題の解決にならずして却つて危險である。もつと根本的に講究されればならぬ。

滿鐵の移民策
純農第一主義に轉向
大連農事會社更生案未だし

大連農事會社の更生問題は數年來の懸案で昨年秋も會社側より滿鐵本社に對し對案を提出したが愼重審議することとして返戾され、會社當局は更に今春來立案に專心し最近新に案を具して滿鐵の承認を求めて來た、新更生案は一方は窮境にある會社そのものゝ建直しを

目指す

と共に他方明春早々第二次移民を會社所有地に入植せしめんとするものであるが、これに對し滿鐵監理課より會社當局に意見を傳ふるところあり、會社側も更に愼重に案を練つて最後案として近く改めて滿鐵に提出する筈で他方滿鐵では谷川監理課長は各地に散在する農事會社所有地を逐次實地檢分中であり今年こそは何らかの解決案に達するものと信ぜられて居る

大連農事會社は山本條太郞總裁の高遠な理想に據つて設立されたもので一千萬圓（五百萬圓拂込）の資本金をもつて州內の土地四千町步を買入れ第一次移民六十餘名を入れたものであるが

州內不適地

なあまり高價に買入れた嫌ひあるため忽ち經營の基礎に缺陷を生じ、さらに一部移民の選擇を誤つたゝめに會社と移民との間に屢々忌まはしき論爭を生ずるなど二重の難關に逢着するに至つた、しかし山本總裁當時の狀況においては州外に土地を買入れることは不可能であり已むを得ず無理をして州內の土地を買入れざるを得ないやうな立場にあつたので事變前ならばたとひ苦境にあるも事業を進行せしむる上において意義があつたが、事變後は邦農移住の適地を無償もしくは極めて安價に北滿方面に得られるため、これ以上に大連農事會社に犧牲を拂ふことの可否が論議される有樣となり一時は

東亞勸業に

合併すべしとの意見すら生じ大連農事の影は極めて薄くなつてゐた故に今日においても滿鐵があまり多くの負擔をなさねばならぬごとき改革案は實現甚だ覺束なき有樣であるが農業經營には現在の地價があまりに高いことは事實だから何らかの是正を行つて現在の移民の土地獲得をより容易ならしむることゝなるべく反面今後の移民は純農第一主義をとつて嚴重な詮衡をなさんとする方針に出るらしいいづれにせよ農事會社更生案が滿鐵重役會議を通過するまでにはなほ相當の迂餘曲折を免れざる模樣だが、あまり遲延すると

來春も

再び移民募集が不可能となるので會社當局も對案の作製を急いでゐる

穀倉地帶を見舞ふ
豐作飢饉へ對策
泣き笑ひの黑龍江省

【奉天電話】チチハルを中心として克山、呼海、海倫、嫩江一帶黑龍江省の穀倉地帶も本年の豐作飢饉で農民に生色あり近く各縣商務會が克山で聯合會を開催し大豆その他の特產に對する對策を研究し政府の救助を得る目的であるが永井黑龍江省總務廳長も農村救濟策については頭を惱ましてゐる、若しこれが對策の講ぜられないときは省財政に影響するところ少くなく目下研究中であるが最善の方法として各農村に共同販賣を目的とした組合を組織せしめ特產商の市價獨占の危險を防ぐ方法もまた一つの對策であるとの意見あり、同地方を視察し五日歸奉した日滿貿易協會品陳列館矢部氏は語る

全滿的特に穀倉地帶と目されてゐる呼海、齊克沿線の農村は青田賣買の禁止、中央銀行實業局の特產政策から豐作ではあるが金融の途はつかず困つてゐる、黑龍江省としても考へてはゐるらしいが急場に迫つた問題であつて今更論議してゐる時代ではないから農村救濟としては購買組合を組織し豐作による市價の維持策として中央から低利資金を受け輸出組合をもつて共同の利益をあげさせたいと思つた

防穀令解除
黑龍江省

【チチハル七日發國通】黑龍江省においては北滿水災により農耕地の大部分は浸水し省內の食糧は極度に缺乏を來した爲め省當局は民食維持の爲め本年一月十日附を以て高粱、玉蜀黍、稗等の省外輸出を禁止して居たが、本年は各農作物の作付良好で收穫豫想も例年に比し增收の見込なので、現行の儘では農作物の生產過剩を來し農村に惡影響を及ぼす懼れあり、依つて本年は九月一杯を以て右禁止を解除する旨當局より省內關係者に通達するところあつた

再燃せる米國の
蘇聯承認論
（下）贊否兩論の根據

斯くの如く承認反對說も可成り強硬なものがあるが、ルーズヴエルト政府自身は果して如何なる意向を持つてゐるか

最近大統領側近の某外交顧問の漏らした所によるとソウエート聯邦承認は純然たる行政行爲で全然大統領の權限內の事項であるが議會における反ソウエート分子の反對を惧れて次期議會開會迄に手取り早く承認を決行する意向であるといふ

右の眞意の程は測り兼ねるが然しルーズヴエルト大統領としては通商關係の促進には非常な關心を示して居り、これが延いて承認にまで發展すべき可能性は多い、卽ち去る二十日農業金融統制局長官ヘンリー・モルゲンソー氏を對露通商交涉委員長に任命してアメリカよりの對露輸出促進の具體案を審議させるに決定した、一方例の復興金融會社は去る七月の棉花クレヂットに引續き最近第二次クレヂット協議を進めてゐる、その內容は大體アメリカより棉花、銅、アルミニユーム等を輸出して五千萬乃至七千五百萬ドルのクレヂットを與へ、之に對しロシア側はマンガン、プラチナ、毛皮、木材、パルプ、無煙炭等をアメリカへ輸出しその賣上によつて決濟せんとしてゐるといふ

又承認問題に對するソウエート側の態度に就ては最近のロシア新聞も餘りはつきりした見解は述べてゐないが、「モスクワ新聞」によると元來各國の承認を得ることはソウエート聯邦外交政策の重要使命の一であり、モスクワ官邊においても相當好感を以て迎へられてゐるらしい

以上の如く承認の氣運は可成り熟しつゝあるが、その實現迄には尙は相當の紆餘曲折が豫想されてゐる、屢々問題とされるロシアの舊債務はアメリカ外交政策協會のテーン氏調査によるとケレンスキー借款元利共約三億三千萬ドル、民間債務約四億四千萬ドル、合計七億七千萬ドルに上つて居り、承認實現となると矢張り反對論者の騷ぎ立てる根據となる惧れが多い

又ルーズヴエルト大統領は今春承認問題が起つた際上院議員との談話に於いて承認に伴ひ左の如き條件を希望したとロシア新聞は報じてゐる

一、露語に精通するアメリカ代表團に對し凡ゆる拘禁所及監獄の訪問を許可すること
一、代表團に對しソウエート當局の立會なく直接に農民に對する質問調査を許可すること
一、政治犯の死刑を廢止すること

之等もいざ實現となれば條件として提案されるかも知れず、之に對してソウエート當局が如何なる態度に出るか

一方承認問題の直接の當事者であるアメリカ國務長官ハル氏は去る九月二十一日新聞記者團に對し左の如く語つてゐる——

ルーズヴエルト大統領がソウエート聯邦の正式承認を考慮してゐる事は事實だが、その時期は未だ決定してゐない、アメリカ政府はソウエート代表と之迄數次に亘つて會談を行つた事あり又現に貿易振興計畫を樹てモルゲンソー氏をその交涉の任に指名したが、この事實を以て承認の決定を行つたと斷定すべきではない（完）

航空會社の
發展振り
陣容漸く整ふ

【奉天電話】滿洲航空會社は呱々の聲をあげてから滿一周年餘になるが最初旅客機としては僅かに八臺ばかりであつたものが現在は既に三十七、八臺を有するにいたり滿洲の全空を飛翔しない地方はなく一ケ年飛行メートルが六百四十七萬キロに達し地球を六回以上飛行した記錄を示してゐる、特に熱河の征戰には始めて食糧彈藥の品物の輸送と重傷者の後送に成功し旅客輸送機としての性能を充分に發揮した外北滿の水害と大森林の調査に當りては豫期以上の功績をあげ飛機による科學的調査に一新紀元を劃するにいたり三角地帶に熱河に空前の交通路を開拓し、第一線の皇軍につくした功績はまた偉大なものであつた、しかも五日には滿洲で最初の處女製作機滿航式二臺の進空式を擧行し名實ともに航空會社としての重大責務を果しつゝあるがやがて滿洲の航空網の完成に伴ひ極東における航空路の開拓に着手しソウエート聯邦との飛行連絡によつて歐亞を繫ぐ航空路の建設に着々その方針を進めつゝあり、優秀なる旅客機の出現までに日一日と進步をはかる航路工廠の陣容は漸次整ひ會社成立當初僅かに三十名內外であつた從事員は現在日滿人を合して二百餘名に達し素晴しい躍進振りを示して居る。

相

五十行以內　中傷ずらさは　投書歡迎

電々社員の不安
遞信系社員生

◇我々は遞信部內から官吏の諸權益を捨て電々會社入を餘儀なくされた者であるが、創立後四十日に垂んとする今日、未だに給與規定の發表を見ないのみならず、未だ辭令さへ交付されず、從業員の不安はその極に達して居る。

◇「退職當時の給與を下る事を得ず」といふ長官の命令なのに八月三十日附の昇給も勿論退職當時であるに拘らず全然これを認めず暫行的と糊塗し、昇給前の給與に僅か五分を增して、九月分給料を支給したが、長官の命令はこれを反古にするつもりか

◇滿洲國、滿鐵その他から入社した者は遙に高い給與をなし居るに拘らず業務の根幹となつて働く吾遞信從業員は何故の冷遇なのか、官吏薄給は世人の認むる所、退職時の昇給をその儘認めて給與しても部外入社者に比較し尙低率である、殊に自己の便宜でやめた時より遙かに少い手切金を下附さるゝのみである

◇會社幹部は左の五項に對し明確なる回答を爲し、我々の不安を一掃せられん事を望む、なほ之に關しては監督官廳たる關東廳當局の御監督を懇願する次第である。

◇（一）會社創立以來四十日に垂んとする今日何故諸給與及職制の發表並に辭令を交付せざるや
（二）退職當時の給與を下る事を得ず、との長官の命令あるに不拘何故之を遵奉せざるや
（三）遞信部內に居れば九月及十二月昇給期に達し又は達すべき者を如何に待遇するや
（四）本社の組織尨大に失し居れるは部內外人の均しく認むる處なるが之を根本より改組し多大なる冗費を節約し基礎を固め不安を除去する意なきや
（五）社員の身分保障の法如何

內地人口自然增加
昭和七年中百萬突破
（詳報）內閣統計局發表

【東京特電六日發】昭和七年度における內地人口動態について內閣統計局から左のごとく發表されたその要領は既報したがこゝには全文を揭げる

昨昭和七年內地における出生、死亡については四半期ごとにその概要を發表したが今回同年中の人口動態に關する全部の數字がまとまつたのでこゝにその概要を發表して一般の參考に供する次第である

一、**婚姻**　婚姻件數は五十一萬五千二百七十件、人口一千に對する割合は七・七であつて前年に比較すると實數において一萬八千六百九十六件、割合において〇・一七を增加した、既往において婚姻率の最も高かつたのは大正九年の九・七六であつて自後漸減の傾向を示してゐたが本年は上記の如くやゝ增加を示してゐる、重なる諸國における最近の婚姻率と比較するとベルギー、デンマーク、ドイツ、スイス等がわが國よりやゝ高くイングランド、ウエールス、佛國がわが國に等しいのを除いてはいづれもわが國より低い

二、**離婚**　離婚件數は五萬一千四百三十七件、人口一千に對する割合は〇・七八であつて前年に比較すると實數において八百二十八件割合において〇・〇一を增加した離婚率を既往について見ると大體漸減の傾向にあるが重なる諸國における最近のそれと比較するとオーストリアがわが國よりやゝ高くスイスがわが國に近似してゐるのを除いては何れもわが國より低い

三、**出生**　出生總數は二百十八萬二千七百四十二人、平均一日の出生は五千九百六十四人であつて、人口千に對する割合は三二・九二である、これを前年に比較すると實數において七萬九千九百五十八人、割合において〇・七五を增加した、既往においての出生率の最も高かつたのは大正九年の三六・一九であつて自後はこの率におよぶ年なく一高一低しつゝ僅少ながらも低下せんとする趨勢を示してゐる重なる諸國における最近の出生率に比較すると英領インドがわが國より高いのを除いてはいづれもわが國より低い

四、**死產**　死產總數は十一萬九千五百七十九、人口千に對する割合は一・八〇であつてこれを前年に比較すると實數において三千百十、割合において〇・〇二を增加、既往における死產率は年により多少の高低はあつたが大體において漸減の傾向を示してゐる、重なる諸國における最近の死產率はいづれもわが國より遙かに低い

五、**死亡**　死亡總數は百十七萬五千三百四十四人平均一日の死亡は三千二百十一人であつて前年に比較すると六萬五千五百四十七人を減少した、人口千に對する割合は一七・七三であつて前年より一・二五低い、既往における死亡率は明治初年を除けば大體において常に人口千につき二〇以上であつたが大正十五年（昭和元年）以降は昭和四年の例外を除いて二〇以下を示してなり殊に本年は明治初年を除き未曾有の低率を示した、重なる諸國における最近の死亡率は英領インドがわが國より高くポルトガル、スペインがわが國に近似してゐるのを除いてはいづれもわが國より低い

六、**自然增加**　出生死亡の差增卽ち人口の自然增加は百萬七千三百九十八人平均一日の自然增加は二千七百五十二人であつて昨年中に岩手縣における推定人口百萬五千百人より更に多い人口の增加を見た譯である、これを前年に比較すると十四萬五千五百五人の增加であつて人口千に對する割合は一五・二〇にあたり前年より二・〇一の增加である、これは出生の增加、死亡の減少の二つの事實に基づくものである、既往における人口の自然增加は日露戰役および大正七、八年の流行性感冒のため一時的減少を見たほかは大體において漸增の傾向をたどり大正十五年（昭和元年）には九十四萬餘人といふ多數の增加を示した、しかして昭和二年以降は年により一高一低の狀態にあつたが本年は遂に上記の如く百萬を突破するに至つた、なほ自然增加率について見るに既往において最も高かつたのは大正十五年（昭和元年）の人口千につき一五・五九であつて自後は一三・四臺を上下してなつたが本年は再び一五臺に上昇した、重なる諸國における最近の自然增加率はいづれもわが國より低い

◇

以上に朝鮮、臺灣、樺太、南洋群島、關東州、外國等における內地人の婚姻、離婚、出生、死產、死亡を加へた人口動態總計の總數は左の如くである

婚姻五二一、〇六七▲離婚五一、九六八▲出生二、二三三、五九〇、死產一二〇、一二九▲死亡一、二〇〇、六三五

實科高等師範學校
滿洲國建設を目論む

【新京電話】滿洲國教育大綱に則り實質的な生きた人間を養成すべく文教部では近く滿洲最初の實科高等師範學校を設立することになり二月取り敢ず第一回生として百五十名を募集假校舍として奉天の舊東北大學校舍を利用することに決定した、同校は修業年限三ケ年で所謂日本式な學究的な傾向を避け飽まで實質的な人間の養成に力を注ぐ筈で校舍は既に南嶺に指定し完成まで暫行的に奉天東北舊大學を利用することになつた譯である右に關し內山文教部總務司長は語る

滿洲國の教育方針として將來とも大學を設けず專門乃至高等學校をもつて最高學府となす豫定で徒らに餘りに研究的な大學をつくり優柔な人間をつくることは滿洲國の健全なる發達に資する所以でない、今回の高等師範學校にわざく實科と名をつけたのも特にこの點に留意したことが判るであらう

〝鳩〟通信所
佳木斯等に設置

【新京電話】滿洲國軍政部では國內警備通信補助機關として軍用鳩の飼育訓練に力を入れ鳩班として新京、奉天その他數ケ所に鳩通信所を設け通信機關のない山地の討匪工作に使用し相當成績を收めてゐるが更に北滿方面にも傳習所を設置する計畫を樹て佐々木鳩班長は去る八月下旬より松花江流域を約一ケ月に亘り視察した結果依蘭地區警備司令部と佳木斯富錦の三ケ所に鳩通信所を設置することになり廿三日中に寬城子鳩班より八十羽の鳩を依蘭に送ることになつた、更にこの成績如何によつては將來は國內に約三十ケ所の鳩通信所を設ける筈である

北滿方面に
デマ亂飛
赤宣傳文配布

【奉天電話】北鐵讓渡交涉の停頓から北滿方面には流言蜚語が飛びこの機會にソウエート第三インターは中國鮮人共產黨を使嗾し左の如き反宣傳を行ひつゝあり

支那本土は軍閥の鬪爭場と化し滿洲國の建設は一部の賣國奴の行爲により成立したが將來支那が不平等條約を撤廢し得るに至ることはソウエート聯邦の援助に依らねばならぬ、ソ聯は今や國際聯盟とも協調を保ち國內の政治は私有財產階級制もなく極めて鞏固に進みつゝあり、支那はソ聯と同樣共產制に基きソ聯として社會改革を行はねば國力の恢復する時代は永遠に來ない、北鐵問題に對して滿洲國は單に踊つてゐるだけで日本の背後にあるためであり、高壓手段を執るのも亦日本の援助によるものである支那を眞に救ふものは共產支那聯邦の建設にあり

とその宣傳文を各所に配布し北鐵讓渡に反對する氣勢を示してゐる

大觀小觀

荒木陸相談として傳へられるもの、藏相外相と軍部兩相との意見に開きがあるとのこと▲人を異にする以上は意見の異なるのも當然であらう▲されぱこそ會議懇談の必要があるのだ、何れも眞劍だから、その中によい結論が出るだらうともいつてゐる▲高橋藏相、外交は喧嘩のためのものではないと、御詔勅までも引用する▲我輩の見る所では外陸兩相の意見に懸け離れはないとも云ふ、此點陸相談とやゝ異なる▲馬占山、李杜に送るべく募集された、愛國義捐金、二千何百萬元の大部分が行方不明なので問題を起してゐる▲義捐金募集者の意圖は、始めから吾々にはよく解つてゐた▲滿洲水害などでいつでも此手にかゝつてゐる支那の人々が、今更大きなペテンにかゝつたと氣附くとは不思議な話だ▲滿洲では英品の關稅を引下げた、結果は日本品關稅引上げと同樣、そこで日本の羊毛當業者間には濠洲羊毛不買の議が起つた▲こゝでも印度と同樣なことになつた、これでは中南米から、羊毛、棉花の購入を眞劍に考慮しなくてはなるまい。

旅順鄕軍射擊會

在鄕軍人會旅順分會では關東廳體育研究所共同主催にて來る二十二日午前九時から陸軍射擊場に於て射擊大會を開催する事となつた參加資格者は

第一班在鄕軍人、第二班工大學生及豫科生、第三班中學生及青訓生、第四班一般市民男子、第五班一般市民女子、第六班高等女學校生徒

滿鐵辭令（七日）

鐵路總局參事　諸富鹿四郞
鐵路總局運輸處貨物科長を命ず
經調第三部主査兼總局貨物科長　參事　伊藤太郞
總務部人事課人事係主任　事務員　古賀董
鐵路總局兼務を命ず
經濟調査會調査員　事務員　竹森愷男
鐵路總局勤務を命ず

關東廳辭令（七日）

任關東廳法院通譯生兼關東廳法院書記　小形政美
任關東廳翻譯生　小野彥馬
任關東廳海務局屬　影浦宗市
任關東廳海務局技手
關東廳技師　黑井忠一
依願免本官

人事

▲石丸志都磨氏（執政侍從武官）七日午前九時發はとにて歸任
▲富永能雄氏（昭和製鋼所常務）同上來連
▲江口胤顯氏（鐵道省觀光局事業課長）七日午後七時三十分着列車で來連星ケ浦ヤマトホテル
▲日本ホテル協會一行十名　ヤマトホテル　同上
▲原口忠次郞氏（新京國道建設所長）同上遼東ホテル
▲岡田忠彥氏（政友會總務）七日午後九時發列車で北行
▲伊澤道雄氏（鐵路總局次長）七日午後四時廿分發列車にて歸任
▲迫喜平次氏（滿洲國々務院人事處長）同上
▲宇佐美寬爾氏（鐵路總局長）沙河口より同歸任
▲京都武道專門學校鮮滿遠征團一行三十七名　同四時四十分着列車にて來連

市況（七日）

株式
土曜後場復活　市況睡り

內地後場休會なるも當市は土曜日後場立會を復活し諸株共睡りであつた

◇後場

◇定期（單位十錢）

銘柄	當限	先限
新豆（寄）	二〇九	二〇九
新豆（引）	―	―
五品（寄）	二一八	二一八五
五品（中）	二一八	―
五品（引）	二一八	―

◇延取引

銘柄	寄值	高值	安值	大引
五品	二六〇	二六九	二六〇	―
新豆	二一〇	二一〇	二一〇	―
錢鈔	―	一〇〇	一〇〇	一〇〇
東新	一九七	一九八	一九七	一九六
滿鐵新	―	一九六	一九六	―

特產
一般氣乘薄で各品無味

後場の定期は大豆は休日控へに一般氣乘薄に閑散區々保合を示し豆粕は閑散弱保合、豆油は强保合、高粱は邦商の賣物に軟調を呈した

◇定期後場（銀建）

▲大豆（區々保合）單位厘

限月	寄付	高值	安值	大引
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　百四十三車
▲普通大豆出來不申

▲豆粕（弱保合）單位厘

限月	寄付	高值	安值	大引
十月限	一一〇五	一一〇五	一一〇五	一一〇五
十一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇

出來高　二萬八千枚

▲豆油（强保合）單位錢

限月	寄付	高值	安值	大引
十月限	一一一〇	一一一〇	一一一〇	一一一〇
十一月限	一一〇〇	一一一〇	一一〇〇	一一一〇
十二月限	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇

出來高　五千箱

▲高粱（軟調）單位厘

限月	寄付	高值	安值	大引
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　十車

◇現物後場（銀建）

▲包米　出來不申

品名	寄付	大引
混保大豆（袋入）	四二三〇	四二二〇
大豆（裸物）	―	―
出來高	四十車	
普通大豆	出來不申	
豆粕	一二〇五	一二〇五
出來高	六千枚	
豆油	出來不申	
高粱	出來不申	
包米	出來不申	

錢鈔
材料薄で保合閑散

後場材料薄で氣配變らず閑散

◇定期後場（單位錢）

	寄付	高值	安值	大引
期近	一三六〇	一三六〇	一三六〇	一三六〇

出來高　期近七十二萬圓

◇現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時	一三六五	[illegible]	[illegible]
二時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　銀對金十八萬三千五百圓　銀對洋一萬圓

商品
綿糸變らず　麻袋保合

綿糸●大阪三品後場保合を入れ當市は氣配變らず閑散

銘柄	約定期	值段	梱數
福助	十二月限	二〇七四	一〇

出來高　十梱

麻袋●

銘柄	約定期	值段	枚數
綏筋	二月限	三五八	二〇

出來高　二萬枚

奧地市況

▲奉票對金票　現物　五六、〇〇
▲奉天國幣對金票　現物　一〇六、六〇　一〇六、六五
先物　九三、六〇　九三、六〇
▲開原國幣對金票　現物　一〇六、六〇　一〇六、六〇
▲新京國幣對金票　現物　一〇六、六〇　一〇六、六〇
▲安東鎭平銀　當限　一、四六七　一、四六九　先限　一、四七一　一、四七二
▲ハルビン國幣對金票　現物　一〇六、六五　一〇六、六五
▲ハルビン大豆　十月　五八〇〇　五八〇〇　十二月　五七〇〇　五七〇〇
▲ハルビン小麥　十一月　一、〇〇〇　一、〇〇〇　十二月　一、〇二〇〇　一、〇二五〇

市場電報

神戶特產

品名	值
大豆現物	五九〇
先物	四六〇
豆粕現物	一五五
先物	三一八
滿洲小麥	六四〇
豆油現物	不申

大阪期米

限月	後場寄	後場引
十月	二三八九	二三八二
十一月	二三七〇	二三六二
十二月	二三六〇	二三六二

神戶期米

限月	後場寄	後場引
十月	二四〇三	二四〇五
十一月	二三三五	二三四七
十二月	二三三四	二三三九

東京期米

限月	後場寄	後場引
十月	二四〇七	二四〇七
十一月	二三八一	二三八一
十二月	二三七一	二三七一

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
十月	二二六四〇	二二五九〇
十一月	二一八四〇	二一七六〇
十二月	二一一〇〇	二一一五〇
一月	二一二一〇	二一一〇〇
二月	二〇七四〇	二〇七四〇
三月	二〇四八〇	二〇四三〇
四月	二〇三〇〇	二〇三〇〇
五月	二〇一五〇	二〇一四〇

公示催告
神戶市神戶區北長狹通八丁目二三番屋敷
申立人　錠　彌七
證券ノ表示
證書目錄
一、證券番號ト種類　第七七壹號船荷證
一、船會社ト船名　大阪商船株式會社第三日淸丸
一、荷物ト個數　古新聞紙壹百五拾五個也
一、價格　金壹千圓也
一、積出受入　怡利公司
一、荷受人　持參人
一、陸揚港　神戶
一、積出港　大連
一、積出日附　昭和八年四月廿參日
右證券ニ付キ前記申立人ヨリ公示催告ノ申立テ爲シタルニヨリ其所持人ハ昭和九年四月十八日午前九時迄ニ當法院ニ權利ヲ屆出テ且ツ其證券ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ屆出及ヒ提出ヲ爲サヽルニ於テハ其無効ヲ宣言スルコトアル可シ
昭和八年十月三日
關東廳地方法院

そろ〳〵必要な冬籠りの準備

滿洲も年々暖かくなつて來ますが今年の如きは例外で十月一日迄の平均溫度は二〇度で平年の十七度に比較して三度去年の十六度に比べて四度高く、十月の最高溫度は二六、七で普通なら九月の中頃の最高溫度です、夜間も本年は十五、六度で去年の十一度に比べると大分差がありますが、さすがに昨日今日邊りから寒さが感じられるやうになり、冬籠りの準備が必要になつて來てそろ〳〵煖房の用意がこゝのへられつゝあります。

人氣者〝石炭〟の登場

一年にどれ程消費するか？

この冬籠りに必要な大連市内の石炭の消費量を調べてみますと、昨年度は實に四十九萬三千噸でその内家事用として二十三萬五千噸が消費されてゐます、八年度として消費され二十五萬八千噸が工業用上半期には二十一萬四千噸で前年に比し四萬一千噸の增加を示してゐます、寒溫の影響によつて約三〇パーセント位の差異はあるとのことです、ではこの石炭の相場はと最近における一噸當りの値段を調べて見ますと

塊炭一三圓、A塊炭一二圓、中塊炭一三圓、切込炭一一圓、特粉炭、並粉炭一〇圓、煉炭一四圓

程度で今冬も値段には餘り大きな變化はないやうです（滿鐵本社商事部販賣所長談）

石炭の焚き方

滿鐵商事部販賣所　加藤所長談

時節柄モ少し家庭燃料に對する研究が必要と思はれます燃料節約に効果あらしめるためには石炭の種類と煖房の關係を充分考へる必要がある、石炭は火附きのいゝ撫順炭、固く煉のある炭（撫順東部炭田）或は特に煙の少い炭、無煙、牛無煙等あるが、ペーチカのやうに熱を吸收して輻射するやうなものは燃え易い最物（撫順炭）なくべ、炎焼を行きわたらせ早くダンパーを閉めた方がいゝのだが、市場では反對に火もちのよい煉炭其他がよいと傳へられてゐるが火附が悪いものはボデーが暖まりにくゝその間ダンパーをあけて置くから火が逃げてしまふ、それと反對に新式の各種煖房には煉炭がよい七年度市場の要求は煉炭であつたが出來が惡く、粉分が充分拔けてゐなかつたので固くて煉りもあり火もちもよく經濟だが煖房にねりがついたりして具合が惡かつたが本年はよくなつてゐる、大きな建物には切込炭や塊炭類を使用するのは燃料選擇の見地から不經濟で煖房の火床を改造して粉炭を使用するのが一番よく暖かくて且經濟的だ、粉炭はたき方と用具如何でやすくて消費量も少なく且つ何時もやかましくいはれる煤煙防止空中淨化にも大いに効果がある

家庭への痛手

今年はストーブが高い

原料高で飛上る

そろ〳〵ストーブの用意が必要となります、家庭の便宜を計る滿日事業部主催恒例のストーブ展覽會も愈々來る十五日から三日間大連民政署横の空地で開かれますが、今年のストーブの新型お値段を總體的に調べて見ることにしました

今年は鐵の原料高で四割高の噂もありますが、大連市場のお値段？原地では相當な高値になつてゐますが、こちらではストーブの種類によつても異りますが先づ一割近くから三割高で二圓から十圓上りの狀態で滿洲の冬に缺かされぬストーブだけに今年新らしく購買する家庭には多大の痛手となつたわけです、お値段は今年は先づこれで落つき先上りとなる事はあるまいと見られてゐます、型の上では部分品が部分的に改正されて行く位でストーブによつては今年初めて炊事兼用のものができてゐます（昭和洋行主談）

卓上日誌

▲けふの運動會　旅順高等女學校（午前九時）旅順第一小學校（午前八時半）

▲園藝即賣會　大連市社會館で千代田園藝社が庭園樹、苗、盆栽、萬年青、蘭の大即賣會をやつてゐます（十日まで）

▲沙河口青訓　八日午前八時から春日池射擊場で射擊大會を開く

臺所用具のお手入れ

(二) 鍋類

お鍋は洗つて水氣を切つたら必ず布巾でふいて置くこと、油物を煮たあとは使用後直ぐお湯を煮立てゝ置いて石鹼と磨粉で洗ひます、鍋の屑で出來てゐるワイヤ、クレンザー類を煮るには瀬戸引鍋をお使ひ下さい、瀬戸引鍋は新しいうちに水一合に酢と食鹽を大匙一杯位づゝの割に加へて鍋いつぱいに入れ二三度煮たゝせてから洗つて使ふと琺瑯質から出る毒を消しますから安心です、瀬戸引鍋もあまりよくこすつて洗ふのは禁物で、軟かい束子かへちまなどにクレンザーか粉石鹼をつけて洗ひます

家庭のメモ

●フエルトの汚れは……

フエルトの汚れは澱粉をびたびたに水で溶いたのをつけ、それが乾くのを待つてブラシでこすります。

●お醬油のシミ落し●

お醬油のシミは直ぐ洗ふと落ちるが更に薄いアンモニヤを落した水ならなほよい。

……なら更によく落ちます、又銅鍋は後始末が惡いと、酸化して綠青を生じますから、使つたあとは煮物は直ぐ他の器に移すこと、鐵鍋は芋類のやうな澱粉質のものを煮た後では冷水につけて下さい、次にアルミの鍋は、質が軟かですからソーダで煮たり固い束子でこすりつけてこすつたりすると表面にきずがついたり色が變つたりしますから、へちまに糠をつけて洗ふとよろしい、お米のとぎ水で洗つてもよく、クレンザーでもよく落ちます、アルミの鍋も酢氣や鹽氣をきらひますから、酢を入れたもの……

樂しい思出の記念

意味シンな新〝夫婦指環〟の出現!!

結婚指環流行調べ

幸福な將來のシムボルとして又樂しい思ひ出の記念として結婚にはなくてはならないのが結婚指環です……この結婚の指環も歐米ではエンゲージメントが成立した時の

婚約 指環と、いよ〳〵結婚式を擧げるといふ時の結婚指環と二通りになつてゐますが日本では一般には俗にいふカマボコの結婚指環だけを交換する習ひです、そのカマボコは普通の金指環とちがつて十八金を用ひ、繼目のないものが緣起をよろこばれてゐます稀に結婚に因んだカンランの葉、オレンヂの花、忘れな草などをカマボコのまはりに刻む人もありますが多くは内側に自身の名と姓の頭字、結婚の年號を刻み込むだけで

歐米 のやうに「我が生命の終りまで」とか「靈の結合」といふやうな誓ひや愛の言葉を刻みこむのはごく一部のクリスチヤン位に限られてゐます、カマボコも一頃のやうに二匁も三匁もあるやうな太いのは飽かれて極く普通なのはせい〴〵一分巾位ですから指の細い人なら目方もやつと七、八分、指の太い新郎用のでも一匁をあまり出ますまい。從つて十八金で五圓から七圓位、この頃ではプラチナ（十五圓見當）や二十分の一カラット位のごく小粒のダイヤを一つはめこんだプラチナ（三十圓見當）もひろく用ひられてゐますが普通の繼目なしのカマボコに代つて最近眞ん中でセツシリと抱き合つて一見普通のカマボコですが離せば絡み合つて二つになる意味シンな

夫婦 指環といふ目新らしいものが出現しました、これならば合せ目に愛の言葉を彫込んでも人目に立たないでよいでせう、エンゲージメント・リングを双方から交換するのは日本ではほとんど稀で、唯男の側から婚約のしるしに或は結納品に添へて寶石入の指輪を相手に贈る風は年々盛んになつて來ました、この寶石は婚約者の幸福を祝するためその誕生石を選ぶのが普通です

卽ち一月生れの女性には神祕的な燃ゆる愛と勝利者の權力をもたらすガーネットを、二月生れの女性には淸らかな愛情のシムボルであるアメシストを、三月は聰明と沈着と勇氣を養ふブラツドストーン、四月は淸淨無垢の平和の標章ダイヤモンド、五月は若々しく無窮廉潔の象徵エメラルド、六月は幸福と長壽をもたらす眞珠、七月は仁愛と威嚴のルビー、八月は眞夏の幸福サードニツクス、九月は貞操と德望のサフアイヤ、十月は希望と潔白のオパール、十一月は眞の友愛と幸福をもたらすトパーズ、十二月は繁榮と成功のシムボル土耳古石を贈るのです

地味 すぎたりするのが多く、なせずに……ところがこの從來の誕生石はあまり高價すぎたり地味すぎたりするのが多いので最近米國では新に合成石の誕生石が選定され世界的な流行を來してゐます

滿洲向の誕生石

新しく選ばれた十二種

滿洲では特に安價に手に入る寶石類がありますので今度滿洲向の新誕生石として次の十二種がえらばれることになりました

一月アレキサンドライト、二月バイオレツトサフアイヤ、三月ブリユースピネル、四月ホワイトサフアイヤ、五月エメラルド、六月セイロンサフアイヤ、七月ルビー、八月サードニツクス（瑪瑙）九月サフアイヤ、十月オパール、十一月トパース、十二月ジルコンサフアイヤ（森洋行調べ）

〝凱旋兵士を迎ふ〟

前島いづみ

確なる靴の歩みよ凱旋のつは者迎ふ日照の旗
山麓秋淸らなりその胸に桂折り得し軍びと來ぬ
その思ひ遙ふる國にかけりてむ今し迎ふる勝ちいくさ人
北滿に療癘匪賊くさ〴〵の禍ひしざけむそがもろの腕
皇國まもる重き任務をいと輕くいのち捧げしこれのますら男

家庭顧問

亡父の貸金を整理したい

【問】御多忙中御面倒な事を御伺ひ申します、實は昭和二年十月頃亡父から或人に保證人連帶にて少し金を貸出して居りました處が父は昭和五年に死亡致しました故其後今日まで放任して居りましたが此際貸借一切整理したいと思ひますが如何なる方法が一番好都合であるか御教授願ひます、尙先方は現在支拂出來得る可能性は充分にありますし且又亡父宛の連帶證書はあります（債權者より）

請求出來るが時効に注意なさい

【答】貴下が相續人であるならば貴下は借主及連帶保證人に對して何時でも辨濟を求められます、しかし商業上の貸金ならば辨濟期日より五箇年にて又それ以外の普通の貸金ならば十箇年にて時効が完成しますから權利はこれによつて消滅することになります、相續後の財產整理に付ては往々にして相續人の知らない事實が後で發見せられてこれが爲めに相續人が不測の損害を蒙ることがありますから成るべく速かに辯護士に御相談なさることを御勸めします（寺島由松）

東洋第一の天體望遠鏡

最近南京に設置された東洋一ツアイス製天體反射望遠鏡は直接觀測に非常に便利で殊に天體寫眞撮影などの夜間操作に際してはその巧妙なる電氣裝置によつて移動し長時間の露出中に望遠鏡の視野中に現れる天體の位置が絶對狂はない相である、又觀測者は作業中自分の位置を動く必要なく下部にあるボタン一つ押せば電氣裝置によつて望遠鏡は自由自在に動く仕組になつてゐる、紫金山上天文臺はこの望遠鏡設置により東洋はいふに及ばず世界天文學界に貢獻すること大ならんと各方面より期待されてゐる、なほこの鏡は世界的に有名な光學機械工場ドイツカール・ツアイス社の製作にかゝるもので同社總代理店大連市敷島町四九（五品ビル）カーロウキツ商會の姉妹社上海カーロウキツ商會の納入したものであると

〝獵人閒語〟

八木氏の近著

正隆銀行爲替課長八木虎之助氏の近著「獵人閒語」は趣味の獵人としての著者が廣く山野を跋渉し狩獵に關する興趣を手記せるもので「秋晴」以下三十數篇を收め、その淸新なる大陸の自然描寫はツルゲネーフの「獵人日記」を憶はするものがあります、新涼燈下の……

ラヂオ

大連 JQAK　十月八日

▲午前六時　ラヂオ體操第二
▲午前六時卅分　ラヂオ體操第一
▲午前十時　レコード（コロンビア）
▲午前十一時五十分（新京より）講演「滿洲國警務機構」民政部警務司長長尾吉五郎
▲午後一時（京城より）ニユース野球試合實況（朝鮮龍山球場より中繼）滿倶對鮮鐵定期戰
▲午後三時三十分　ニユース
▲午後六時　ニユース、講演「女性の能力に就て」鈴木麗枝
▲午後六時三十分（東京より）舞臺劇（明治座より中繼）「美男鬘三勝半七」瀬戸英一作、場景一柳稻梅川座敷の場二、笠屋三勝内の場三、同外の場（配役）簑屋半七（片岡我童）雁女おひろ（藤間久子）娘分お末（片岡ひとし）娘お通（尾上菊枝）笠屋三勝（森律子）舘龍昇（片岡松六）同（坂東田藏）藝者おさま（初瀬浪子）茜屋二郎兵衞（伊井友三郎）（小唄）春日とよ社中春日とよ麗、春日とよ榮、春日とよ晴
▲午後七時四十五分（東京より）ピアノ獨奏（一）熱情（奏鳴曲）ベートーヴエン作曲、第一樂章アレグロ・アッサイ、第二樂章アンダンテ・コン・モト、第三樂章（終曲）アレグロ・マ・ノン・トロッポ（二）マヅルカ（變ロ長調）ショパン作曲（三）ポロネイズ（變ロ短調）ショパン作曲（四）「紡ぎ歌」メンデルスゾーン作曲（五）「カンパネラ」リスト作曲、イグナツ・フリードマン
▲午後八時三十一分　ニユース　氣象通報

新棋戰（其七）

本社特選

先六段△石井秀吉
平手　六段▲石原勇吉

【圖は五七桂成迄の局面】（△石井氏持駒銀香歩）

△五七銀　▲五五桂
△七六玉　▲四三歩
△三二桂成　▲同銀
△三四歩　▲同龍
△四六桂　▲四五龍
△三四香打

迄合計百七手にて石井氏の勝

土居八段總評

本局は双方相懸り模樣で堂々と對抗してゐたが此時石原君は俄に方針を變更し四四歩と突いて得意の持久戰の方針を執つた以下着々と駒組みを整へてゐたが、その時石原君は手詰りを避くる意味に七筋から開戰し轉じて五筋の戰ひとなつて活氣ある局面を現出した、中盤の形勢を窺ふに石井君は六六銀以下巧に敵の鋭鋒を避け有利の局面を展開してゐたが八七銀引不可の爲め些か形勢を損じた、しかし石原君に於ても八三飛の引き場所を誤り局面は混戰狀態となつた、この時石原君は形を整へつゝ徐ろに指すべきが至當なるを三五角の淺薄な策を執り、續いて六四同歩の大惡手を演じ之が敗因となつたのは石原君としては不出來の棋戰であつた。

萩原七段解說

石原氏の四三歩は三三金と逃げては七三馬と寄られて惡いので四三歩と打つたのであるが、この局面では石井氏の玉が安全故最早見込みがないのである、石井氏三四歩と玉の逃げ道を防ぎ同龍、四六桂、三四香の順は當然の手であるが直接玉手をくなせずに控へ目にかゝつて行くことは肝要な事である。

第廿九回 滿日特選碁戰

先々先番　四段　中川新
　　　　　三段　渡邊英夫

—【9】—

解說 黑百四十九で百五十ならば百四十九から押へ黑（い）白（ろ）黑（は）白（に）黑（ほ）白（へ）黑（と）の時（ち）と振り替るのである

滿日各地版

召集規定の改正で 間誤つく郷軍
突如原隊の召集を受けて 歸れぬ悲喜劇續出

【奉天】從來內地に於て召集を受け現役兵で歸休兵となつて居た者は渡滿して在留屆を提出して置けば內地原隊の召集を受けなくても濟んだが本年六月二十日規定された陸軍省第廿一號により本年は內地原隊の召集を受ける事となり多數渡滿して居る歸休兵は突然原隊の召集に種々悲喜劇を演じて居る一昨年の召集を受け本年七月滿期歸休となつたもので將來の活舞臺を滿洲と定め着の身着のまゝ旅費だけ作つて來滿したものが奉天だけで三十餘名も居るがこれ等の歸休兵は內地において原隊の召集を受けなくて濟む手續をとり來滿したもの、突然この召集を受くることゝなり然も旅費は貰へず懷中無一文で歸らうには歸れず何とかならぬものですかと每日の樣に奉天署兵事係を訪れ泣きついてゐるので兵事係でも之に同情し出來るだけの方法を講じてゐる始末であるが中にはアンコロ店の店員として只喰べるだけの報酬を受け眞面目に働いて居る山田某は現役兵としてつとめて居る際小遣も使はず貯めて居た金が卅圓あるのがこの召集を受けてアンコロ店では旅費をくれず貯金の三十圓は動員の時使ふ金でこの旅費に使ふ金でないと係官を手古摺らせて居るのもあるかと思へば五日兵事係を訪れた二人のルンペンは

私達も召集を受けて居ますご覽の如く着のみ着のまゝです、旅費の出る所はありませんどうしませうか

と屆け出て居るので係官も至急郷里から旅費を送つてくれる樣に手續をして居る有樣でかうした召集を受ける歸休兵の中には職には就かず旅費はなく困つて居る者が多數ある見込である

山城鎭日本小學校設立

【奉天】今春來計畫中だつた山城鎭日本人小學校新設については愈々此度海龍領事分館松浦副領事の盡力により滿鐵の後援を得て當地日本人居留民會の手により新設する事に決定し九月二十八日工事請負は室井千代吉氏に決定、同二十九日地鎭祭を行ひ愈々工事に着手したが落成期は十一月十日頃の豫定で十一月中には開校の運びに至る豫定である、場所は瀋海鐵路局の好意により北門外廣場を三千坪借用する事となつた、これで瀋海線唯一の日本人小學校が出來る譯であるが將來日本人居住者が增加するに連れて痛感された子弟教育の惱みも一掃される譯である

弓野力男氏【チチハル】賜暇歸朝を命ぜられた前チチハル領事館警察署長弓野力男氏は二日午前八時チチハル驛發列車で日滿官民多數の見送を受けて離齊した

錦州居留民會【錦州】錦州居留民會では六日午後三時より臨時民會を招集し議長、副議長および行政委員（十名）會計檢查委員（二名）の選擧を行つた

夏枯れ影響で 收入が激減
昨年と比べば增收 九月中の鐵路總局收入

【奉天】鐵路總局の九月中總鐵道收入は三百五萬九千八百十九圓で前月の三百五十二萬八千二十八圓に比して四十六萬三千二百三圓卽ち約一割三分餘の激減である、これは夏枯の影響や特產物の出廻りが遲く、又匪賊跳梁期として一般に旅行及輸送の警戒されたによるものである、然し昨年同期の百四十萬二千五百七十九圓に比すれば百六十五萬七千二百四十圓卽ち一倍以上の增加を示して居る之を以てしても如何に滿鐵に委任されてから其の經營が躍進して居るかゞ想はれる尙本年九月の鐵道收入狀態を示せば

項目	數量・金額
乘客	五四〇、二五二人
運賃	一、〇一五、六七七圓
貨物	八一八、〇三〇噸
運賃	二、〇〇五、九五二圓
其他	三八、一四〇圓
計	三、〇五九、八一九圓

原始的な統制法で 行動する熱河匪團
進路の決定は易で 支那正規軍より却て規則的

【奉天】數百名の團體をもつて部落から部落へと移動する匪賊團は部隊の統制も頗る嚴正で支那軍よりは反つて匪賊團の方が規則的な行動を行つてゐるがそれは團體を統率する頭目が絕對權力を持ち又その配下にある部下は絕對服從であたかも一家主義をもつて團體行動を取つてゐるのでその中でも熱河省內にある匪賊は東邊道その他三角地帶の匪團と異り彼等は獨特の組織法をもつて團體行動が行はれてゐるが彼等が如何に組織立つた行動を行つてゐるかその一例を擧げると一團體中にはかならず嘯子、當家白、戰、易者、橋查の五ッの部隊に分れてゐる卽ちその五分所は

一、當家白――頭目團體の統制に當る
二、戰――ボーイ
三、易者――先生と呼ばれその部隊の進路は易によつて定む
四、橋查――檢查をなす役

この外部隊移動中における分擔は

1、夜柵子――夜間宿營の時警戒の任につく
2、風柵子――晝間同上（夜柵子風柵子の兩者の指揮に當る者を水箱といふ）
3、先頁子――移動の際警戒の任に當るこれを指揮する者を砲頭といふ
4、男柵子――男の人質監視役
5、女柵子――女の人質監視役

以上の如く彼等はこの役割によつて各自嚴格なる行動が行はれてゐるが中でも部隊の移動に際し先づ易によつてその方向を定むるが如きは如何にも滿洲式である

苦鬪の討匪から 松山部隊歸る
金川地方の狀況を聞く

【奉天】木の枝に結びつけた日章旗は討匪行の如何に苦戰であつたかを物語つて居る程白地が鼠色になつて居る――それを二本携へた名譽の杉山○隊長の指揮する鐵道守備の○隊は小隊長山本博光氏の引率の下に勇ましく六日午後一時二十八分のはとで歸奉し直に二時の列車で原地新民に歸還したが隊長を始め將兵の顏は常駐地陣中の如何に苦鬪であつたかを窺ふ事の出來る、赤銅色にドス黑く光つて見え 軍服背囊○隊將兵の毛布機具類は殆ど修理のいとまない忙しさを想はして居た山本隊長はそれでも部下を省みながら語る

七月上旬から約三ケ月間朝陽鎭方面から金川輝南地方の匪賊討伐に當つて居たが事變當時の樣な政治的色彩をもつものは少くなり喰へぬから生活の爲になり下つて居るものが多いので續々歸順を願ひ出る者あり彼等は歸順をするから自警團にしてくれとか滿洲國軍に編入して欲しいとか色々な條件を持ち込みこちらとしては一寸困る事だが矢張り何とか生計のたち行く樣に考へてやりたいと思つた、以前は匪賊は武器としては紅槍位のものだつたが武器も相當に備へ拳銃或は長銃隊を組織して奇襲して來る分散常駐軍としてもまた油斷は出來ない一番可哀さうなのは地方農民で我等が引揚げるといふのを聞いてどうかこの儘常駐して下さい、食糧品はわれ／＼が提供しますから――と軍を信賴する事は實に想像外で三ケ月間滯在して僻陬の山間地にも全部日本軍を慕ふ農民ばかりで彼等は軍の駐屯してゐるため安全村となつた御禮から每日色々の馬匪賊の動靜を教へてくれるが片ッ端から討伐することは却々困難である、今度歸還する事になつた村では村長が泣いて引留めたが更替するのだといふことが判つてわれ／＼の引揚げる時には村外れまで感謝の見送りをしたと――

山本隊長の眼には感激の露が光つて居た、匪賊の危害から逃れた軍常駐地の村では日本軍を神の如く信賴して居る

貴院議員滿洲視察團 六日奉天で

北鮮鐵道沿線素描（4）
南陽の發展ぶり 滿鮮國境を繫ぐ要衝

△鍾城驛 鐵路は國際鐵橋より右折して關山屯平野を望みつゝ進む、こゝは太古肅愼時代より女眞、李朝に至る迄數回に亘り諸民族の興亡去來せる地であつて、東には山岳を繞らし、西は豆滿江を隔てゝ間島、和龍縣に相對する國防警備の要衝として知られてゐる人口五千三百餘、北鮮の古都である、鍾城硯は名物として一般に珍重さる、名所受降樓は今を距る四百餘年前邑の周圍に城壁を築き胡賊の襲來に備へて居つた時の望閣で城壁の中央にあり三層樓となり雷天閣と名付けて居たが後受降樓と改名したものである

△潼關驛 豆滿江と東南に起伏する山岳との間に開けた平野に位し背から江岸二十四鎭の一に數へられ約三百年前に築造せられた城壁の址を殘してゐる、現在人家二百四十戶、人口約一千六百八十名許りの部落で冬季出穀期には豆滿江結氷により氷上運搬の穀物奧地より牛馬車で多量搬出せられ沿線有數の出廻り高を示すに至つて居る

△嗵岩驛 鐵路はこの附近では豆滿江岸を走り雄大な豆滿江の流水を賞することが出來る、こゝは人口稀薄な江岸の一寒村である

◇……◇

△水口浦驛 豆滿江を隔てゝ間島馬牌に對し三方嶮岨な山に圍まれた江岸の一小部落に過ぎず、人家百十戶餘を算するのみ

△江陽驛 鐵路は愈々豆滿江に近接し護岸擁壁又は水制蛇籠を設け山側の斷崖は切取を以て僅かに通じて居るを見る、爲めに附近は耕地少く住民は越江して耕作を營み生活を續ける狀態である

◇……◇

△南陽驛 間島を貫流する海蘭河、布爾巴通河、嘎呀河が豆滿江に合する處の三角洲に拓けた平野の一部西方に南陽がある、東北は屏風の樣に山を繞らし前方は豆滿江を隔てゝ滿洲國圖們（灰幕洞改稱）に對して居る、昨今迄人煙稀なる荒蕪地で住民の殆どは越江耕作に從事して居つたものであるが滿洲事變を契機として久しく懸案中の敦圖線が敦化より對岸圖們に出で國際鐵橋を介して聯絡することゝなり爲に工事關係者や內鮮人の移住者が急激に增加し一躍二千四百名の大都邑となり旅館、料理屋のみで數十軒に達する進境振りで市況頓に活氣を呈して居る豆滿江を挾んで對立する兩市街は從來渡船により交通して居つたが國際鐵橋完成により本年八月より一般に橋上通行を爲して居る南陽、圖們兩驛よりは相當距離があるので乘合自動車の運行により便利を圖ることになつて居る、待望中の敦圖線は敦化より朝陽川で南廻線と分れ間島の中樞延吉を經て對岸圖們に出で國際鐵橋を介してこの南陽に連絡し既に營業を開始し近く淸津、新京間直通列車の北部國境驛になるのであるが將來羅津を終端港とする京圖北廻線は滿洲國の首都新京と雄基との間僅かに六百七十五粁餘內鮮滿を繫ぐ最捷徑路となつたもので日滿交通史上に一大革新を齎したものである、今後豐富なる北滿の物資は京圖線により內鮮方面に搬出せられ警備を兼ねた交通經濟軍事上幾多の重要なる役割を持つ線路の朝鮮側連絡驛として最も重要の位置を占めるにいたるものである

◇……◇

△豐利驛 三方山を以て繞らし西方のみ豆滿江に向け開けた江岸の一寒村で耕地に乏しく只上流約半里の地點に於て間島を沃流する海蘭河が豆滿江に合流してゐるので附近の江幅廣く奧地より流下する木材の陸揚場として好適の地と爲つてゐる

△世仙驛 豆滿江に臨む鍾城平野にある、水利組合の水路は井然と附近を走り一帶美田を爲して居る

『朦朧女給』
浮草の如く流れ步く彼女等に 奉天署の嚴重な彈壓

【奉天】人口增加に伴ふ奉天カフエー、飲食店の發展振りは素晴らしいものがあり新に現れるもの、外にどのカフエーを見ても內部の改造をなし女給の增員を行ふなど好い景氣を煽つてゐるがかうした時期に乘じて他所より入りこみ無屆のまゝ女給、女中などして働き又他に移つては各所カフエー、飲食店を轉々し浮草の如く流れてゐるもの多數に上りしかもこれ等女給に限つて借金を未拂のまゝ姿を晦ましたり風紀を紊したりして營業主その他に迷惑をかけることが多大であるのみか善良なる同業に對しても惡影響を及ぼすことが多いので奉天署保安係ではこれ等不良分子を一掃するため無屆女給の嚴重な取締りを行つてゐるが、近頃この網を潛つてひそかに働いてゐる女給が增加して來たので更に嚴密な調査を行ひ無屆女給の徹底的取締りを行ふこととなつた、この網に引掛るものが多數に上るであらうと

松樹地委選擧當選者

【瓦房店】松樹地方委員選擧は十月五日午前八時より開、票當選の榮冠者左の如し

票數	氏名
三八	孫萬壽
二〇	劉貴德
一四	任濟三
一三	山路猶龍
八	東慶太郎
六	杉原武次郎
豫備委員	徐德金

營口小學校も參加 南部體育會研究會競技

【營口】十月八日大石橋小學校で擧行される遼陽以南瓦房店までの第一區聯合教育研究會の競技は營口小學校よりも尋常五六年生が參加する事となり出場選手は日々猛練習を續けてゐる、尙當日は午前七時營口驛發列車にて大石橋に出向くと

官金橫領說は事實無根

【新京】過般軍政部經理課囑託米田寬氏に對し一部方面に官金一萬五千圓を橫領したとの噂があつたが調査の結果事實無根と判明し米田囑託は勿論軍政部も迷惑を感じてゐる右に就いて軍政部當局は

米田囑託に對し官金橫領の噂があるが事實無根である大金が軍政部に保持せられる事は絕無とも云ふべく噂の如き大金橫領の機會は有り得ない米田囑託が憲兵の取調云々も無根であつて日系官吏の立場服務なり困難に導くが如きデマに對して愼重なる態度をとられん事を一般に希望する

と述べてゐる

旅順放送

◆旅順警察署では五日署報を以て左の如く發表された

部長波多野利作金州へ◆甲斐米藏退職◆部長鈴木滿兼千代內勤警務へ◆長谷部孝助善通寺派出所へ◆橫馬場藤一鮫島町派出所へ◆吉田淸一十年町派出所へ◆柳瀨正敏公主嶺へ◆岡部正次安東へ◆永井熊太郎今吉釣二本署內勤へ◆有友茂生留置場へ◆門尾忠太郎日本橋へ

右の他中山文吾、岡部職、內山橫吉、坂田享、淸井璃、田淵富重、小林源一、永尾義信の八巡查は今回新たに旅順署勤務を命ぜられた

◆ハルビン赤十字に轉勤した鴨川潤氏は三十日附在旅各方面へ在任中の挨拶狀を寄せた

◆沙河口警察署長廣石氏は五日午後一時自宅より自動車にて出發赴任した

◆常盤町四 高畠又市氏方では二十二日長女和子さんが出生

◆中村町一二ノ三 池田敬一氏方では二十四日三女倫子さん同上

◆伊地知町二三 森本誠雄氏方では二十一日次女操さんが同上

青訓の查閱 廿日營口で

【營口】關東軍司令部では全滿各地の青年訓練昭和八年度の查閱施行さるが營口では十月二十日午前八時より營口小學校で現在生徒三十五名の查閱を執行される、尙查閱官は關東軍司令部付陸軍少佐石川忠夫氏である查閱當日は在鄉軍人青訓後援會市有志その他一般は成るべく繰合せ多數の參列方を望んでゐる

金州署員九名滿洲國へ

【金州】當地警察署員で滿洲國へ就任するため辭表提出中であつた左記九名は愈々今回依願免官となつた

警部補警務主任佐藤敬治、同高等主任眞田文門、巡查田中二男、同竹內元藏、同東鄕義、同柿谷吾一、同柳博、同谷口覺三、同下重壽

各地片々

◇開原 開原電氣株式會社は十月五日午後六時電氣週間も有効に完了したので直接電氣事業に關係深き方面の人々數十名を料亭二葉に招じ座談會を開催し續て平素の援助を謝し其勞を慰むるため晚餐を饗した

◇開原 開原縣西豐縣の兩縣並參事官は十月五日午後五時宴席を料亭ニコニコに設け脇阪大隊長、飯田開原守備隊長外幹部、田中憲兵隊長外幹部、加藤署長、驛長、在鄉軍人分會長、佐竹協和會辦事處副處長を招じ盛宴を催し治安維持に對し軍部の絕大なる援助を衷心より感謝した

◇開原 脇坂第五大隊長は十月五日正午開原、西豐兩縣の日滿官民、憲兵、加藤警察署長、島所長、驛長、佐竹協和會辦事處主事等を驛食堂に招じ八棵樹事件に關し援助の厚意を謝し盛大なる午餐會を催ほした

◇營口 營口稅關にては來る十六日は孔誕に相當する爲め休廳する旨告示第三十九號松原稅關長名を以て發表した

◇錦州 錦州居留民會の議員選擧は一日を期して行はれ既報の顏觸れ三十名當選したがこれを年齡より見ると最高は六十五歲で田中杉大君、最低は二十七歲で寺島克次郎君でこの平均年齡は三十七歲であると

◇錦州 日本製藥會社は錦縣第一區平山子に約三百町步の土地を求め日本人農家十戶を移住せしめ藥草栽培を行ふべく計畫し目下縣公署と折衝中

◇奉天 北陵に新裝成つた國立奉天賽馬場において來る十三日から六日間國際競馬が開催されるのでファンから期待されて居るが同賽馬場高野氏等は五日午後六時新聞通信記者を公記飯店に招待し披露宴を催した

◇安東 九月中に安東を通過滿洲に入つた視察又は皇軍慰問の團體數は九十二、人員四〇一九に達した

◇開原 島開原地方事務所長は六日午後六時新舊地方委員並各區長を料亭二葉に招じ盛宴を催す由である

◇奉天 新任奉天鐵道事務所長白井喜一氏は三日午後六時から萬屋に在奉新聞記者團を招待し一夕の懇親宴を催したが白井所長は奉天在勤は、これで三回目で滿洲事變來各方面とも變化し房柳花街の美妓の顏も悉く變り今後は各方面の援助を得たい旨を述べて挨拶をなし記者團と乾盃八時半盛會裡に終了した

値段を統一して廉い品を賣る
大東門から大南門の商店糾合 市場會社設立具體化

【奉天】奉天市政公署では省城内外の野菜魚類の集散地となつて居る大東門から大南門の地域の各商店を糾合して三萬數千圓を以て一大市場會社を設立し増加する人口の生活必需品の調節をはかる事に飯に豫算も決定し中央政府も省公署も之を承認したので閻市長は目下具體的計畫を進めつゝある、この市場會社が設立されると魚菜類の値段が統一し廉い品も購められるのみならず衛生上からいふも設備は完備するので各方面に歡迎されて居る

ころあつたが五日は製材作業その他の各工場を實地視察した

鼠一匹二錢で買上ぐ
營口署にて

【營口】營口市警察署では日滿防疫會議の決議に基き三日午後二時より署内に督察長衛生科長各分署長二十四名を召集してペスト防疫に關する緊急事項を協議し卽日鼠一匹二錢に買上ぐる事を實行すべく決定して午後四時散會した

吹雪のなかに渡り初め式
海拉爾河橋梁落成

【ハイラル】豫て興安北分署で山河へ通ずる交通利便の爲め皇軍の指導を仰ぎ構築中だつた海拉爾市街より東北約一里の彼方海拉爾河の橋梁工事も愈々完成を見たので五日午前十一時より是が渡橋式を擧行した、本格的な寒氣が襲ふた當日はまばらな吹雪さへ落ちて參列の士に鼻水の洗禮を以てしたが渡り初めをする小林老夫婦は紋附の禮裝誇らしく滿、蒙人の渡り初め者の先頭に立ちて元氣に手を引き合つて高砂の睦じさを異郷人に目をみはらす高波○團長淩省長外は官民の名士と其の後に次いで渡つたが、その後からは騎兵隊の足並も揃ふた渡初めあり、又戰車、タンクと北滿なりやこその渡初式が展開された、終つて向ふ岸に設けられた祝宴場では手も凍えて打ち震ひつゝも美妓連の熱燗にこの大工事を謳歌した、構築能力の低い當地で百米からあるこの海拉爾河の橋梁工事は全く至難とされてゐたが皇軍の指導全きを得て廿一艘から成る船脚の浮橋が完成されたわけで之によつて受くる小舟連絡の不自由を拔つた住民の利便や如何ばかり又軍事上に取つても重要な役割を果す事となるのである

横領して駈落

【奉天】忠淸南道生れ當時京城府西堺洞北澤方使用鮮人李二萬(二九)は昨年十一月頃北澤方の集金五百圓を横領し彼の情婦京城西堺洞飲

河北、田庄臺間 新驛を設置
奉山當局總局に申達

【奉天】奉山線路局では河北田庄臺間の鮮農部落に新驛の設置を總局に申達して來て居る、卽ち同農村はかつて海水の逆流によつて土地が鹽化し全くの荒蕪地となつて居たが鮮農六百戸二千五百名を有する同村に東亞勸業會社が荒蕪地三千町歩を耕地化し鮮農移民に一歩を進めんとするもので、新驛設置條件としては旅客及貨物の取扱の卽時可能或は其の將來性並に其の地の特殊事情、卽ち名勝舊蹟の地である事等であるが今回此處の場合は農業移民の確立といふ國策的な見地より其の將來性は勿論一の前例を造る事ともなり、又斯樣な條件の孰れかによる小驛が奉山線には多々ある事とて總局として も近く其の設置を許容する意向である

絹紬業者代表

【安東】安東の柞蠶と最も密接な關係のある福井、岐阜兩縣の絹紬製造業代表者六名は五日朝來安し午後一時から商議において柞蠶業者と取引方法改善に關し種々懇談した

軍需資源調査

【安東】關東陸軍倉庫の宮田一等主計、萩原囑託一行は軍需資源調査のため四日來安商議において農材、柞蠶、特産、雜穀その他の業者と會見し主として各物資集散狀況について數字的說明を求むると

"棋盤山の嵐"
横道河子事件のため 加藤開原署長の作成

【開原】開原警察署長加藤庄市氏は昭和七年九月三十日昌圖東方横道河子討匪に際し悲壯なる戰死を遂げた故水間巡査部長、池田、永田、風岡三巡査の功績を記念すべく「棋盤山の嵐」と題して悲壯な琵琶歌を作成し近頃來隊中の薩摩琵琶の名手岩淵神風氏に作曲及演奏を依頼し、去る九月三十日慰靈祭の際四士の殉職せる棋盤山上にて演奏せしめ、更に十月二日警察署樓上にて署員一同に聽かしたが聽く者其當時の壯絶悲絶を追想し感激を催さぬ者はなかつた警長の作れる琵琶歌は左の如し

琵琶歌「棋盤山の嵐」　作者 加藤庄市　作曲 岩淵神風

人の命と財物とを
守護るは我等警察の
貴き務めと覺れなる
國を思ふて命を承け
此處滿蒙の一線に
日毎夜毎に挑みなし
時しも昭和七年の
九月三十日の朝まだき
松島警部補以下二十八名
昌圖附近の匪賊をば
討伐すべき命を承け
水間部長は身も輕く
機關銃を手にとりて
使命は重しいざやさて
池田永田風岡巡査ここ
横道河子へ進み行く

賊は知りてか逸早く
算を亂して逃走するを
機關銃のつるべ撃ち
無二無三にぞ薙ぎ拂ひ
勇みくて追撃す
賊は散々打ちなされ
逃ぐる術もあらざるに
悲しや益地の四方より
賊は次第に數を増し
十重二十重に包圍なし
死物狂に打ち出す
一彈部長に命中し
サット飛び散る鮮血は
服を朱に染めけるが
されどひるまず銃を取り
猶ほも激しく戰ひしが
續いて打込む敵彈に
無念なるかな嵐吹く
荒野が原に散る花の
淸き其名を止めつつ
戰死を遂げしぞ痛ましき
勇士埋骨棋盤山殉職之志銘四章
噫殉職の警察官
我等の鑑みと仰がれて
屍は大地より消ゆるとも
御靈は永久に天翔りて
皇御國を護るらむ〳〵

奉山沿線の愛護村 殆ど全部組織終る
早くも建設の實績

【奉天】奉山、瀋海の各國線を保護する鐵道愛護村は各方面共に着々進捗し奉山線では新民、滿霸子打虎山、盤石、錦縣、連山、興城等は旣に愛護村の建設を終り線中は七日村長其他地方民代表者が會合し協議することになつてゐる外義縣、北票を終れば奉山沿線は全部終了する筈であるが

愛護村の建設により最近その効果を現はしたのは奉山線の公金十二萬を掠奪した白旗堡、饒陽河一帶の村民に對する責任から村長が率先して犯人の探査に當り一味黨徒の七、八分は逮捕された、その他磐石管内の鐵路破壞に對する責任を明にするため村民が努力してゐるなど鐵道愛護が實際運動化して來た

これは勿論日本軍の鐵路守備の威力による背後の力があるからで軍としては實に涙ぐましい鐵道愛護を續けてゐるのである、六日奉山線で線中に向つた道山奉天鐵路處務主任は語る

鐵道を愛護せねばならぬといふ自覺な愛護村を建設した地方民は諒解するやうになつて來たが

其れにたいする要求も...て來る、其のうちで特...一樣歎願し問題となつ...は鐵道沿線五百米以内...耕作を嚴禁されたこと...線地以内より土地をも...もあるので非常に困つ...いふのである、其れに...へ愛護が十分行はれた...

洮南に派遣 民政部衛生司から二名

圖書帶出券を一般有志に贈呈
營口圖書館活用策

滿洲選出の議員
"議會報告のため來た" 大藏公望男安東着

【安東】元滿鐵理事、貴族院議員大藏公望男は五日午前六時...東着、關屋地方事務所長...へを受けて安東ホテルに...

チチハル刑事事件

件名	件數	男	女
竊盜	九	一四	
傷害	四	四	
詐欺	四	七	
横領	二	一	
賭博	一	三八	
阿片	一	一	
婚姻	二	二	
妨害			
計	三三	六七	

鑛嶺三業組合の慰安會

佐藤鄕軍分會長の榮譽

鞍山局の取扱成績

日曜奉天の催し

フイツシヤー賞

安田正鷹氏新著 水利權發賣

今は辛苦も懷しく 身も輕き凱旋行
第六師團殿りの高田部隊 きのふ故國へ急ぐ

思ひは早や飛ぶ故郷の山河へ！凱旋、凱旋、數へれば幾度ぞ戰ひの日、征戰に起つて十餘月、酷寒、灼熱の山野に轉戰、向ふところに敵なく、光なき暗黒の熱河に黎明を齎し、王道樂土の建設に血と肉を以て當つた燦たる榮譽の第六師團凱旋の殿を受けた高田○團長を始め、伊藤○隊長以下將兵は七日午後五時出帆の御用船羽後丸で凱旋の途についた

見送りの市民は午後四時の乘船開始前さしもの甲埠頭を埋め、手に〳〵小旗を翳して萬歲〳〵を絶叫する、一同乘船を終る頃御影池署長、十河、山西理事、岩井少將等も一般送迎者の中に交り、小磯關東軍參謀長軍司令官を代表して來り、高田○團長、伊藤○隊長等將兵に對し

菱刈軍司令官の代理として高田○團長以下將兵の凱旋を祝すと凱旋を祝ひシャンペンの盃を擧げて送る、定刻小川大連市長は市民一同を代表して凱旋を祝ふ挨拶をなし、これに對し高田○團長は

私共昨冬渡滿以來日滿官民より受けた手厚いもてなし、特に當地市民各位の多大なる御厚情に對しましては一同誠に感激措く能はざるところであります、また本日は御多忙中にも拘はらず斯くも熱誠なる御見送りを受け誠に感謝の至りに堪へません、只今市長の御仰せの如く滿洲國の基礎は成りましたが前途の時局は益々重大であります、私共は歸還後と雖も滿洲に居るやうな緊張した氣分で將來益々國のため活動したいと存じてゐます どうか市民各位におかせられても東洋平和、滿洲國の確立に對して益々御盡力あらんことを切にお願ひ致します、私共は多數の犧牲者を出しました、本日當地を出發に際しこの尊き英靈を奉じて内地に歸還する考への下に只今から出發します、お別れに臨んで皆樣の御健康とまた當地の益發展隆昌を祈つて止まぬ次第です、これを以て御禮の言葉と致します

莊重感激に滿ちた挨拶をする間に羽後丸は靜かに離れる、山本少尉の捧持する榮譽の聯隊旗が秋風にひらく〳〵とする、五彩にも七彩にも綾なすテープとテープを握つて仰ぎ見る歡送者は、感激と誇りを投げつけて爆發するやうに送る

萬歲、萬歲の聲、さらば凱旋勇士碇泊船舶より一齊に吹鳴らす汽笛、暮れるに易き秋空を衝いて高く〳〵鳴る、凱旋勇士よさらば！

左樣なら凱旋兵（下）高田部隊長

滿日婦人團の活動 高田部隊長の感謝

七日午後五時出帆の羽後丸で第六師團殿を承はる凱旋部隊の精鋭を率ゐて凱旋した高田○團長並びに伊藤○隊長は別れに臨んで本社に對し

在滿中は私共の部隊及び他の凱旋部隊が種々御世話になりました、殊に婦人團よりは手厚い慰問にあづかり兵一同は大喜びです、有難う御座いました、特に婦人團には宜しく御傳へ下さい

と本社並びに婦人團に對し感謝するところあつた

岡山の共産黨 起訴三十一名

【岡山七日發國通】岡山縣に於ける極左分子は彼の五・一五事件に續いて行はれた數回の大檢擧により全く壞滅したかに見えたが當時巧に姿を晦ました殘黨はうまく地下に潛入し中央黨部の指令を受けて再建を企て水平運動と合流して一體となり、工場農村學校等に魔手を伸ばし始めたのを探知した縣特高課ではその本據を探査する一方資金網を掃蕩すべく檢事局指揮の下に縣下二十三警察の警官一千名を動員し本年四月十二日未明を期し大檢擧を決行被疑者百六十三名、參考人二百四十七名を引致し爾來半年取調べの結果本日起訴三十一名、起訴保留猶豫四十名と決し取調一段落と共に記事の掲載を解除された

失敗に泣き出す イルズ孃

【パリ七日發國通】女流飛行家イルズ孃は六日夜半再び出發せんと滑走上昇すると見るや忽ち墜落失敗に了つた、同孃は傷も負はなかつたがこの失敗にワッとばかりに口惜し涙に暮れた

窓外に雨を眺めて "勝美の幸を祈る" 護送の船室に中薗と語る

【ハルビン丸にて長谷部特派員七日發】降りしきる雨を衝いて神戸を出帆したハルビン丸が瀬戸内海小豆島を通過する頃、船尾の隔離室に乘せられてゐる中薗は手錠姿を雨に霞る窓外の景色にウットリと見惚れてゐたが、船室を訪れた記者に對しお騷がせして濟みませんと神妙に頭を下げ、記者の質問に對し稍興奮して次の如く現在の心境を語つた

今となつて何にも隱しません、ありの儘を述べて法の裁きを受ける考へです、私のしたことが惡かつたとも毛頭考へてゐない私より惡黨が此の事件をめぐつて澤山居るからです、然し人妻に戀した事は惡いことだ、それが爲め世界的學者である兒玉さんを葬つたことは良心の呵責を感じてゐます、あれ（勝美の事）と私の仲は

戀愛を超越 したもつと人間的なもので結ばれてゐた、世間でいふ單なる色戀といつたものではなかつた、斯うなつたのも凡てが運命と觀念するより外なく、決して後悔はして居りません、彼れと戀愛に陷つたのを私の今の念願は一日も早く裁きの廷に立つて兒玉さんの立場を明かにして上げたい事と、兒玉さんが今日までの事を水に流し以前通り妻として勝美を救つて下さる事です、乾度博士はあれの罪を赦して幸福にしてやつて下さる事と思ひます、僕等三人の運命を斯んなにまで不幸に落したものは、佐藤さいふ

妖婦と青柳 を取卷く阿部小松原といつた人達です、佐藤のごときは青柳と同棲までし戀が醒めたら勝美に紹介した者が、その青柳は勝美を强姦しその弱身につけ入つて勝美から金を捲き上げ佐藤、阿部等が夫れで遊んでゐた事は神に誓つて偽りのないことです、佐藤と僕との戀愛關係が世間に傳へられてゐるが全然誤りです、佐藤は僕に戀愛を感じてゐたことは事實で

ラブレター も四十通位來てゐるがその都度勝美に見せて

ゐる、僕は夫と子供を捨て男から男へと渡り歩るく婦人は人間的に嫌ひです、此の點のみは確か誤解してゐる樣ですが、僕は寧ろ佐藤に子供の爲めに御幡氏の許に歸るよう何れだけ勸めたか分らない、何うか貴方（記者を指す）から御幡氏に僕の氣持を話し諒解される樣お話し下さい、青柳に對する氣持はこれは運命的に見る時氣の毒な事だと思ふが、人間的にいへば當然受くべき制裁ではなかつたかと思ふ、僕は

今となつて 辯解がましいことは言はぬが、事件の動機に就いては社會に教へる色んなものを含んでゐるから機會ある毎に世の人々に訴へるつもりです

"死刑になつても愛情に變化なし" 中薗へ深き思慕を寄せる勝美

中薗と板一枚隔て、隣室に納まつた勝美は上都山刑事の思ひやりで身體を湯で拭き、高野山以來始めて落着いた氣持になり、移り行く瀬戸内海の秋景色を眺めてゐたがやがてこれに飽きると紙細工などして無聊を慰めてゐた、船室を訪れた記者に「どうぞ」と席をあけつゝましやかに面を伏せた、以下記者との一問一答

問 博士に對しどんな氣持か

答 濟まぬと思つてゐます、大連へ着いたらきつと中薗がほんとうのことを申し上げ、兒玉の立場を明らかにしてくれる事と信じてゐます

問 青柳、佐藤に對しては

答 佐藤さんは私達を苦しめた人です、この恨みは一生忘れません、その理由は訊かないで下さい、青柳さんは氣の毒な運命の下に生れた人ですが、私から誘惑したことはありません

强姦された事は事實かその間に對しては答へず面を伏せ、中薗に對する氣持は高野署の訊問に答へたやうに、たとひ死刑になつても愛情に變化なく、キット自分の手で葬る考へであるとの意味をポツリ〳〵と語つた、强き戀愛に結ばれてゐる二人が板一重を隔てた隔離室で船路の夜をどんな夢を結ぶことか……

山田辯護士談

七日歸連上陸と共に任意出頭の形式によつて檢察局に喚問を受けた山田辯護士は、午前九時半より午後三時過ぎまで晝食時を除き約五時間に亙つて高井檢察官の取調べを受けたが、取調内容は山田辯護士が兒玉博士と相知るに到つた事情より、内地における行動について詳細の訊問を受けたものと見られ、これに對して山田辯護士は永田氏の紹介によつて兒玉博士と相知り、博士が殺人事件の渦に卷き込まれんとしてゐる事情を聞かされ、善後處置のために歸國、實兄及び先輩熊谷辯護士を訪れて應援を依頼するに至るまでの事情を陳述し、博士の自首を止めたとの奇怪な行動は全然打ち消した模樣で、目下のところ山田辯護士は司法權の拘束は受けぬものと見られてゐる、尚ほ取調べ終了後山田辯護士は語る

本日は證人として高井檢察官の取調べを受けた、取調べ内容に關しては今此處でお話しする自由を有せぬが、自分に關する限り證人としての取調べは本日一日で全部終了したのだ、自分に對して大分デマが傳へられてゐるやうだが、自分は今後も飽くまで博士の依頼を受けた辯護人として、博士のために努力する考へである、何れ勝美夫人の辯護人も必要となるかも知れぬが、自分が内地に赴いた一つの理由の内に夫人離婚のことも含まれてゐる位であるから、現在のところ博士側より勝美夫人の辯護人を出すやうなことはあるまい

武專軍來連

滿洲武者修行の旅にある京都武德會武道專門學校四年生一行三十七名は磯貝、小川兩範士引率の下に七日十六時三十分着列車で沿線各地の轉戰を終へて着連、驛頭には伊佐師會長、由良幹事長及び高野範士、二宮六段等の柔劍道關係者並びに武專校友等多數の出迎へあり、一行は着連後ホームに整列し小倉直明君代表して着連の挨拶を述べるところがあつたが、一同元氣旺盛、體軀堂々、さすが武道專門の生徒たることを思はしめ十數臺の馬車に分乘トキワ・ホテルに投じたが磯貝、小川兩範士は交々語る

一同非常な元氣です、七、八年前一度學校として來滿したことがありますがその後種々な都合で來滿する機がありませんでした、今回皆さまの御助力に依り來滿することが出來ましたので四年生の修學旅行をかねて大擧して參りました、出發以來京城では柔道四名劍道五名を殘し、奉天では柔道五名を殘し劍道は十對六で、新京では柔道は十八名中三引分十五勝、劍道は六名殘つてそれ〴〵勝ち現在のところでは土つかずと言ふ狀態です御當地は斯界の猛者連中が澤山いらつしやるので對等の試合をするといふより寧ろ教へて頂くといふ考へで居りますから、學生の本分を忘れず充分戰ふ考へで居ります

なほ一行は既報の如く今八日正午より大連道場において全大連軍と柔劍道の對抗試合を行ふ（寫眞は來連した一行）

襟もと寒く 忍び寄る冬 高氣壓腰を据ゑる

急に寒さを感じ初めて來た、深い秋の心へ冉々と冬の姿が現れて來たのだ、六日夜の大連の溫度は水銀柱もぐつと下つて十五度六を示し、平日より五六度寒くなつた、街行く人もセルでは慄へる、急いで給羽織を重ねる始末、觀測所の放送によると各地とも今まで例年に比して高氣壓の襲來が緩慢であつたため比較的暖かつたが五日あたりからチチハル、興安嶺方面に高氣壓が滯留しそのため急に寒くなつたのである、でもこの寒さなんと平年並になつただけのことでまだ〳〵本格的の寒さではないさうである、しかしもう今月末頃からはぼつぼつ冬物の御用意が肝心だとのこと——

實滿軟式野球戰 第二回戰

八日午後二時滿倶球場で

審判兒玉政雄 二神武 吉田要三氏

本夕六時半より 協和會館に於て

レプラに關する講演と映畫の夕

プログラム

▲挨拶大連市長小川順之助氏▲癩の話大連醫院醫長柳原博士▲愛さるる者の悲しみ御坤德高議會飯野理事▲映畫青春の頃▲閉會の辭稻葉青年會主事

入場無料 來聽歡迎

主催 滿洲癩豫防協會

後援 大連市役所、滿鐵地方部　大連民政署、大連醫師會　大連警察署、滿洲社會事業協會　大連新聞社、滿洲日報社

五・一五民間公判 ファッショ制度で荒木陸相を首班 犯行を供述する橘

【東京七日發國通】民間五・一五事件第六回公判は七日午前九時二十分より開廷、橘は愈々犯罪の供述に入り、土浦の料亭花月で海軍將校に演説をなしたこと、日召との關係「決行を自分にすゝめたのは古賀清である」等と詳細に述べ次いで

昭和七年三月愛郷塾から若し決行すれば一味は一網打盡となり、中心將校は極刑に處せられるから古賀に中止するやう君（橘）から忠告して異れ、と云ふので古賀に話したが古賀は一笑に附した

と語り變電所襲擊は自分の提案で近世文化に對する憎惡の現れであると述べ少憩、續いて橘起ち

七年四月十六日古賀が愛郷塾を尋ね議會に手榴彈を持ち込んで投げること、日銀や新聞社を爆擊すること等の計畫を話したが自分は議會には尊敬すべき代議士も居るし日銀は大衆の敬意を表する存在だし新聞は大事な輿論機關だから爆擊は不可であると思つた

と答へ四月より五月迄の間に千四百圓の資金を受取つたことを述べ首相官邸その他襲擊した理由につき問はれ

政黨財閥特權階級からなる三位一體代表と考へたからだ

と答へ

戒嚴令が布かれた場合には荒木陸相を首班とするファッショ政府が樹立されると思つた

と答へ一旦休憩、午後一時再開、橘は午前に引續き兇行に至る迄のことを細かに述べ

上京に際し塾生達をそれ〴〵暇乞ひに廻らせたのは滿洲行と見せかけ今生の別れをさせる爲めです

と答へ杉浦は自分の後繼者として殘すため襲擊には參加させぬ積りだつたと述べ、古賀から渡された手榴彈に就て兵隊上りの春田が效力を疑つたので古賀に質問した處古賀は

此の手榴彈は相當效力のあるものであるが爆彈の效力は第二第三の問題である、然し爆彈の效力がなければ肉彈で當るのみだ

と傲然と言つたので自分からも古賀の言葉を取次ぎ、爆彈が利かぬ時はどうするかと言つたら一同は其の時は斧かなんかでぶち殺しませうと答へたので、爆彈の效力を氣にしてゐた自分を恥ぢると共に一同を頼もしく思つたと述べ、又決行組の一同は決行したら必ず滿洲へ逃げて來い、我々の爲すべき事は後に殘つてゐるといひ殘し十二日夜滿洲へ向け逃走した事を詳細に述べ、少憩後七年五月十一日奉天に到着する迄の經路を述べ「塾生のみに決行させなぜ自分は逃げたのか」と問はれ

爆擊行動隊の指揮は一切後藤に依頼してあるし、自分は滿洲だから斷る行動には却つて手足纏ひになり全員鬪爭の妨害になると思つたからです

と述べ裁判長が陸海軍同志の行動を讀み聞かせた後「之れを認めるか」と言ふと橘は簡單に之を認め十日の法廷で現在の心境と民本主義の意義に就き說く事となり三時四十分閉廷した

安樂椅子

選擧ナンセンス一つ——男の名には隨分○○郎といふのがあるが、今年の鞍山地方委員選擧のやうな「郎」揃ひも一寸珍しい

製鋼所に次郎、三郎、猪三郎の三候補があるかと思へば町側にも四郎、吉次郎、萬三郎の三氏が出馬してゐるてな工合で、立候補者十名のうち六名までが皆「郎」ばかりだつた。

◇

ところでかう「郎」づくしを食つては投票するものも隨分面喰つたらしく、その證據には無效十三票の白紙二票を除くと殘り十一票全部がこの「郎」間違ひの無效票で、姓と名が全然別人だつたり、次郎が吉次郎となつたり、三郎、萬三郎、猪三郎などが變に突き混ぜられたり却々やゝこしいものがあつた。

◇

また「ナガイシロウ」の假名字など野毛四郎の誤りかとも見られるしさいふ譯で立會人諸君も隨分判別に苦しんだが、餘つほど懲りたとみえて開票が濟むと一同申し合せたやうに、「もうこれから野郎の立候補は御免だ」と

本願寺の日曜講話

本願寺關東別院では八日午後二時より左記演題の下に日曜講話を開催する

畢竟依 松本布教師

可能化された不可能 花田布教師

双葉學院財團法人設立認可

大連市薩摩町双葉學院は豫て財團法人として設立認可申請中のところ此度關東廳より認可されたので名稱を財團法人双葉學院と改められた

青空ホテル (4)

近江帆三
吉郡二郎畫

娘物言うた（四）

逸見さんはよく飲んだ。話しては飲み、笑つては飲み、自分一人飲んでゐる。課長だから、決して自分の方から盃をやらうとはしない。その癖、婢には注いでやつてゐる。

「僕はどうも取持ちが惡くつてね。社長にもいつもいはれてゐるんだが、どうも自分一人飲む性分でね。つまり、おべつかの出來ない性分なんだ」

と逸見さんは辯解めいたことをいつて、實は威張つてゐるのである。

傍の婢が

「逸見さん、聞きましたわよ」

「何を？」

「ご陽來復ね」

「何のことだ」

「綺麗な奥さんですつてね。お若くて、ご綺麗で——お樂しみね」

「馬鹿いへ」

しかし、逸見さんは嬉しさうににやく〜笑つた。

「うちへいらつしやらないのも無理ないわ」

「いぢめるなよ」

「一人で飲む性分だなんて、ずゐぶん當てつけねえ」

と、婢は那賀に加勢を求めた。

那賀は爲方なしに

「僕たち大いに樂んでゐるんです」

といつた。かうなると、若輩は悲しい。てんで問題にしてくれない。こんなことならのめく〜と連れ出されるのぢやなかつたと思つたがもう後の祭だ。

「樂めく〜か。はつはつは」

逸見さんはもう大分醉つてゐる。

「逸見さんの奥さんになつたら面白いでせうね」

と、婢はまた那賀を足臺にして來た。

「幸福だわ」

と、那賀は爲方なしに合槌を打つた。

「さうでもないぞ。社のものはおれを低氣壓といふ。つまり時々物凄い雷を落すんだ。しかし、その代り、後は光風霽月さ。一點の蟠まりもない、洒々落々、童心の如しさ。さうだらう、那賀君」

「はあ」

「はあ、では物足らんな。君は僕の低氣壓を受けたことがあるかね」

「あります。椅子から突き飛ばされました」

「椅子から？はつはつは。そんなことがあつたかなあ」

と、逸見さんは、ひとの災難を茶受けにして、また盃をあげた。

「あの時には、もう辭職しようかと思ひました」

「なあに、艱難汝を玉にす、さ。短氣を起しちやいかん。しかし、後はさつぱりしたもんだらう」

「さうですかね」

「ひとを突き飛ばしておいて、光風霽月もないもんだわねえ。ホホホ」

と、婢がまた要らないおせつかいをした。どうも蟲の好かない奴だ。

そのうちに料理も出つくしてしまつたが、逸見さんは相かはらず婢におだてられながら盃を重ねてゐる。いつになつたら本論に移るのか見越しがつかない。那賀は焦れつたくなつた。年寄りなんてずゐぶん廻り遠いものだと思つてゐると

「さあ、一つ」

といつて、逸見さんが手づから盃をすゝめて來た。そして、婢たちに

「お前たち、ちよつと出てくれ」

「あら、どうしてエ？」

と側の婢が、鼻聲でいつた。

「話がある」

「聞いちやいけないの」

「秘密だよ」

「つまんないわねえ」

「安心しろ、男同士だ。はつはつは」

と逸見さんはまた笑つた。

柳壇

運動會　編輯局選

本溪湖　櫻井溫水
フロックが繪日傘で走る運動會
大連　葉薗朶
オペラとは別の氣で見る兒のダンス
ランニング後れた我が兒見付け出し
山海關　松尾小女郎
運動會一家揃うて娘に味方
一二番競ふ我が子へ汗をかき
鞍山　鈴木可笑
運動會見ておふくろはママかぶれ
父兄席一等賞で挨拶し
大連　上河邊よし坊
選手より苦しい顔の父兄席
決勝へ親は座席へ落付けず
スタンドへ無邪氣身がまへ吹き出させ
綱引きへ先生までの總動員
大連　大西正天坊
幔の下からのぞく次の番
大連　外川修三
父兄席彌次も飛出で賑はせ
奉天　野口安生
運動會息子の番に汗をかき
小平島　田村秋泉
後一歩提灯レースふつと消え
大連　佐賀予
健康兒今日だけ持てる運動會
運動會子供に負けて嬉しさう
柳河縣　中村鐵一
お轉婆は運動會で大得意
營城子　安部寛子
決勝點常には見れぬ顔で入り
大連　有賀夕陽
ランニング轉んだわが子へ母慌て
大連　林子禾
運動會市長の赤い燕尾服
大連　藤本輝太
運動會餘興で妻の里が知れ
今日ばかり課長に勝てる運動會
應援が過ぎて女房に小突かれる
新京　菊島光月
スタンドへ弟身構へた足の先
大連　海老泥水
運動にかこちダンスの夜を更かし
ぼろ値では惜しい運動シャツを着る
運動に理解があつていゝ主任
運動へ適度に閣下鍬を持ち
大連　山崎君子
童心に返つて毬をける紳士
肉體が笑つて走る弱い足
大連　豐田廣國
勝つ自信親の來るのを待つ子供
運動會勝つてその夜はよく眠り
山海關　上倉都一
運動會晴れの元氣で勢揃ひ
野カップ前へ市長の訓示あり
決勝點胸丈け違ひテープ切り
大連　鈴木たつ坊
一等賞貰つたわが子へ母なみだ
聲援に涙まで添へ娘子軍
運動會湧く興奮のデモクラシー
大連　上河邊紫涙
子が勇む競技目頭あつくなり
紅白へ姉も本氣な聲を立て
運動の前夜負けない子の寢言
運動へ甘栗も出るいゝ日和
○佳吟（賞）
大連市葦町六一ノ三　鈴木たつ坊
スタンドの聲援選手をつい泣かせ

日曜附録

童話　わがまま蛙（かへる）

中村洋

ある古沼に、たくさんの蛙が集まつて、お國を作つてゐました。この古沼には、いつもたつぷり水があつて、有難いことに、いたつてお國は平和でありました。ところが、蛙たちは、この平和なお國が、退屈で退屈でたまりませんでした。それで、毎日がやがやわめきたてながら、神さまにお祈りしてゐました。

「どうぞ神さま、わたくしたちにひとりの王樣をお授け下さいませ。さうでないと、毎日退屈で、退屈でもう死にさうでございます」

神さまは、蛙たちの願ひをおきき屆けになつて、ある日、王さまをお授けになりました。

彼等の王樣は、太い松の丸太ン棒でした。ずつと以前、大風で根元から折れたもので、なにしろ、この王樣が、大きな音とともに、古沼にお越しになつたときは、沼の水が半日も、搖れてやみませんでしたので、搖れごほしに、民どもは命からがら、家の中に逃げこんで、どうなることかと、一時は、たれもかもぶるぶるふるへてゐました。

そのうちに、水が元のやうにおだやかになつたので、蛙たちは水草や花菖蒲の陰から、そつと鼻先をのぞかして、おそるおそる王樣の方をうかがつてみては、みんなで囁き合ふのでした。

「なかなか立派なお方だ」

「どつしり、落着いてゐらつしやる」

「無口なお方らしい」

「行つてみやうではないか」

中にはさう言つて、こはごは王樣の後に坐るもの、すぐ横脇に進みでるもの、おそるおそる、御前に進んでおじぎをするものがゐました。王さまは、何んにもおつしやいませんでした。

するとそのときでした。あはて者の罰あたり奴が、おそれおほくも、ぴよんと王さまのお背中に飛びつきました。さアたいへん！みんなは、まつさをになつてしまひました。

ところが、王さまはほんのちよつと、おからだを動かされただけで、お咎めにはなりませんでした。

そして、それからといふものは、この寛大な王樣は、横着な人民どもの、泳ぎの飛込み臺になられました。

ところが、飽きツぽい蛙どもは三日するともう、松の丸太ン棒の王樣では、退屈でしようがなくなつてしまひました。蛙たちは、またしても、神さまに新しいお願ひを始めました。あんな無口な方でなく、もつと、もつと元氣な王樣を、どうぞお授け下さいますやうに、と言ふのでした。

神さまは、蛙どもの注文に叶ふやうにと、今度は、頭の赤い丹頂鶴を、新しい王樣として、古沼にお遣はしになりました。

なるほど、新しい王樣はお元氣な方でした。お元氣なばかりでなく、とても氣難かしい御性質とみえて、人民どもがぺちやくちやしやべるのが、何よりお氣に召さないと言つて、お越しになる早々、おしやべり者は、片端しから食べてしまふといふ、たいへんなおふれをお出しになりました。

さアたいへん！かはいさうに、蛙さんたちは、毎日毎日、おつかなびつくりで、暮さなければならなくなりました。だつて、王樣から「お前もおしやべり屋だな」と言はれると、もともとおしやべりの蛙さんですから「いいえ、わたくしはおしやべりではございません」と、きつぱりお答へできるものはありませんでしたから。

ですから、蛙たちは、よるとさはると「ああ、昔がよかつたなア」と、言つて殘念がつてゐます。あんまり、氣ままを言ふものではありませんれ（をはり）

こどもの考へ物　第六十七回

ニユツとまげた　ふとい御足（おあし）　鹿（しか）かウシか馬（うま）か

寫眞をごらんください。ニユツとふとい足をまげてゐますれ、シカでせうか、ウシでせうか、ウマでせうか、わかつた方は來る十月十五日までに、大連市東公園町滿洲日報社内「滿日日曜附錄係」あてにハガキでお答へください。正解者にはいつものやうな方法で、二十名にご褒美をあげます。

第六十五回の答　ビールビン

第六十五回の考へものは、ネクタイではなくて、ビールビンを首のところにあてゝゐたのでした。相變らず正解者がおほくて、いつものやうに籤をひきました、今度は次の方々にご褒美をあげます

當籤者

▲中固驛岡山則行▲新京田中金藏▲大石橋重信節子▲蓋平池田正太▲安東安藤勝▲旅順井上滿儀▲關原羽原安一▲大連今津修尾千惠子▲同渡邊久子▲同福海充▲同鳴弘職▲同野崎淸惠▲同並木▲同池田信夫▲同片岡鈴子▲同奥野和子▲同藤井嘉夫▲同重松とみ子▲同大野義幅▲同津田ナリ子

なほ當籤者で大連市内の方には新聞社から當籤お知らせのハガキを出しますから、それと引きかへに本社でご褒美をお受とりください　沿線の方には直接お送り致します

小學六年生の力試し室

お答は來週出します

國史

（一）次の書物は誰が著したのですか。
1、神皇正統記
2、大日本史
3、古事記傳
4、山陵志
5、海國兵談

（二）尊王論について、次の問に答へなさい。
1、徳川時代になぜ尊王論が起つたか。
2、尊王論を起すに力のあつた學問と、その學者三人。
3、始めて尊王論を唱へた人

（三）寛政の三奇人とは誰々のことですか。

（四）徳川齊昭は如何なる考へで攘夷論を主張しましたか。

（五）大連神社の祭神はどなたですか。

前週の答　地理

一、我が國の主なる火山脈五つ
千島火山脈
那須火山脈
富士火山脈
阿蘇火山脈
霧島火山脈

二、我が國の川の
利…水力を利用するに便
害…水運の便が少い。

三、農業の盛なわけ
1、氣候温和である。
2、地味がこえてゐる。

四、養蠶の盛な縣
長野　群馬　愛知　埼玉

五、製絲業の盛な縣
右と同じ

絹織物の發達してゐる縣
京都　福井　石川　群馬

五、窯業の盛な地方
1、瀬戸内海沿岸地方
2、臺灣西海岸
3、朝鮮

六、工業の發達した理由
1、石炭の産額多し。
2、水力の利用が容易である。
3、交通機關が發達してゐる。
4、學問技術が進歩してゐる。

七、我が國の主な貿易品
輸出＝生糸　綿織物　絹織物
輸入＝綿　鐵及鐵材　木材

暗闇（くらやみ）でも目（め）が見（み）える　臺灣（たいわん）のかはつた少年（せうねん）

人間が夜でも目が見えたらどんなにいいかしれませんれ。ねこなんかはひるも夜もおなじやうに目が見えます。ところが臺灣の一ばん南はしにある恒春といふ町の第一公學校四年生林連黑さん（十三さい）は夜でも晝間のやうに目が見えるといふことです。ひるまはねことおなじやうにひとみがほそくなり、夜になるとひろがつて何でも見えます。このことをきいた人々はまつくらな夜なんかこの子どもをちやうちんのかはりにつれてあるくさうです。

ユメでめくらになつた

ルーマニアの一人の少年があるばん自分がめくらになつたゆめをみました。ところがつぎの朝、目をさますと、どうでせう、何もみることができなくなつてゐるのです。この少年はまさゆめをみたのでせう。いまおいしやさんにみてもらつてゐるとのことです。

二千年前（ねんまへ）の珍（めづら）しい石棺（いしくわん）　イタリーで發見（はつけん）

イタリーのミラノといふ町にコゼンツアといふ大きなお寺があります。一人のにんぷがそのお寺のあるき道をほつてゐましたら一つの大きな石のくわんおけがでてきました。それを學者たちにしらべてもらつたら、これはいまから二千年もまへのものだといふことがわかりました。この石のくわんは大理石で、その中には人のほれがはいつてゐました。この大理石のくわんは大きな石をえぐつてつくつたものです。そのおもてにはとてもきれいなほりものがしてありました。それはかりうどのすがたした。男と女がやりをもつてゐて、そのなかに大きなくまが四ひきの犬にかみつかれてゐるやうすがほつてありました。二千年もまへのものがみつかつたので、ヨーロッパの學者たちはめづらしがつてゐるさうです。

しやしんのせつめい

（1）ひろびろした塩田の全景、塩の山が方々に見えます
（2）蒸發池の地ならし
（3）塩を取つたのちの結晶池のローラーかけ
（4）と（5）は結晶池のそこにたまつた塩を集めてゐるところ――（大房身の關東廳專賣局試驗場でうつす）

塩のためごうけつの武田信玄も降参
それほど人間にとつて大切
満洲で出來る塩の話

皆さんは越後の上杉謙信が甲斐の武田信玄に塩を送つた話を學校で習つたことでせう。塩は人間にとつて一日もなくては生きていけぬものです、どんなごうけつの信玄でも塩がなくなればこうさんするより仕方がありません、それほど塩は人間にとつて大切なもので、そこで人間は昔から塩をつくることを知つてゐました、満洲でも今から三、四千年前から塩をつくつてゐたことが歴史の本に書いてあります、ここに百年ほど前から「天日塩」といふつくり方が發明されてからひじやうにさかんになりました。今では關東州内では塩田が七千町歩あります、そして一年にされる塩は目方にして四億斤です。また満洲國では八千町歩の塩田があり、一年に三億斤の塩をとつてゐますすなはち、満洲ぜんたいで一年に七億斤の塩が出來るのですから塩は満洲でもたいせつな產業であります。

お塩の種類
満洲のは天日塩

塩には色々の種類があります、湖からとる塩といふのは塩からい湖からとる塩であり、井塩といふのは塩からい井戸水をくみ上げてつくつたものであり、又岩塩といふのは地下から石炭のやうなかたまりになつて取れるものです。しかし一ばん多いのは海の水から取る海塩で、これには火の力でにつめてつくるせんごう（煎熬）塩と日光と風とでつくる天日塩とがあります。日本の塩はせんごう塩ですが満洲の塩は天日塩です。つぎにこの天日塩がどうしてできるかなお話しませう。

塩田
塩をつくるばしよ

塩をつくるばしよを塩田といひます。皆さんが汽車で普蘭店や金州あたりをお通りになると、海の水がとほくまで引いてひろい陸地があらはれてゐるのをごらんになるでせう。塩田はかういふ海岸につくります。まづ海水が入らないやうにじやうぶな堤防をきづきますそれから畦（あぜ）や溝（みぞ）やいろいろな仕事をするばしよをつくり、石のローラーをかけて土地をかたくします。塩田の大きさは何千町歩といふひろいものもありますが、それをたいてい二町歩から四、五十町歩にわけてゐます一つの塩田の中はたいてい次のやうなわりあひにわけます。

貯水池三、蒸發池三、結晶池二そのほか二

美しいお塩の花
海水から塩になる迄夏は五六日

まづ塩をつくるには海水を貯水池にひきこみます、貯水池はたいてい一ばん高いところにありますから海水はしぜんに蒸發池におくられます蒸發池は一だん、二だん、三だんといふやうにだんだんにひくくつくられてありますから海水はしぜんにながれおちながらこくなつてゆきます、いよいよこくなつた時、つぎのだんの結晶池に入れます、すると一日くらゐたつと白い塩が美しくしづんできます、それをかきあつめてあぜの上に人の高さくらゐに積み上げます、三四回塩をとつたのち、結晶池には水を入れてよくあらひ、くま手のやうなもので地ならしをしローラーをかけて、また海水を入れます蒸發池に海水を入れてから塩をとるまでの日かずは季せつによつてちがひますが、夏は五、六日、春と秋は一週間から二週間です

今年は……大出來
雨が少なくて

あぜにあつめた塩はトロッコで塩田の中にある塩つみ場に山のやうにつみ上げます。それからまたい（麻袋のふくろ）に入れてジャンクで汽船につみ日本や支那へもつてゆきます、また塩田でできた塩はごろがついてゐて品質がよくないので工場にもつて行つてよくして出します、皆さんがご飯の時につかふ塩は工場でよくした塩です、満洲で塩をつくる季節は三月から十月までですが夏が一ばんさかんです、今年は雨が少なかつたのでどこの塩田もいつもの年よりもたくさん塩がとれたといつて大よろこびです。

驚く塩の力
恐しい毒ガスや煙幕も、もとは塩でつくる

塩は何につかふかときくと皆さんはすぐ食べるものだと答へるでせう。そうです塩は私たちのおりようりに味をつけるものです。しかしこれは塩のつかひ方のごく一ぶんで、今日では何千とほりといふつかひ方があります。まづ塩からはソーダといふものがされますが、ソーダからはさらに皆さんの繪のぐにつかふたくさんの色ができます。いろいろのくすりや、ガラス、ラムネ、せつけんなど數へきれないほどたくさんのものができます、また塩からは鹽素といふものができますが、鹽素からはいろいろのくすりができるほか、戰爭の時につかふおそろしい毒瓦斯や煙幕などもたいていこれでつくります。むかしエヂプト人は死體を塩づけにしてきれいにまいて取つておきましたが、それが何千年の後までのこつてゐるミイラです、何と皆さん、塩の力は大きなものではありませんか

満洲の大きな風車　海水を貯水池にくみ上げる満洲式の大きな風車で普蘭店ふきんでも汽車の窓から見えます

【上】貯水池に海水を入れる水車――貯水池が高いところにある塩田ではかういふ水車で海水をとり入れます。しかし大潮の日にしぜんに海水が入るやうになつてゐる塩田もあります

【中】貯塩場で塩をまたいにつめてゐるところ――高い山のやうなのはみんな塩で、クリーがシヤベルで入れてゐます、日光が白い塩にはんしやして目もあけて居れぬやうにギラギラ光り、クリーたちはあせを一ぱいかいてしごとをしてゐます（貔子窩の東拓塩田でうつす）

【下】ジヤンクにつんでゐるところ――貯塩場でまたいにつめられた塩はクリーがかついでジヤンクにつんで汽船迄もつて行きます

こほろぎ
田邊晶生

おにはの　石の下で
ころ　ころ　ころ　と
こほろぎ　が　ないてゐた。
でんき　を　つけたら
なき　やんだ

犬
宇治原猛雄

ワンワンワン　と　ほえついた
ぼく　も　ワンワン　と　いつたら
にげちやつた

鳳凰城の記念碑

安奉線をあらしまはつた匪賊をうまく手なづけ、そして人じちにつれていかれた日本人をとりもどすためにいつて、きよ年の秋、鳳凰城で匪賊のためだましうちにあつて戰死した友田縣參事官、西秘書、白井指導官、劉通譯官、鳳凰城警察の賀門、滕井巡査部長など六人の方々をながくおまつりするために鳳凰城の鳳城公園に記念碑をつくつてゐました。こんどできあがりましたので、十月十三日の朝九時からなくなられた方々の一しゆう年ゐれいさいとこの記念碑のおいはひと一しよにするさうです。

秋の青空

今は樂しい季節 いざ、朗らかに 嬉しい氷滑の冬も近い

みなさん「青い空青い空から見てゐましよ」さいふ淋しい童謠がありますね。たしか母さんがお留守で、そのお歸りを門に出て待つてゐるのでした。あの歌には時季はかいてなかつたかと思ひますが、それでも秋のこさゝ考へられます。日本の空の色の一等濃く美しいのは秋、次に冬ですが、冬は寒くてなかなか母さんのお歸りを御門に出て立つて待つてゐるのは大變です。こゞえさうなのを我慢して出たさころで、なかなか呑ん氣にお空なんか見て突つ立つては居られません。足ぶみしたり手に息を吹きかけたり、トボンさ立つては居られますまい。あの童謠はさても淋しい調子でしたが、一たい大人は昔からむやみに秋は淋しいものにきめ、何の罪もない蟲の聲まで、悲しいさきめてしまつたのは少し變です。寒い冬がくるさか、カン高い變化のない細い音がつゞくから悲しくなるさか、理窟はいろいろつきますが、しかしもの、稔る時、ふさる時、スキーやスケートの出來る冬が近づくのださいつて、やはり喜ぶはうが本當でせう。少くさも昭和日本の少年少女諸君は秋を樂しい時さして、それこそ秋の青空のやうに、ほがらかに喜んで下さい。

あひる

石井勝

おいけにあひるが　およいでる
いつも　二つならんで
があがあ　ないてるよ。

かーてん

ゆーらり　かーてん
風が　ふくさ
ゆーらりこ
ゆーらり　かーてん
おもしろ　さうだなあ。

なぜ秋の空は美しいでせう

おほづかみにいへば、秋は空氣が乾いてゐて水蒸氣が春や夏より少く、高氣壓がよくシベリヤから日本まで押し出して來て、晴れた日が多いから、空の色が美しいのです。日の光りが地球の上まで來る途中、塵や、水蒸氣の小さい小さい人目にわからぬほどの粒々や、空氣そのものゝ粒々にぶつかるさ、一部分の光がはね返されて散らばります。空氣のつぶのやうな小さいものに當つて散らばるのは、七色にわけられる日の光りのうち、虹でいつたら紫や青の側にある光だけです。その散らされかたが激しくなるさお日樣の光りのうち赤や黄色に近い方の光だけしか地球上にとゞかなくなります。朝日や夕日の光は地球を包む空氣中をはすかいに長い間さほつて來る途中で紫青緑の光りを散らされてしまひ、赤い光だけがとゞくので赤々さ見えるのです。

陽が沈むと暮れる滿洲

高氣壓が太平洋にがん張つてゐて、そこからアジヤ大陸に海風を送り込む春や夏は、日本は南風や東風が多くて暖かいかはりは、海上の水氣をタップリ持つた風のため、その水蒸氣に邪魔されて、秋ほどの青空は、晴れた日にも見られません。秋から冬にかけて、高氣壓はシベリヤから支那大陸にすわりこみ、そこから寒い乾いた風を太平洋に吹き送るやうになります。この風も日本海を渡る時に水氣を運んでは來ますが、これは日本のまん中を貫く大山脈の屏風にぶつかつてみんな雨や雪にして北陸地方つまり裏日本に落してしまひ、表日本へ西風や北風になつて吹いて來る頃にすつかり乾き切つてゐます。おかげで寒いかはりには日光は邪魔するものが少くて空氣のつぶだけに照り返され、美しい濃い青空が仰がれます。その代り日が入るさすぐ暗くなり、春や夏ほど日の入つた後の空の照りかへしがきかなくなつて來ます。みなさんご承知のやうに滿洲國あたりは空氣が乾いてゐて、いつも日本の秋の日のやうにまつ赤な日が沈むさすぐ暗くなります。

一年前の回顧

武裝移民團來滿（十月八日）

開拓者さして最も統制ある組織のもさに固められた長野、新潟、群馬を境に北へ十一縣から選拔された拓務省肝煎りの第一武裝移民團は總指揮者步兵中佐市川益平氏ほか數氏に引率されて、八日入港のばいかる丸で雄々しくも目指す滿洲の表玄關大連に第一步を印しました、この選ばれた光榮ある移民團は待合所内に小憩ののち、埠頭差廻しの列車に乘つて午前九時五十分大連驛を華々しく出發しました、奉天に二泊、ハルビンに二泊、かくて松花江の流れを便船によつて佳木斯に向ふさいふことでした。

秋も名残を……（同九日）

八日の午後から俄然下つて來た氣温は、同日最低九度三を示して秋に入つてのレコードを示しましたが、九日は朝七時四十分から時雨が來て、同四十六分よりうづら豆大の雹を交へ、冷たくガラス戸を打つて朝寒を思はせました。陽がのぼつて風は落ち、氣温はやゝ上り十二度八を示し、この日曜の各所の運動會や催し物に惠みを與へましたが、これが今年の和かさの終りだらうさいはれました。

共産黨の陰謀發覺（同十日）

九日午前逮捕された川崎第百銀行大森支店襲撃ギャング今泉善一の懷中から裁判所、刑務所、警視廳を襲撃すべくこれに要する資金を吸收せよさいふ共産黨本部からの指令が出ました。これによつて今泉は共産黨直屬の資金局中央部に關係する重要人物で、本部は非常手段をもつて資金を吸收する計畫をたて大々的活動を企てゝゐたことがわかりました。

我軍紅槍會匪擊退（同十一日）

午前四時海倫西方に集結した紅槍會匪六百は我が平賀部隊を襲擊したるも我主力に散々擊退され北方に逃走しました、敵死體百五、我が死者は田村特務曹長以下七名、負傷は九名でした。

英婦人射殺さる（同十二日）

朝九時三十分頃英米煙草支店々員英國人ウトルケ夫人が子供二人を連れて自動車にて吉林街に差掛つたところ警官の服裝した賊三名現はれ子供二人を拉致せんとしたのを夫人が身を以て抵抗したので賊は夫人を射殺逃走しましたがハルビン附近のギャングの一味らしいとのことでした。

支那の國論不統一（同十三日）

リットン報告書に對する日本の輿論一致に反し、支那においては今日に至るも、なほ國論の統一行はれず、支那の對日聯盟態度は國内の紛爭と相俟つて益々根底のない空元氣のものとなりました。よつて蔣介石や羅文幹はこの情勢を憂ひ張學良に對し

日本の輿論一致し近く聯盟に態度を闡明せんとしてゐるが、我國の現狀は寒心に堪へざるものあり、貴下はよろしく北方の輿論を統一し、一致して對外に當られたい

さ電報を發しました。

改組問題圓滿解決（同十四日）

紛糾に紛糾を重ねて來た大連中央卸賣市場の改組問題は午後四時市役所側から小川市長、岡野助役、營業者側から滿部、田淵、山縣の各代表それに支部側全部市長應接間に會合呉越同舟、劇的場面の裡に圓滿解決しました。

大連彌生高女五年生

	朝	晝	晩
日	味噌汁（白菜、油あげ）鯛デンプ 胡瓜奈良漬	うどんの信田蒸（奈良漬）	燒松茸とたこの柚子酢 鰯パン粉揚げ粉吹き芋
月	味噌汁（わかめ、油揚）大根おろし 海苔の佃煮	白菜と油揚の炒煮	清汁、まるめ鰯、蔥 鮪の軟煮、里芋旨煮 ほうれん草、燒松茸のしのびわさび
火	トーストパン 馬鈴薯とハムのサラダ 紅茶、リンゴ	牛蒡の信田巻	鶏挽肉と春菊の清汁 ヤマトフイレット、ステーキ
水	味噌汁（油揚大根）ふき豆 らつきやう漬	豆腐、人參、隱元の炒煮	清汁（ほうぼう、三つ葉、海苔）栗子鶏丁
木	味噌汁（麩、油揚、春菊）金平牛蒡 紫蘇の佃煮	しやくし菜とハムの炒り煮	豆腐の滿月蒸 えびそぼろあんかけ 鯖の照燒
金	味噌汁（豆腐、蔥）昆布の吉野煮	鰯の蒲燒 大根おろし	肉糸湯 芙油鶏（鶏と卵の揚物）
土	バタ、トースト 果汁（りんご）ボイルポテト 紅茶	チキンライス 福神漬	松茸鍋（鶏と松茸の炒煮）柿のおろし和へ 清汁（さうめん、ハンペン、春菊）

家庭滿洲語紙上講座

第廿九課

一
(1) 有日頭。（イオ(ウ) イー トウ）（有太陽）（イオ(ウ) タエ(イ) ヤン）
(2) 沒有風。（メー(イ) イオ(ウ) フ(オ)ン）
(3) 好天氣（ハーオ テ(イ)エヌ チ）
(4) 天氣暖和（テ(イ)エヌ チ ヌ(ウ)オアヌ ホ(ヘ)）
(5) 外頭不冷。（ワエ(イ) トウ ブ レ(ラ)ーン）
(6) 出去玩兒（チ(ウ)ー チ(ウイ) ウア(ヌ) ル）

二
(1) 看孩子（カ(ヌ) ハエ(イ) ツ）
(2) 小心。（シアオ シ(ヌ)）
(3) 孩子哭了（ハエ(イ) ツ ク(ウ)ー ラ）
(4) 怎麽了（ツエ(ヌ) モ ラ）
(5) 他餓了（ター オ(ア) ラ）
(6) 給他奶。（ケー ター ナーエ(イ)）

三
(1) 要那個。（ヤオ ナエ(イ) コ(カ)）
(2) 要這個。（ヤオ ツエ(イ) コ(カ)）
(3) 那個呢。（ナエ(イ) コ(カ) ネ(イ)）
(4) 不要那個（ブー ヤオ ナエ(イ) コ(カ)）
(5) 這個頂好（ツエ(イ) コ(カ) テ(イ)ーン ハオ）
(6) 那個頂不好（ナエ(イ) コ(カ) テ(イ)ーン ブー ハオ）

【譯語】

一 (1)日が出て居る (2)風が無い (3)好い天氣 (4)陽氣が暖い (5)外は寒くない (6)出て往つて遊ぶ

二 (1)子供を守りをする (2)氣を附ける (3)子供が泣いた (4)どうしたか (5)彼は腹が透いた (6)彼に乳を遣る

三 (1)どれが欲しいか (2)これが要る (3)あれは？ (4)あれは要らない (5)これが一番良い (6)あれが一番惡い

【説明】

看は二樣の調子が有つて普通の場合は第四聲で（見る）さいふ譯であるが、看・さ第一聲に調子を更へると（守る・番をする・）さいふ意味に替はるのである。

頂は形容詞の最上を表す言葉で（最も——）又は（一番——）さいふ意味に使はれる。

發音上の注意

日 ）イーは（リー）又は（ジー）さ讀ち易い音で有るが、（リ）や（ジ）の音は全然無い、此音を發するには舌の尖を内方に曲て上齶に着けずに（イ）音を發するのであるが、口の形迄も（イ）音を發する樣に横に平たく引いてはいけない、上下の唇を成丈け離して置いて、其儘ツー又はスーの發音の後尾に附いて來る——さいふ聲（即ち一種の母音）を出せば内方に曲た舌端に觸れて微細な聲を發する譯で、純粹のイーではないことが判る。（第四課參照）

暖 ヌ(ウ)オアヌは單純な（ノアヌ）又は（ヌアヌ）ではない、口先を尖らせる氣味のヌ(ウ)から出て次第に口を大きく開けて行く間にオアの音が出て最後に輕く（ヌ）で終る樣にする。

和 ホ(ヘ)は（ヘ）を發音する樣な口つきにして置いて、其儘舌根の奥から（ホ）を發する樣にすればよい。

冷 レ(ラ)ーンの發音は動もすれば口をすぼめた（ローン）さ成りたがるから、練習さしては成るべく口を開け廣げた儘、響ろ（レーン）さ發した方がよい。

前週の答

(1)這個很好 (2)那個很不好 (3)疊衣裳 (4)換乾淨的 (5)我要好的 (6)沒有好的 (7)那個對 (8)這個對 (9)那個不對 (10)怎麼不去

【問題】次の言葉を支那語に譯せ

(1)陽氣は寒くない (2)内は暖い (3)外は大層寒い (4)彼に菓子を遣る (5)門（入口）の番をする (6)品物の番をする (7)最も多い (8)一番少い (9)これが一番大い (10)あれが一番小い

病原因に作用する酵素劑

胃腸

藥劑を服用させて豫期の効果が現れなくては、患者の不滿はいふ迄もなく、醫家としても面目を失する。といつて例へば、胃酸過多症に重曹劑を服用させると、胃酸過多症の一症候である呑酸は解消して、一時患者を滿足させるが、呑酸の原因である胃酸過多症そのものを治癒する効果に缺けるから、思慮ある醫家は、一の症候だけを解消して病源を治癒する効のない對症藥劑を服用させることは屢々躊躇する。

然るに「わかもと」は、症候だけを解消する對症藥劑と異り、先づ胃腸疾患の根源を治癒するを目的とする活性酵素劑である。——即ち「わかもと」中の多種活性酵素は、衰退した胃腸の組織細胞を再生賦活して、健全な機能に更生させる作用が顯著であるから、「わかもと」だけで胃酸過多症、胃弱、胃下垂、胃潰瘍、腸カタール等を根源から治癒に導く、——斯くして原症が治癒する結果、原症の症候である呑酸、胃痛、膨滿感等は必然的に解消する。

便秘……

更に、便秘に於ても、「わかもと」は下劑の様に腸を刺戟して一時的に便通をつける對症的作用でなく、腸の組織細胞を根源から强健にして蠕動を正調するため、頑固に停滯せる便も遂に腸の自力で排泄されるに至り、併も下劑の如く危險な副作用もなく、習慣性も絶對に伴はない。

三十日量　一圓六十錢

一般榮養劑に優る酵素榮養劑

榮養

榮養劑を必要とする程の衰弱者は必ず胃腸も衰弱してゐる。——この種の衰弱病者には種々の榮養劑を服用させても胃腸が衰弱してゐる爲に榮養の吸收が充分に行はれず、たとへアミノ酸劑の様な吸收され易い性質の榮養劑だとしても、毎日僅か數瓦を服用させて稀薄に榮養素を補給した位では、衰弱の恢復が捗々しくないのが當然である。

然るに、單なる榮養劑でなく、酵素榮養劑である「わかもと」は、先づその酵素の作用によつて衰弱した胃腸を健全にし、食慾を增進して、胃腸をして專ら榮養の吸收に當らしめるから、三度々々の食餌からだけでも、一日服用させる榮養劑の十數倍、——即ち、數十瓦、數百瓦の榮養素が吸收されるは容易である上に、更に「わかもと」中の可溶性の蛋白、脂肪、含水炭素、無機鹽類、各種ヴイタミン等の榮養素が補給されるので、單なる榮養劑を服用させても著効のなかつた慢性胃腸病者、結核、虚弱兒等も「わかもと」を服用せしむれば、能く肉つき、體重をまし、衰弱を恢復するに至るのである。

脚氣……

近來、脚氣の豫防と治療に卓効あるヴイタミンBが、貧血の治療にも著効あることが立證されたが、「わかもと」中の豐富なヴイタミンBは、組成中の鐵分との綜合効果により、從來、鐵劑又は砒素劑を以てしても捗々しくなかつた貧血患者に、血色素を增加させ、健康人特有の紅潮を呈せしめるに至るは、醫家も驚異とする處である。

滿洲日報
十月七日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

廣田外相の强調する 對蘇、對米兩外交政策
六日の五相會議に提出

【東京七日發國通】政府は去る三日の閣議散會後並に六日の閣議後特に大藏、外務、陸、海軍等五大臣會議を開き非常時局を切拔けるための最高國策審議樹立を急いでゐるが、六日の五相會議に提出せる廣田外相の見解は大體次の如きもので、對蘇、對米政策の樹立を强調せるため、この點については荒木陸相、大角海相との間に相當應酬ありたるものゝ如くであるが今後二、三回の會議によつて最後の成案を得られる見通しが略確實となつた

外交基調 軍部と並行して對内對外上一元的に發動すべく、極東に於ける帝國の自主的立場を確立する方針を以て列國との折衝に努むべし

對蘇政策 ソ聯邦に對しては我國は實質的に兩國間個々の懸案を解決する方針を執るべく、不可侵條約はじめ通商條約其他の形式的取極めによつて双方の立場を束縛するが如きはソ聯邦の特殊性に鑑み極力これを避くべし

對支政策 日支關係の現狀が表面何等の動きなきが如き情勢を示したるため、これが打開策として日支直接交渉を促進すべしなぞの見解は、全然日支關係の現狀に有害無益のものである、對支政策においても同じく先づ當面の諸懸案を漸進的に處理解決し以て全面的の打開に到達すべし

對米政策 日米關係は滿洲事變後極度に惡化し來るべき一九三五年の第二次華府會議を目前に控へ益々緊張せる情勢にあり、よつて日米兩國の急迫せる情勢を緩和し以て一九三五年切拔の基礎工作として兩國政府間に太平洋平和保障協定實現の目的を持つ政治的交渉を開始すると共に兩國國民の感情融和のため國民的使節交換を行ふべし

各相何れも眞劍だ
荒木陸相語る

【東京七日發國通】荒木陸相語る 會議はこれからも當分毎回閣議散會後開かれる豫定で、この會議は結果においては明年豫算の編成に關係あるかも知れぬが自分は豫算には關係は無いものと思つてゐる、今日の會議も豫算のことは何も話が出なかつたから集つた大臣の顔觸れを見れば話は國防外交のことであることは明かだ、話は主に過去のことばかりで結論を得るまでには未だ却々だ、しかし各相何れも眞劍だから顔を合せてゐればそのうちには何か善い結論が出來るものと思つてゐる

方振武軍主力

【東京六日發國通】陸軍省着情報によれば方振武軍は昌平北方山地に退却しつゝあつたが一昨四日其の主力約四千は再び高麗營西方より小湯金山附近に現れ同地附近守備中の中央軍と對峙中だと

北支諸懸案解決の端緒を得べく期待
有吉、黃郛近く再會見

【北平特電六日發】曩に有吉公使と黃郛の會見において日支外交打開の諒解を暗默の裡に得たが、その後支那側も日支直接交渉の必要を痛感するにいたつたので、近く北平で行はれる有吉公使、黃郛の再會見においてはいよ〱北支懸案解決の端緒を得べく期待されてゐる

東洋の協力期待
北支政情視察に向つた
杉村陽太郎公使談

【奉天電話】杉村陽太郎公使は蜂谷奉天總領事、粟野事務所長、野田赤十字病院長、中野領事等の見送を受け七日午前十時廿五分奉山線で北平へ向つた、驛頭にて語る

滿洲の内面及び外面的實狀を素通りではあるが、詳細視察することが出來たので北支一帶を視察する考へで北平には時日の許す限り滯在し見聞する方針である、黃郛君とも會ふことができれば會見したいと思つてゐる、問題は滿洲と相關性を有する北支の政情と、日滿支の今後の關係で國際聯盟を抜きにして東洋の諸國が和衷協力し圓滿なる國際關係を保持すれば宜いのである

と杉村公使の北平行は日支問題の前途に私設公使として何等かの局面轉換が豫想され、停戰協定後の北支政局に好轉を期待されるものと見られてゐる

排日貨 殆んご絶滅
坂西中將の談

支那通として知られる坂西利八郎中將は今年七月末上海に赴き約四十日滯在後青島を經て北支方面を遊歷中であつたが今度菱刈軍司令官に初挨拶をなし軍司令部と種々打合せのため六日入港の青島丸で來連したが北支の情勢について次の如く語る

湯、劉軍と結合を謀つて平津を攻略せんとした方吉聯合軍も力及ばずと見て西方に逃げたから當分平津に兵火は起らぬだらう黃郛は支那の政治家の中でも最もよく日本を理解してゐるから自衞的立場からも今後の對日政策を惡化するやうなことはないと思ふ、排日貨だつて?そんなことは全然ないよ

河北省の現狀と接收地區の問題
（上） 在北平 風間阜

方振武、吉鴻昌の討蔣聯軍も呆氣なく片づいた。方振武は察哈爾で、その配下の士兵に陰曆八月十五日の節季までには北平で月見ができると士兵をはげましたと傳へられた、恐らく彼が事を起すに當つて萬福麟、王以哲等の舊東北軍も呼應するであらう、李際春、石友三等も「河北國」の出現に協力するであらう、劉桂堂、湯玉麟等は勿論共同戰線を張ることを疑はなかつたであらう、また、彼等の代表は實際に協力を誓言したであらうことは略想像し得られる。方振武は人間が單純で、惡氣はなく湯玉麟や劉桂堂のやうな、土匪の親分のやうな惡ずれはしてゐないので、方々からの甘言乃至承諾をそのまゝ受取つたものであらう、そして縱令舊東北軍の一部、その他方、吉等胸算用の軍隊が呼應したところで現在の河北政權を打倒することは容易のことでは無い、況んや協定線内に這入つての行動である、痩せ衰へた蟋蟀が晩秋の霜空にすだく姿の運命で寧ろ人をして悲哀を感ぜしめずには措かぬ これにもなほ河北政權は狼狽した それ相當なものである。

◇……◇

一時やかましかつた、北平公安局長更迭問題も片づいた。北平公安局長鮑毓麟は舊東北第四十七旅長で、民國十五年六月北伐軍の北平占領に際し居殘つて治安維持の任に當り、この任務を果して北平退去に際し通州附近で韓復榘の部下に武裝解除せられた、この部隊は外交團が希望して殘留せしめた關係もあり、外交團の斡旋でやうやくその武器を馮玉祥から鮑の手に還附せしめた事件もあり北平治安には相當縁故がある。その後民國十八年九月張學良が入關して北平の主人となるに及び公安局長に任命され今日に及んだ。彼には特別の政治手腕が無いけれども、舊東北人であり、殆ど舊滿洲旗人の地盤となつてゐる北平の巡警界に取つては誂へ向きの人であるのと萬事が消極的に仕事をするから他の敏腕なる南京政治家によく見るやうに種々の好名目で商民から搾取するを遠慮するのと公安局の役得から上る收入を貧民——貧民の大部分は滿洲旗人の子孫にある——に分與したこと等が彼を評判好くした

◇……◇

南京政府が鮑毓麟を免じ、余晉和（前青島公安局長）を任命するの命令が發せられてから各種團體の留任運動が盛んであつたこの運動の色彩から見る時は、余晉和の人物を疑ふといふ意味よりで無くし方、吉問題、公安局長問題も無事通過したので、長く北平を留守した政務整理委員會長黃郛は一日の夜、北上の途につき、途中韓復榘、馮玉祥等とも會見し、北支問題を協議した上、七、八日頃までには北平着、對内外政治工作に本格的に從事することゝなつた。差當りの危險問題は片ついたとしても、この問題は全く餘計な問題である、河北本來の問題としては財政整理、舊東北及び雜軍整理問題、對日政治外交工作、河北接收地區の救濟、整理問題等山積してゐるこれは一朝にして右から左と整理し得られる問題では無く、黃郛等の誠意と手腕とに待つて徐々に解決さるべき問題であり、多くは支那の内政問題で、これを述べんとすれば際限が無い、我々の最も關心を持つものは滿洲國と直接に接觸してゐる河北接收地域整理問題である。

日支事變記念章の授與人員六十餘萬人
十一月初め決定、鑄造開始

【東京特電七日發】滿洲の軍事工作終了とゝもに所謂戰時事態は解消するわけで、これを契機に内閣賞勳局では滿洲、上海兩事變の出動部隊はじめ動員事務その他軍の行動に關係せる官公吏、新聞通信記者總計六十餘萬人に對し授與する從軍記章製作に着手することゝなつた、これが圖案、名稱、受賞者については目下關係當局で講究中で、圖案は飛躍日本を表象するものと決定、彫塑界の巨匠より既に陸海軍に提出されてゐる、名稱は日支事變記念章が有力で、授與範圍は陸海軍が中心となり部隊外は關係各省で審査上申を急いでゐる、圖案決定は十一月初めで勅令發布と共に造幣廠で鑄造を開始する

蘇聯領事狙撃事件一段落

【新京電話】ボグラのソ聯領事狙撃事件に關しては各方面の注目を惹き成行重視されてゐたが、情報によると三日ソ聯領事はボグラ特務機關長土屋大尉を訪問、同事件を全然個人問題として取扱ふ旨を言明したこと明かとなり一段落を告げたことが分つた

政府廳舍、官邸の建設を急ぐ
明年の國都建設計畫

【新京電話】五ケ年計畫による首都新建設の第一年度は正に結氷期を迎へんとしてゐるが、土地の拂下げも豫期以上に好成績を收めたので、來る結氷期においては

第二年度 に拂下ぐべき土地の選定をすると共に政府廳舍の敷地、大官連の官邸、執政府建設の第一年度計畫など愼重研究する筈で、執政府は杏花村を中心とした岡地で楡、柳、杏などの樹木鬱蒼たる森を取り入れ、第一年度は敷地の測量及び谷地を利用した十數萬坪の湖を掘る程度に止める模樣だが、四ケ年計畫で完成せしめることになつてゐる、勿論執政府完成までには執政府正門前順天廣場の政府廳舍及び執政府北面の白山公園、牡丹公園並びに執政府を圍む東萬壽大街、西萬壽大街、興安大路などにかけての政府

大官連の 堂々たる官邸は何れも完成を見るはずである、國都の完成は政府廳舍及びこれら官

採金調査資料は本年中に整備
愈よ採金會社を設立

【新京電話】採金調査隊は新京出發以來北滿各地の産金狀況視察をなし着々成功を收めつゝあるも、目下精査班は五道河、佳木斯の兩地に分駐し大體の調査完了を見たので七日出發、南下の豫定であるなほ石河に駐留中の概査班は同地方に再び有望なる鑛地發見のためこれが調査の必要にせまられ出發は一ケ月餘り延期されるのであるが、右採金調査隊は何れも鑛脈に落ち合ひ同地にて本年中に完全なる資料を作成し終ることになつてゐる、而して以上の事業完了と共に待望の滿洲採金會社の設立を見ることになる譯で會社設立後も調査隊は引續き會社の調査隊として依然滿洲各奧地において採金調査業務に携はることになつてゐる

滿鐵豫算重役會議
愈よ九日から開く

昭和九年度滿鐵豫算は事業費、營業收支とも既に各計算箇所より經理部に提出され、同部において査定中のところ原案の作成を見たので重役會議に附議することに決し、いよ〱來週早々九日から豫算同會議はまづ事業費を上程、約一週間に亘つて繼續し、終了後なほ二、三日問題を起した項目について最後の討議折衝をなした上で事業費全部を決定、引つゞき收支豫算に入るが、この方は例年一、二日で濟むから十七、八日ごろには全豫算が重役會議を通過するわけである、豫算書の印刷は約一週間を要するから二十五、六日ごろには完成すべく、關東廳への説明を了し竹中理事が攜帶して上京するは本月末になる豫定であるなほ竹中理事を助けて政府方面への説明に當るため市川經理部長も木村豫算係主任を伴へて十一月上旬には上京の運びとなるべく、九年度豫算は未曾有の膨脹をなしたゞけに關係方面への説明も自然力が要る模樣である

滿鐵重役會議

滿鐵重役會議は七日午前十時から正副總裁以下各重役、總務部、鐵道部各關係者參集のうへ總裁室で

滿鐵社員會の臨時幹事會

滿鐵社員會臨時幹事會は來る十四日開かれることに決定したが、今回の會議ではさきに幹事會で研究することゝして保留となつてゐる社員會規約改正について最後の決を採り更に今回設定される社員會本部および各聯合會の會計規約についての審議を行ふ筈

滿鐵語學檢定 筆記試驗結果

滿鐵の昭和八年度語學檢定試驗は語學熱の勃興につれて應試者支那語二九九八人、ロシア語一八〇人の多數に達したが、筆記試驗の結果は左のごとく發表された

▲支那語 特等二七、一等五〇、二等一二五、三等三七九、四等五九五、合計一、一七六人
▲ロシア語 特等四、一等九、二等一七、三等三六、合計六六人

なほ本試驗は十月十八日の撫順を皮切りとして十二月二十日の大連を以つて終了するが合格者氏名の發表は十二月二十九日の滿鐵社報上でなされる筈

附屬地學校增設決定

滿鐵地方部では附屬地居留民の激增に伴ひ小學校の不足を招き本年四月以來既に十五學級を增設したほか、更に本年中には二十一學級を增設し目下竣工を急ぎつゝあるが奉天第六、鞍山第二の兩小學校も本年中に完成の筈であるが、これを以てしても容易にその不足を補ふ見込がなく、この結果重役會議に學校および學級增設に關し追加豫算を提出したところ、この程その決裁も得たのでいよ〱九年度中に新京第三小學校の增設のほか附屬地全般に亘り十五學級を增設することに決定、不足の緩和を圖ることゝなつた

後宮大佐上京

關東軍司令部附大佐、滿鐵囑託將校、鐵路總局顧問後宮淳氏は七日出帆ばいかる丸で滿鐵山崎理事と同船急遽上京したが埠頭で村上、山西滿鐵理事、佐藤建設局長等とあわたゞしく何事か協議を重ねた後宮大佐は語る

關東軍、滿鐵、鐵路總局みんなそれ〲の用事があつて上京するのだ、山崎理事の上京要件とは關係なく別行動だ、要件は具體的にはいへぬ、本月末には歸つてくる

心からの接待に勇士たち大喜び
けふの凱旋將兵接待模擬店

輝く第六師團の凱旋、錦をなさめた九州男子は割れるやうな市民の歡送迎裡に續々原隊に集結しつゝあるが、いよ〱その殿軍高田部隊は七日午後五時出帆御用船羽後丸で歸還する、これ等次々に凱旋する部隊に對する本社並びに滿日婦人團各女學校卒業生等の接待になる模擬店は百パーセントの效果を收め至れり盡せりのもてなし振りに若い逞しい勇士等を感激させてゐるが、七日最後のサービス、場所を關東倉庫内の廣場に變更して時間的に惠まれない將兵に充分歡待の眞心を見せやうと午前十一時から幔幕を引き萬國旗を飾つておでん、うどん、栗、りんご、だんご色とり〲の模擬店が開かれる、姉さん冠りの娘さん達奧さん達、滿洲國の女學生が甲斐々々しく兵隊の間を走り廻る、サービスもすつかり一人前以上、慣れたものである、秋のひざしを浴びながら滿腹した兵隊さん達レコードに聞き入つてゐる樣は美しい繪柄である、かくて正午近くうどん、おでんの品切れといふ繁昌ぶりを見せこの企ては頗る有意義に深い感銘を與へて午後三時終了した（寫眞は大繁昌の模擬店）

坂西氏滿鐵訪問

貴族院議員坂西利八郎氏は七日午前十一時滿鐵本社を訪れ林、八田正副總裁と會談約卅分で辭去した

うらる丸 八日午前七時三十分大連港外着豫定

▲山口二郎氏（前金州南金書院長）熱河省公署教育廳赴任につき新任挨拶のため七日午後本社來訪
▲柳原勘次郎氏（金州公學堂南金書院長）新任挨拶のため七日本社來訪
▲植田金治郎氏（普蘭店公學堂長）同上
▲熊谷直太氏（衆議院議員）七日入港あめりか丸にて來連
▲山田喜久雄氏（辯護士）同歸連
▲釘本昌二氏（農林省技師）同來連ヤマトホテル投宿
▲毛里英於莵氏（滿洲國特別會計課長）同歸連午前九時發列車にて新京へ
▲山崎元幹氏（滿鐵理事）七日出帆ばいかる丸にて上京
▲後宮淳氏（鐵路總局顧問）同上
▲大場鑑次郎氏（關東廳警務局長）七日午前七時四十分着列車にて
歸任
▲御厨信市氏（關東廳外事課長心得）同上
▲山中德二氏（關東廳商工課長）同上

◇ 歐洲では「黑色」と「鳶色」との睨み合ひが始まつた。
◇ ムッソーニとヒットラー、無論笑ひ出した方がまけ。
◇ 「救國」はカモフラーヂ、實は「求錢」がその正體。
◇ ロボット英雄な「馬首」とする後援會、遂に「馬脚」を現す。
◇ 問題の人山田辯護士歸る、山田君果して大伴の黑主?否?。
◇ 腐肉二包、海路押送。
◇ はたかゝて溝に落ちけり秋の蠅

有色人種を差別待遇
ドイツ政府が法律制定を用意
我大使館抗議準備中

【東京特電七日發】ベルリン六日發電によれば、ヒットラー政府はユダヤ人排斥に關聯して、一切の有色人種の土地所有を禁止すると共に、ドイツ人がこれ等の人種と結婚又はダンスする事さへ禁ずる法律制定を用意してゐる、有色人種の中には日本人も含まれこの差別觀念が外交方面にも及び最近日本人侮蔑事件が起りつゝあるのでわが大使館は嚴重抗議の準備中であると

東天紅 (217)
田中純 林一三畫

貞操の危機（五）

夢中で鎌倉驛に駈けつけた相良は、折よくプラットフォームに入つて來た東京行きの列車に、すぐに乘り込んだ。それは僅か五十分間の車中であつたが、相良には、數時間の長さに思へたほど、彼の心持は焦つてゐた。

彼の氣持が、何故こんなに焦るのか、相良自身にもはつきり解らなかつた。ただ、何故ともなく、神田夫人の身邊に、豫期しがたいやうな危機が迫つて居るやうな氣がしてならないのだつた。

燒けるやうな焦慮の中に、相良が漸く東京驛に着いた時には、暮れ易い冬の日がすつかり夜に入つて、佗しい街燈が、人氣の少ないビルデング街を照らして居る頃だつた。相良は、すぐに驛前のタクシイを拾つて、麴町の松波邸に驅つけた。松波邸には、彼はその後鮎子に呼び出されて、三四度も遊びに行つたことがあるので、家の中の樣子が、ほぼ解つてゐた。

彼は、平常ならば、内玄關に廻つて、鮎子への取り次ぎを賴むのであつた。鮎子の部屋は、この廣い邸内の裏庭の方に、小ぢんまりと建てられた煉瓦造りの二階家にあるのだつた。その日も、彼は、先づ鮎子に會つて、樣子を聞いて見やうかと、よつぽど思つたのであるが「もしや」と考へると、躊躇された。世間知らずの鮎子に、こんなことを知らせると、却てことが面倒になるやうに思へたからである。

そこで、相良は、内玄關とは逆の方へ廻つて、暗い植ゑ込みの中を、本館の方へ近づいて行つた。

そこは、主屋とはまた別の一郭をなした鐵筋コンクリイトのライト建築で、階下に廣い應接室や、食堂があり、階上には、陽之助の書齋や、化粧室や、寢室があつた。

相良は、今夜何か事が起れば、この本館の何處かであるに違ひないと思つた。で、こつそりと足音を忍ばせて、近づいて見ると、果して燈火が、二ケ所の窓を照し出してゐた。一つの灯は、應接間らしい窓にあか〱と輝いてゐたし一つの灯は、二階の書齋らしい小窓に、ちら〱と動いてゐた。

相良は、身を縮めるやうにして先づ應接室の窓下に近づいて行つた。窓は相當に高かつたが、手近の松の枝に足をかけると、辛うじて室内の一部を覗き込むことが出來た。

それは、豫期したよりも宏莊な部屋で、ふか〱と溫かさうな椅子や、きら〱とシャンデリヤに照り映えて居る小卓など、何れも贅を盡したものらしく見えたが、かんじんな人影は何處にも見えない。ばかりでなく、人の居るらしいけはいさへしない。

「變だなア」

相良は、さう呟いて、今度は、隣の窓から覗いて見た。が、そこからも何の變つた樣子も見えない彼は、思ひ切つて、主屋に近い、反對がはの窓に廻つて見た。見ると、奧の方の二階への出口に近い壁ぎわのソファの上に、一人の女らしい姿があるではないか。それは、相良の覗いて居る窓からは、相當に遠い場所であつたし、ライト建築の特長として、壁ぎわは光線が弱いので、最初は誰だか解らなかつたが、——しばらく見て居るうちに、晶子であることが解つた。

「おや、大貫さん一人か知ら」

彼はもう一度、部屋の中を見廻したが、何處にも、ほかの人影は見えない。而も、よく見ると、彼女は、膝の上に本を開いたまゝ、それを讀まうとするでもなく、誰かが來るのを待つてでも居るやうな樣子で、ぼんやりとして坐つて居るではないか？

「おや。それではまだ、神田さんの奧さんが來ないのか知ら？」

呟いた瞬間に、相良は、何だか人の言ひ爭つて居るやうな聲を、何處からか、かすかに聞いたやうな氣がした。

上陸と共に檢察局へ 山田辯護士出頭
高井檢察官が取調べ

兒玉事件の全貌を逸早く握り、博士に自首迄の運びを安東博士と協議の上、二十三日ひそかに飛行機で東上したこの事件に重要な役割を買つてゐる山田喜久雄辯護士は事件が明るみに曝け出されると共に或ひは事件を知り乍ら直に自首せしめなかつた點につき非難の聲を浴び、または辯護士として職能外の策謀迄計つたのではないかと官邊筋からも注視されるなど事件のキーを握る丈にその行動はすこぶる興味をもつて見られてゐるが七日入港あめりか丸で恩師熊谷直太辯護士とともに歸連した、これより先高井檢察官は水上署司法係へ山田辯護士上陸と共に直に任意出頭の形式を以て檢察局に出頭せしむべしと命令して來たので水上署栗林部長より山田辯護士に傳へられ午前九時上陸と同時に檢察局に出頭、高井檢察官の登廳を待つて第四調室に入つた、高井檢察官の取調べは嚴秘に附されてゐるが、山田辯護士が事件の鍵を握つてゐると見られてゐるだけに取調は相當峻烈を極めた模様で、正午まで續けられたが、晝食のため一時休憩となり、調室を出た山田辯護士は久しぶりに法院辯護士室を訪れたが、記者に對して次の如く語つた

まだ當からも續くので話しはその後にしてくれたまへ、僕の行動が非常に問題となつてゐるやうだが、辯護士としてなし得る範圍において行動したのみであつて一點後暗い處はないつもりだ、檢察官に對してもその點よく了解してもらうべく事情を大體述べてゐるのである

更に關東廳辯護士會に對する態度を問へば

會から事情を話せと云はれるならば或る程度話すが、然し如何に辯護士會にとは云へ、個人の秘密に關することは話すことが出來ない、自分は飽く迄辯護士としての本分を守つて行動するだけだ

とて法律的な鑑定はさせないでくれ

上陸と共に星ケ浦ヤマトホテルに投宿した

事件の全貌を知らずに上京した
船中で 山田辯護士語る

山田辯護士はまさか上陸直に檢察局へ任意出頭とは露知らず、あめりか丸二等五號室に納まつてゐたが沖迄出迎への記者團の包圍を受け流石にその物々しい有様に顔面は蒼白となる、極力面會をさけ乍ら

檢察官に會ふ迄は何も聞いてくれるな、立場が無いだらうつて、そんな事はない、自分は自分の最も正しいと思ふ事を信じて實行したのだ、事件を自分が知つたのは十八日、その日兒玉博士は衛研の長田氏と共に私の事務所に來て話されたのだ、自分のその時の考方としては御承知の如く博士があゝした學研の人格者だし自首の時期によつて最惡の場合を想像して善後處置をとるべく長兄の衛一氏を訪れる事になりあの事は二十一日衛生研究所で安東博士と三人で會つてすべてを安東博士に一任したのだそれは要するに自首の時期の何日やるかといふ事でその時にも大分議論された、即ち安東博士は即時自首論で兒玉博士はそれを非常に躊躇されてゐた様だつた、しかし私が中をとつてでは四日間位間を置いてからといふ事に一決し自首も兒玉博士は吃音で不明瞭な點が多いから安東博士からすべてを正しく説明して頂いてはと云ふ事に一決したのである、長兄の衛一氏とは信州の戸倉温泉で會ひ結局私の恩師である熊谷辯護士にすべてを一任する事になり自分は山本代議士と共に上京した様なわけで既にその時分は新聞社の知るところとなつて大變な騒ぎであつた、中薗と勝美夫人とが一緒に内地に行つたなぞは全く考へられない、自分は一度勝美夫人に會つて博士の悲慘な心境を打明けたいと思つたがそれも果せなかつた、中薗といふ男は全然未知な男で博士自身が「恐らくあの男を知つてゐる者は大連にもないだらう」と云つてゐた位だ、博士がたしか自分のトリックに掛かつてゐたなぞと云はれた様だがそれは何か博士が聞き違ひをしてゐるのではないかと思ふ、とにかく重大事件であり危險性のある事件なので充分斯界の權威者に辯護をと云ふので熊谷辯護士に依頼したんだが、最後に自分がハッキリ云つておきたいのは自分が如何にも事件の全貌を知つてゐる様に云はれるのは困つたもので僅かに一部しか知らないものである、今一つは自分が事件を知つて告發しなかつた事に對する非難に對してはあゝした問題だけにセンセーションを起したのだが義務はないと思ふ、しかし自分は自首する事を極力すゝめると共に博士にむしろ中薗を告發するどちらかの方法を執る事を主張してゐたものである、とにかくあゝした博士だけに自分も本氣になつて一肌脱ぐ氣だつたのだ

實兄の依頼で辯護に立つ
來連した熊谷直太氏

兒玉事件辯護の役を買つて出た斯界の元老熊谷直太辯護士は七日入港あめりか丸で山田辯護士と共に來連したが船中語る

私がこの事件を引受ける様になつたのはこの七月代議士團の一行中一緒に來滿した山本代議士と兒玉博士の長兄衛一氏が來られて色々頼まれたのと、山田辯護士が七八年前私の事務所に居つた關係で私を頼つて來たので期せずして皆の氣持が私に集つたのだ、何故長野縣の人が態々私のところへ來たかといふと大正九年長野上田の近く丸子町で騒擾事件があり、それに私が關係して全部無罪にしたので大變それを喜んで頂き當時山本代議士が縣會議長をしてゐた關係で私が選ばれたのだ、事件は大體私がお引受したいと思つてゐる、只云つておきたいのは辯護士に二つの職分がある、法律に從ふ場合と被告人の立場についてよく考究しなければならぬ場合と、山田辯護士の場合もよく考へなければならぬと思ふ、それと今一つ兒玉博士はあゝした學研の權威者で大發明の前にある人だけに社會的に相當愼重に考へばならぬと思ふ、まあ今こ

歸連した山田辯護士（向つて右）

博士嶺前屯へ

兒玉博士に對する沙河口署の取調べも大體終了したので今後檢察局との連絡上刑務所の方に移されることになり兒玉博士は七日午前九時半岩崎刑事に護られながら署用自動車512號にて市内嶺前屯刑務支所に送られた

去月二十四日夜沙河口署に自首して以來約二週間沙河口署の薄暗き留置場に囚はるゝ南京虫と蚤へ難き不自由さに惱まされたらしく、蒼白な面持でセルの着物にセルの袴をつけやつれ果てた姿はいたく同情を惹いた

覺悟を決めた中薗が危險
船中監視に苦心する 沙河口署の寺内刑事

【門司特電七日發】阿部、上郡山兩部長監視の下に神戸からはるびん丸で八日朝門司に着く勝美夫人中薗の兩人を門司に待ち受けて護送の任に當る沙河口署の寺内刑事堤巡査の兩氏は大連から七日朝うすりい丸で門司着茶庄旅館に一先づ落ついた、寺内刑事を訪ふと

明日から一生懸命働かねばなりません、これから門司水上署に行つて署長さんによく相談して手落なくやりたいと思つてゐます、情報によると中薗はたつた一目でよいから勝美に會はせてくれ、一目見せてくれと哀願してゐるさうですが彼は既に立派に覺悟をしてゐるから却つて危險です、一目でも會はせようものなら眼でどんな打合せをして舌でも嚙んで自殺せぬとも限らぬ、彼のまた決心せぬさきの方が扱ひよいので決心したら油斷はならぬ、そこで明日門司に着いたら勝美は門司水上署の移動警察官の部屋に入れて同警察と吾々と一緒に監視し中薗は三等室で多數の乗客のゐる中に置いてこれが中薗であることを誰の眼にも判らせ吾々は勿論寢ずの番だが多數の眼にも監視して貰ふといふ方法をとりたいと思つてゐる、中薗は手錠がはめてあるが勝美は任意連行の形式にしてある、しかし人權蹂躙にならぬ程度で十二分の監視をしますまた大連に着いたら見物人で騒ぎは大變だらうと思ひますが下手にこつそりあげるやうなことをして最後の場で逃げられたり自殺されたりしてはならぬから寧ろ堂々と上陸する積りです、無論二人を同時にはあげない、幾らか時間を置きます、なほ兒玉博士が投げ込んだ短刀の捜査は私の責任で熱心に河を搜したが遂に判らなかつた、博士は嘘をいふのではないと信じますが發見されません

と語つた

のぞく人目に萎れる勝美
はるびん丸に乘船

【神戸にて長谷部特派員七日發】大連に向つて六日午後十一時和歌山を送り出された勝美夫人、中薗の二人は秋雨降りしきる阪神道路を自動車でつッ走り七日午前四時神戸に着き神戸水上署に預けられたが、一目會ひたいといふ中薗の念願も遂に容れられず、二人が顔を合す機會は寸時も許されず愛慾に惱む二人の姿は今日も降りしきる秋雨の如く哀愁を喫つてゐる、二人は二十錢の官給辨當を平げて向けての船路の旅を目前に控へて出帆の時を待つたが流石に大連にさまざまの思ひに耽つてゐたが正午出帆間際に水上署員の手で巧に群がる彌次馬をまいてはるびん丸に乗り込ませたが、こゝでも二人を會はせることを避け、勝美夫人は上郡山刑事に護られて船首三等室、中薗は阿部刑事附添ひで船尾三等室に納まつた、阪神一帶の好奇の眼に追はれてゐた二人が乘つたといふので船内は上を下への大騷ぎとなり二人の船室を覗き込む有様に流石に勝美夫人はしほれ返つてゐたが定期船のドラの響きとともに船が動き出せばホッと大きいため息をつき思ひ出深い母國の秋景色を眺めて深い物思ひに沈んで行つた

神兵隊黒幕 天野氏
哈市に潜入

【ハルビン特電七日發至急報】神兵隊の黒幕として重大視されてゐる靜岡縣濱松出身天野辯護士（四三）は當局の嚴重な搜査に拘らず杳としてその消息を絶つてゐたが八月十六日以來ハルビン名古屋ホテルに止宿し人目を避けてゐたこと判明し七日朝九時四十分物々しい警戒裡に總領事館警察官が附添ひ新京に護送された、新京で令狀執行され警視廳派遣員の手に引渡される筈

明日のラグビー戰

八日午前十一時二十分より工專球場に於いて開始する筈であつた大連倶樂部對工專ラグビー戰は工專試驗中に付中止するが他の大連滿鐵對工大戰滿電對工大戰大連商業對滿鐵育成戰は午後一時、二時二十分、三時三十分の三回に亘つて擧行する

扶餘附近と長嶺縣城 眞性ペスト發生
農安から侵入蔓延の兆

【奉天電話】ハルビンよりの情報によると二、三の兩日に亘つて扶餘縣城附近に二名の眞性ペスト發生し四日何れも死亡したが、長嶺縣城にも三十日二名のペスト新患者が發生死亡した、これ等は何れも目下猖獗中の農安方面より侵入したものらしくペストは漸次北方に延び北滿方面に蔓延する傾向あるため中央部では同地方に醫師を派遣防疫に努めつゝある

【新京細菌檢査所七日發】滿鐵衛生課入電によれば四日長嶺縣長より吉林廳に發したる情報によれば農安より長嶺に赴きたる滿人男女各一名長嶺東門外約二支里ゴカントンに至り發病し腺ペスト様の症狀を呈して死亡した、その後同地に十三名發病し内十名死亡します〳〵蔓延の狀況にあると

補回戰でセ軍惜敗
ジ軍テリーが本壘打 ワールド・シリーズ第四回戰

【東京特電七日發】ワシントン六日發＝ワールド・シリーズ第四回戰はグリフィス・スタヂアムに於て六日午後一時三十分よりジ軍先攻にて開始されたがセ軍は新進のウイーヴァー投手をたてゝ必勝を期し、これに對しジ軍は一回戰の勝利投手ハッベンをたて、双方打擊戰を演じジ軍第四回にテリーの本壘打で一點を先取しセ軍も第七回に一點を返し遂に延長戰に入り第十一回にジ軍貴重な一點を入れ遂に二對一でジ軍三勝し七日の一戰により霸權が決せられることゝなつた

ジ軍 000100000001＝2
セ軍 000000100000＝1

經過

◇一回 ジ軍ムーア四球に出でクリッツの二直で併殺、テリー二壘強襲安打したがオット三飛▼セ軍無為

◇二、三回 兩軍投手好投して強打者連續凡退

◇四回 ジ軍クリッツ遊飛の後テリー中堅觀客席にシリーズ三本目の本壘打を放ち一點を先取、流石のウイーヴァーも動搖の色あり、オットに四球を出しデーヴィス三壘強襲安打に續きセ軍の危機いたる、ヂャクソン三邪飛後マンキューソ四球に二死滿壘となりしもライアン三振▼セ軍マイヤー投ゴスリン一壘に最初の安打を放ちマヌーシュ四球、クローニンの右飛にゴスリン三進せるもシュルトの遊ゴロに終る

◇五回 ジ軍一死後ムーア左翼安打せるも以下セ軍の好防に止む▼セ軍二死後シュルト安打ありしのみ

◇六回 ジ軍オット右中間に安打してデーヴィスのバントに進みしもジャックソン右飛マンキューソ四球に敬遠されライアン投ゴに終る▼セ軍マイヤー遊擊強襲に出でゴスリンの犠打に進みマヌーシュの二ゴロを二壘手一投する間にマイヤー三進せるもマヌーシュのアウト問題で場内騒然となりクローニン三振に終る

◇七回 （七回に先き立ちセ軍マヌーシュの問題で審判員と論爭したが審判はマヌーシュに出場を禁じたのでセ軍はハリスを右翼とする）ジ軍一死後ムーア三遊間を拔いて二壘打しクリッツの遊ゴロに三進せるもテリーの投ゴに空し▼セ軍一死後クーヘル投手をあやまらして生きブルージュの投ゴに二進しシウエルの中前安打に一擧還り同點となる、ウイーヴァー一ゴロ

◇八回 ジ軍オット遊擊に猛打して生きデーヴィス三振ジャックソンの二ゴロに危く二壘に生きたがマンキューソ遊ゴロ▼セ軍マイヤー一死球後ゴスリンの投ゴに封殺ハリスの遊ゴロでゴスリンも封殺、クローニン右翼に安打しハリス三進したがシュルト二飛

◇九回 ジ軍ライアン一壘頭上を拔きハッペルのバントに送られしも後援なく▼セ軍三者凡退して遂に延長戰となる

◇十回 ジ軍凡退▼セ軍一死後マイヤー中前安打、ゴスリンの二ゴロに二進しハリス四球に續きしも、ものにならず

◇十一回 ジ軍ジャックソン三壘線に内野安打しマンキューソのバントに送られライアン左前安打に決勝の一點を擧ぐ、ハッペルも左中間に安打しライアン二進（セ軍投手ラッセルとなる）ムーア三振、クリッツ中飛▼セ軍奮起してシュルツ左翼に安打しクーヘルのバント内野安打となりブルージュのバントで三、二進しシウエル四球で一死滿壘の好機となりしもPHホールトン遊ゴロにて併殺、セ軍惜敗す

ジ軍	
7	ムーア
4	クリッツ
3	テリー
9	オット
8	デーヴイス
5	ジヤクソン
2	マンキユーソ
6	ライアン
1	ハッペン

セ軍	
4	マイヤー
97	ゴスリン
7	マヌーシユ
9	（ハリス）
6	クローニン
8	シユルト
3	クーヘル
5	ブルージユ
2	シウエル
1	ウイーヴアー
1	（ラッセル）
P	Hホールトン

	打數	安打	犠打	盗壘	三振	四球	過失
ジ軍	40	11	3	0	3	4	1
セ軍	38	8	3	0	3	4	0

女中さん献金

滿洲派遣第六師團は市民の歡迎送裡に晴れの凱旋の途にあるが六日同師團司令部へ熊本の女として金二十圓封入して皇軍日本の威容を示されたことを女性として心から感謝するといふ手紙が舞ひ込んだ司令部ではこの一女性の奇特に感激してその儘では濟まないと内查したところ大連佐渡町震水ホテルの女中をしてゐる原籍熊本縣八代郡築村島本みえ子さんと判明した、司令部では直に陸軍省あてに國防献金としての手續をとつた

『空閑少佐』を巧に改竄の不敬排日映畫を發見
小崗子で上映する所

小崗子支那劇場北京大戲院において最近上映せんとした映畫臺本が大連警察署檢閲濟のものなるに拘らずそのフイルムは内容筋書を全く改竄され實に不敬に亘る排日映畫なることを大連署が上映一日前に探知、目下極秘裡に關係者に就いて取調べ中の奇怪極まる事件がある

映畫は「ヘンリーキネマ」製作の、「空閑少佐」と題するもので、上海事變に於いて壯烈なる働きをなしつひに敵國に於いて自刄せる空閑少佐の忠勇武烈なる物語りを扱つたもので、昨年末實館で上映するに際し大連署が檢閲濟の捺印せるものであるが然るにこのフイルムが臺本と共に上海に輾々として滿鐵某課勤務の傭員滿人劉盛文（假名）の手に入り本月初前記北京大戲院に上映されんとしたものである

改竄されたフイルムは洋畫、支那事變の各斷片を繼ぎ合せ殆ど原形を留めぬものとなつてゐるが、臺本は全然臺本と正反對のものとなつて居り、上海事變の如き上海で製作した十九路軍の誇張された活躍振りを撮したものを繼ぎ支那軍の大勝利となつて結末とし最後に畏れ多くも陛下の御尊影を現すなど云ふに忍びざる不敬を行つてゐる、これが改竄は上海邊りの排日支那人の手により行はれたものとみられてゐるが、目下該フイルム所持者の劉以下關係者が仲秋節で郷里山東に歸省してゐるので果して所持者劉が情を知つてこれを提供せるものか、また全然關知せぬものか大連署では劉の歸連を待つてゐる

なほ劉は滿鐵に十三年間勤務し相當上長にも信用あり、おそらく關知せぬものとみられてゐるが劉の歸連を待つて該フイルムの改竄經過が判明する筈である

惡徳記者
やよひ新聞 三名を檢擧

大連市能登町四十二番地やよひ新聞大連支社記者上田彌（三）林義雄（二）青木忠雄（三）の三名は恐喝の嫌疑を以て六日朝十時大連署に引致され小平高等係の取調べを受けてゐたが

右は先月二十三日市内山縣通り國際運輸會社調査係勤務山中三郎氏（四七）假名＝が孔雀カフエー女給小夜子こと長野光子（二二）に惚れ、通ひ續けてゐることを探知原稿用紙に記載して新聞に發表すると恐喝山中氏より二十五圓を受取つたことを自白したので直ちに留置なほ餘罪を取調べ中である

やよひ新聞は福岡縣久留米市に本社を有し最近能登町四二足達紅二方に支社を置き二、三面を大連版として大連花柳界、カフエーの暴露記事を連載無錢飲食或は脅喝を常習としてゐたものである

なほ大連署の不良記者狩は開始以來既に七件に上つてゐるがなほ極力探査を進めて居り大連に根據を有する某々社にも探査を進めて居り街の紳士の徹底的掃滅を期してゐる

開魯西方で 行方不明
石上少尉捜査

【奉天電話】石上少尉は去る九月二十七日歸還命令を受け、自動車で蒙古人二名及び運轉手李某とともに林西を出發開魯を經由錢家店に向ふ途中、二十九日夕刻開魯縣西方において匪賊占中華の率ゆる約三百人の賊團に包圍され交戰約三十分の後自動車は燒かれ少尉及び李の兩名は行方不明となり他の二名は翌三十日開魯に歸還した、急報に接した我軍の加藤少尉は直に騎馬隊を引率開魯を出發錢家店附近において目下調査中であるが石上少尉の消息は今なほ不明である

羽衣運動會

羽衣高等女學校では八日午前八時半より同校々庭において運動會を開催するが同運動會は同校開設以來最初の運動會とて父兄達より歡迎を受けて居るが他校と大いに趣きを異にし父兄生徒合同の運動會で多數父兄及び一般の參加を歡迎してゐる

天氣予報

八日 北西の風（晴）一時曇

滿潮（午前〇〇時三〇分 午後〇〇時四五分）

干潮（午前六時五五分 午後六時三五分）

各地温度（七日午前十一時）

大連	一九	奉天	一五
旅順	一九	新京	一三
營口	一六	新義州	一九

今日の小洋相場（十一時半） 金百圓につき一二二圓一〇錢

善鬼惡鬼（221）

平山蘆江作　刈谷深隍繪

重い手筥（一）

「手を貸してあげやうか」

お濱が云つた。

「いえ、大丈夫でござんす。小さいくせに重たい包みでござんすれ」

金太は、さう云ひながら、風呂敷に包んだ手筥のやうなものを兩手に抱いてゐた。

お濱が千住の家から持つて來た手荷物である。

「エレキテールの機械が入つてゐます」

「機械といふものはこんなに、重いのでござんすか」

「これは格別重いのさ。樂齋どのに頼んで、つくつてもらひました女鹿屋に置きたいと思つてね」

エレキの機械を女鹿屋においても仕方があるまいにさ、金太は思つてゐたが、默つておはまのあとへついてあるいた。

いつも離れに閉ぢこもつてゐる樂齋はおはまの聲がしても、知らん顔でゐるのが常であつた。

「旦那樣、お留守ださうな」

外から一寸のぞいたおはまは、離れへ通る道を通りすごして、自分の居間へ入つた。

「こちらへ持込むのですか」

金太が、手筥を下へ置いた。水門を上つて、うしろ庭をぬけ、縁から上つて廊下を通つたばかりだのに、兩手がしびれるほど重たかつた。

金太は、自分の手首をこすり合はして、指先のしびれを撫でてゐる。

「重かつたかえ」

おはまはいつの間にか、金太のうしろへまはつてゐた。入口のしまりをして身體をくるりと向直つたのだが、自分の座へすぐには就らなかつた。

「へい、こんなに重たい機械を、女鹿屋にお持ちになつて、どうなさらうといふ思召しでございました」

おはまはそれには答へず

「どれ、手首をさすつてあげやう」

言葉の切れない中に、自分の身體で、金太をうしろから包むやうにして、おつかぶさつて來た。

「へイ、いえ、もう大丈夫でございます」

燕のやうに、女の兩手をくぐりぬけた金太が、座敷のすみへしやがんで、青くなつてゐた。

「まア、この子は、何でそんなに驚くのだえ」

「へイ」

「ほほほ、慄へてゐるぢやないか」

「へイ」

「私が怖いの」

「びつくりいたしました」

「びつくりする事はない。あんまり重たいものを持たせたから、手首の痛みをさつてやらうと思つたまでさ。もつとこつちへおいで」

金太はおはまの態度をどう思つて好いのか判らなかつた。心を入れかへた、これからは良人大事にしやうさ、二つの死骸の前で、誓ひを立てるやうに云つたおはまだそれが、半日經たぬ中に、元のおはまに逆戻りをしたのか、それとも、本當に手首のしびれを氣の毒に思つただけの事か、その判別がつかなかつた。

「お前、そんなに私が怖いのかえ」

さう云つて、おはまは薄氣味のわるい笑顔を見せて、少しづゝ少しづゝ寄つて來た。

金太はそれをよけるやうにして、ゐざりあるきに、座敷のすみを、入口のところまではつて來た。いざさいつたら、うしろへ手をかけて、逃げ出すつもりである。

突然おはまが笑つた。

「ほほほ、馬鹿だね。そこの扉はおしても引いても開かないやうになつてゐるのだよ」

キネマと演藝

十月の常盤座

目下ドイツゾーカル映畫「青の光」を上映中の常盤座の第二週以降の十月豫定プロは左の如くで愈々月末週間にパ社の名畫「戰場よさらば」を豫定してゐる

▲第二週（九日―十一日）「君さひさゝき」「タブウ」再映短期興行▲第三週（十二日―十六日）「競馬天國」「廿四時間」▲第四週（十七日―廿一日）「恐怖の甲板」「海底」又は東京少女歌劇▲第五週（廿二日―廿六日）「タイガージヤーク」「假面の米國」又は「ボンゲ」▲第六週（廿七日―一日）「戰場よさらば」「海底二千尺」

篠田實二日目讀物

大連劇場の浪曲篠田實の二日目讀物は左の如くである

▲紀の國屋文左衛門（篠田實行）▲小村さ魚武（木村友明）▲河内山さ直侍（浪花鱗博）▲大石瀨左衛門（浪花亭愛吉）▲清水次郎長（東家樂友）▲勝田新左衛門、紺屋高尾（篠田實）

パテー郊外撮影會

大連パテー倶樂部では新光倶樂部さ合同して八日午前七時四十五分大連驛出發で旅城子驛待合室に集合し撮影會を開催する

旭勝會淨瑠璃會

旭勝會では八、九日兩夜「ほてい」で秋季淨瑠璃會を開くが番組左の如くである

▲初日（八日）御祝儀寶ノ入船（入登）先代御殿竹ノ間（佳女子）一ノ谷陣屋（喜鳳）忠臣藏四段目（白水）双蝶々引窓ノ段（富士）三勝半七酒屋ノ段（みどり）四ツ谷民谷内（うろこ）三味線（竹本旭勝）

▲二日目（九日）御祝儀寶ノ入船（入登）義士傳赤垣出立（璃松）天ノ網島紙治内（扇松）二十四孝十種香（喜樂）戀女房沓掛村（翠香）白石噺新吉原（三幸）お千代半兵衛八百屋内（うろこ）三味線（竹本旭勝）

大連梅若綠葉會

大連梅若綠葉會では八日午前九時から連鎖街連鎖ホールで第六十一回素謠會を開くが番組左の如し

▲素謠　三輪、敦盛、松風、玉葛、清經、芭蕉、景清、朝長、山姥、俊寛▲獨吟▲仕舞　花月、鞍馬天狗、大江山、經政、殺生石、玉之段、小姥、融、鐵輪、忠度、通小町、野守、巴▲囃子　西王母、小袖曾我、籐波

福王會月次會

福王會では七日午後七時から攝津町會所で月次會を開くが番組は三輪、經政、夕顏、蟬丸、安達ケ原

うわさ話

奉天の新映畫館新富座が五日開館式をあげ新興キネマで愈々蓋あけをしたが▲そこへ乘込むのが昨日中央映畫館を打揚げた柳さく子一行で好調の平安座が新館出現に對する牽制策▲奉天の映畫街も各館さも好調の波にのつてシーズンを迎へ火花を散らす時代が訪れた▲大劇の篠田實「紺屋高尾」が呼びものだけに運廊の組見をつくり遊女の鏡ださ宣傳。▲柳さく子の實演がなくなつた中央映畫館は今日から二日間「嬢を寄すれば」を階下三十錢で開放し月曜日から「二つ燈籠」▲タマキ舞踊團に參加して來連したお馴染の丘龍兒君とジヤズ歌手正木正子嬢が今夜から大檢ホールに特別出演する▲次週入江たか子の「新しき天」を上映する映樂館は早くも表飾りをして宣傳に着手

滿洲日報
朝夕刊共十二頁
定價 一部 實 金五錢 一ケ月 金一圓五十錢 郵稅 金十五錢
廣告料 普通 一行 金一圓三十錢 特別 一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算
發行人 鈴木昇 編輯人 橋本喜代治 印刷人 本村武盛
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社 滿洲日報社 振替口座大連六〇番

五相會議
外交國防問題とも纒ることは纒らう
會議後 高橋藏相の談

【東京七日發國通】五大臣會議は十日第三次會議を開催する豫定だが六日の會議後高橋藏相は語る

我輩が如何なる意見を有してゐるかは諸君の御想像に委せるが外交は決して喧嘩の爲のものではない過般渙發された御詔勅にも仰せられてゐる通り我國は聯盟を脫退しても各國との外交は平和を旨として御聖旨に副ひ奉るやう努めねばならぬことはいふ迄もない、これがために國防財政その他の諸問題を外交が圓滑にやつて行けるやうに扶けねばならぬ、世間では外務省と陸軍省との間を如何に見てゐるか知らないが我輩の見るところでは決して兩者の意見は懸け離れてはゐない、國防の問題は當面のことのみを考へず根本方針を期せねばならぬ、此の方針がきまらぬと明年度の軍事費も決め難い、しかし又大藏省議で豫算の數字が一應決定せぬと軍部側と折衝を始めるわけには行かない、我輩の體がもう少しよければ別々になつて話した方が早くきまるのだが思ふやうに行かぬので五大臣會議で一緒にやつてゐる次第である、何れ纒るには違ひないが何時纒るともいはれない、豫算閣議は大演習後の十一月上旬になるであらうがこれで充分間に合ふさうだから心配はない

三相の間に意見扞格
五相會議について 荒木陸相語る

【宇都宮七日發國通】荒木陸相は宇都宮第十四師團部隊視察と國防義會發會式參列のため七日午前八時二十分上野發列車で出發したが車中語る

五相會議はお座なりで濟ます氣なら直にでも片附くだらうが、今の場合はそんなことは絕對に出來ぬ健全な子供を生まねばならぬのだから會議の前途には幾多の難關があらうと思ふ、同會議で藏相、外相と軍部の兩大臣の意見に開きのあることは事實で困つたことだ、これも要するに日本の現狀に對する認識に大差あるためであるから將來の方針に對し意見の合はぬのは當然だ、五相會議と僕が首相や藏相に進言した國策問題とはどんな關係があるか、これは僕の口からはいへぬが大きな問題であり又非常な疑問の問題だと云つておかう、とにかく大きな問題が一年後に迫つてゐるのだから愚圖々々してをられぬ、いよ〳〵となれば僕にも決心がある、豫算問題に就いて復活要求を一切認めぬことにする主義には贊成だが各大臣と藏相との間に先づ根本方針が一致することが絕對の要件だ、ロシア、アメリカに對しどうするかといふやうなことを色々聞かされるが互に裸になつてみたならば一番よく判らうと思ふ

官公營事業を開放し失業防止を圖る
閣議報告 社會政策具體案

【東京六日發國通】本日閣議に報告された社會政策の具體案左の如くである

失業防止と救濟施設の擴充を圖る件

一、職業紹介機關の整備を圖り機能を發揮せしめ官公營事業の失業防止への轉用
二、土木事業の起工を獎勵し失業救濟施設を助成す
三、智識階級の失業防止と就職難緩和の爲教育制度の刷新を行ふ
四、勞働者解雇の場合失業中の生活を保證する施設を考慮する
五、移植民の獎勵、疾病の豫防と救護施設の普及

一、健康保險制度を擴張し工場鑛山外の勞働者も包含する事
二、中小商工業者、農民、給料生活者に對する疾病保險制度創設を考慮す
三、醫師の在住せぬ農漁山村に公費による醫師の設置を獎勵する

防貧、救貧、施設の擴充、現行施設で救濟し得ざる生活困窮者に公費を以て生活救助、勞資關係改善及び勞働者保護施設の促進勞働爭議調停制度を改善し勞働爭議の激化を防止する

北鐵監事更迭

【ハルビン六日發國通】目下モスクワに歸朝中のベルシン北鐵監事はモスクワにて辭意を表明したので蘇聯政府は之が後任として前奉天北鐵商業代辨所支配人コロソフ氏を任命せる旨五日駐哈蘇聯領事館を經て北鐵監事會に通知があつた、今回の北鐵蘇聯側監事の更迭に關し五日滿洲側に通達ありコロソフ氏は正氏に監事に就任した

黎明熱河斷描 （七）
島田特派員記　山口特派員撮影

元氣な我警官
南京虫退治と水不足に惱む
茅屋に仲よく雜魚寢

熱河におけるわが關東廳警察官の事情について述べて見やう、熱河省は從來赤峰領事館の管轄として各主要都市には警官が二三名乃至數名づつ配置されてゐたのであつたが、今回同じく赤峰領事館の支配は受けるが、警察官は直接關東廳より派遣されることゝなり、現在三百名近い關東廳警察官が熱河の各地に駐在してゐる、記者達が旅行した北票、承徳間に於ても承徳、平泉、凌源、朝陽、北票の五ケ所に赤峰領事館警察分署が置かれ、約百名の警察官が活躍してゐる、何れも希望者を募つて派遣したもので、進んで熱河に進出しただけに實に元氣旺盛、見る目にも氣持ちよく執務してゐる、記者達は各地の分署を訪問したが、各署の首腦者は左の如くである

承徳（署長門脇警部、係主任鹽谷警部補）平泉（署長保月警部補）凌源（署長吾妻警部補）朝陽（署長中川警部補）北票（署長大井警部補）

▽……△

各署とも八月末から九月にかけて赴任したのであつたが、北票の如き鐵道沿線の土地は別として銃器を始め世帶道具から執務用の紙類までトラックによつて運ばれねばならぬ奥地の分署員の赴任は相當苦勞をさせられたらしい、殊に承徳分署組は折惡く北票で雨にたゝられ、途中の河川が水を增したゝめ川止めを喰つて北票から承徳まで一週間をつひやして、やつとたどりついたといふことである

大きな鍋釜までトラックに積み上げ、機關銃を後先きにそなへて匪賊を警戒しつゝ、大凌河畔に立往生して水の引くのを待つてゐた有樣は、正に漫畫のネタだれエ……

と哄笑しながら承徳の鹽谷警部補は記者に語つたが、その時の警察官諸君の氣持を考へると記者達は何うしても笑ふことが出來なかつたのである

▽……△

着任して一番困つたのは執務する廳舍及び警察官の官舍であつたことだ、從來二三名の外務省警官が執務してゐた廳舍へ、二十名乃至三十名の大勢が入れるわけがない、派遣警察官達は、執務する前に、先づ廳舍と、官舍を搜さねばならなかつたのだ、記者達が各分署を訪れた際には、北票、朝陽、凌源の三分署は既に落ちついて執務してゐたが、平泉と承徳とはまだ廳舍の改築に、巡査諸君が大童となつてゐた、平泉の如きは着任と同時に滿人の家屋を買ひとり直に事務を開始したまでは好かつたが、その家に蝎が澤山居て着任早々四名の警官が被害を受けたさかで、記者が訪問した時は、內勤巡査總がかりで壁紙はりに夢中になつてゐた、大連あたりでは一寸想像も及ばぬことであらう

▽……△

殊にひどいのは承徳で、領事分館の一室、といつても天井の低い支那家屋の十疊程の部屋に、十名餘りの內勤巡査が、例の棺桶をこわして造つた椅子を並べて執務してゐた、それはまだ好いとして官舍がないので宿屋に下宿して小さな部屋に巡査も監督者も雜魚寢の有樣、目下滿鐵の官舍を見つけたので改築中だと聞いてその現場に行つて見ると、成程大きな支那家屋だが、造作も何もなく、巡査が古煉瓦を運んだり、泥を煉つたり大騷ぎだ、大きな簽に腰を下して署員の左官振りを眺めてゐる、シヤツ一枚の門脇署長を見つけ出したので挨拶すると

ヤア……今井戸を掘つてゐるよ三十二尺ほど掘つたが、まだいゝ水が出ない、困るよ水には、部下を病氣にでもさせては大變だからねエ……

と深い穴へ記者を案內する、署長自ら井戸掘り……知らず知らず記者の目頭はあつくなつた

▽……△

だが派遣警察官は何れも元氣だ居留邦人の保護に當ると同時に、わが軍部と連絡、或る時は市街の大搜索を行ひ、或る時は討伐に出動する等、寸暇も惜まず活躍を續けてゐる、文字通りの第一線に立つて重き使命の下に活動するわが派遣警察官の努力が、熱河發達の大きな基礎となることを記者は信じて疑はない……（寫眞は官舍を改築中の承徳分署員）

日米戰爭論は新聞が作り上げた
ス海軍長官語る

【ホノルル六日發國通】ハワイ視察の米海軍省スワンソン長官は新聞記者に對し左の如く語る

若し米國とアジアの一國が戰爭する場合在米のその國民が正しい行動をすれば充分保護するが變な事をすれば斷乎たる處置をとるべし、日米戰爭は新聞がでつち上げたものだ、然し余は世界平和のため眞珠灣軍港に全米艦隊を收容出來るやうに擴張したいが財政が今の所許さぬ

石井子首相と會談

【東京特電六日發】歸朝せる石井菊次郎子は直に首相、外相に會議の經過を報告すると共にアメリカ訪問の際ルーズヴエルト大統領との會見の結果に基く日米仲裁々判條約締結の急務を進言すると解せらるゝが、廣田外相も兩國の安全關係を確立すべき基準の必要を感じて居るので日米安全協定問題が又再燃する情勢にあるが政府の議が決定する迄には多少の曲折を免れないと見られてゐる

石井全權談

【東京六日發國通】本日入京した石井全權は左の如く語る

日米關係は良くないやうだが兩國民がどんな問題が前途にあつても戰爭はやらぬとの建前を以つて進めば國交の改善は出來ると思ふ、僕個人の考へでは日米仲裁々判條約等もその一方法だらう、ヨーロッパ等ではこんなに不景氣では太平洋に戰爭でもあつてくれゝばよい、其の間に兩國關係の市場を奪取しようと云ふやうなことを望んでゐる國が澤山あるが我等は他國に乘ぜられぬやうにせねばならぬ

愈々建艦競爭時代へ

米國一萬噸級巡洋艦第十三番艦として去る九月六日フィラデルフィヤ造船所で進水した「ミネアポリス號」全長五七八呎、八吋砲九門を搭載する新鋭艦です

英保守黨大會で軍擴方針强調
造船、兵器廠活況

【東京特電七日發】ロンドン六日發電によれば國際不安と各國の軍擴熱に煽られてイギリスの保守黨は五日バーミンガムの大會においてチヤアチル卿の提議によりイギリスの國防缺陷は憂慮に堪へずとて軍國主義を高調し軍縮會議を盛んに攻擊した、議會に絕對勢力を有する保守黨のこの態度は政府を左右するものでイギリスの軍擴はすでに實質的に進行し造艦造兵器廠はとみに活氣を呈しつゝある（寫眞はチヤアチル卿）

戰車聯隊の在營年限

【東京六日發國通】六日の定例閣議で陸軍兵種變更の件に關する勅令が決定されたが右は今回の兵備改善により戰車聯隊が增設されたゝめこれに關する規定であつて戰車隊在營年限は他の特科隊と同樣二ケ年である

北鐵讓渡交涉
ソ側列國の輿論に問ふ

北滿鐵路讓渡交涉は去る九月二十九日滿洲國側杉原事務官とソウエート側ジエレズニヤコフ總領事との中間私的會談に於ても交涉促進の要素ともなるべき何物もなく、其後の兩國代表部間の空氣は少しも緩和されてゐないばかりかソ聯は北鐵現地の事態に刺戟されて益々當分妥協の域を脫し得ないものゝ如く、昨今ソ側は本國と相呼應して對滿關係につき諸外國の輿論に訴ふべく奔走中でソ聯代表部は連日在京關係列國外交團との間に意見交換を行つてゐる

內滿夜間飛行
一寸待て！
來月一日實施疑問

【東京特電六日發】內地と鮮滿間の航空路を短縮すべき夜間飛行が十一月一日より開始の豫定のところ、此程試驗飛行の結果事故續出しなほ充分のテストと設備が完成せねば實施困難といふ意見が有力となつた、卽ち照明設備氣象通報の完備大阪飛行場の移轉改造等が必要とされ十一月一日からの實施は疑問視されてゐる

ロボツトだつた救國の英雄
馬占山後援會遂に醜狀暴露

【新京六日發國通】僞英雄馬占山及び李杜の昨今は華やかなりし昔日の面影なく國民政府の冷遇に悶々の日を送つてゐるが、最近の上海電報は事變當時同人等を救國の英雄として讚仰し、支那民衆から多額の義捐金を募集した所謂救國義勇軍後援會なるものがインチキ的存在であつて、馬占山等は此等の私腹を肥すため抗日戰線に躍つたロボットに過ぎすと報じてゐる卽ち

馬占山 彼の許に送られた義捐金總額は二千萬元の巨額に達し、上海のみで四百萬元といはれてゐたが、彼が上海に上陸した時實際受領した額は百七十萬元に過ぎずと發表したことから民衆は極度に憤慨し、若しそれが眞實ならば募集の衝に當つた後援會幹部が着服したに違ひないと、去る八月一日上海市商務會、總工會、市民聯合會以下の各團體は聯合して救國義捐金調查委員會を組織し、前記金額の行方を糾明する事を決議し、後援會に對し義捐金收支帳簿を至急提出せよと迫つたが今以つて判明しない

李杜 李杜は曩に彼のために義捐金募集に奔走した義勇軍後援會長朱慶瀾に對し八月十一日公開狀を發し朱の取扱つた義捐金の使途につき說明を要求したが朱は直ちに詳細な反駁電報を公表した、これにつき前記調查委員會は朱が收支決算の帳簿を提出せざる故を以つて法院に向け朱の檢擧を要求したが、最近の支那紙は何れもこの間の事情を大々的に報じインチキ振りをこつぴどくやつつけてゐるが、此等は何れも抗日反滿團體の裏面を暴露した一端に過ぎず全支民衆は彼等の馬脚を徹底的に暴露すると敦圍いてゐる

長城線五口問題
と協定地區剿匪問題解決か
―天津大公報所報―

【天津六日發國通】本朝の大公報によれば非武裝地區保安隊問題並に長城五口問題については喜多大佐と黃郛との間に會議の結果大體
一、問題となつてゐた支那側保安隊の非戰區剿匪繼續を認める
二、喜峰、冷口、界嶺、古北、山海關の五口は支那側に接收せしむる
ことに決したと報じてゐる

陸相宇都宮へ

【宇都宮七日發國通】荒木陸相は七日午前宇都宮に到着多數官民の盛んな歡迎を受けた後宇都宮師團留守隊を視察した後衛戍病院に收容されてゐる滿洲事變の傷病兵を見舞ひ午後は當市に於ける國防協會發會式に臨み非常時局に關する講演をなした

好轉せば增錘
紡聯關東側の態度

【東京六日發國通】關東側紡聯では明年一月以降操短率に對する意向はシムラ會商の情勢がまだ混沌としてゐるので今少し推移を見て方針を決定すべく靜觀して居り同會商の成行が惡化するが如き場合は明年一二月の先綿出來なくても現狀通り押して操短緩和は困難とならうが若し會商が好轉するか或ひは輸出商團が現狀を維持出來る見込みある場合は現在品不足を續けてゐる有樣だから多少の增錘を必要とする意見が有力である

"不買"に怯える印度
關稅引下げを容認か

【シムラ六日發國通】日本代表部では五日紡績聯合會から從來印棉で紡いで來た十番手、八番手物を米棉ストリングミドリングだけで紡ぐこととし既に一月物まで米棉買付の約定が出來た內地市場は良好だとの入電あり、加ふるに今年度印棉、支那棉も避くがよい位に益々強氣となりじつくり腰を据ゑて交涉を續けてゐるが印棉不買の痛手により高率關稅により直接負傷を受ける紡績業者以外には早くも關稅引下げに關する日本代表部の要求を容れ印棉不買の決議の撤回を求めるのが得策だといふ現實に卽した穩健論が擡頭するに至つてゐる

社說

米穀政策と作付反別の制限
角を矯めて牛を殺す勿れ

米が餘るといふので、主務者では價格の調節を謀り、米の買上、籾の貯藏等の外作付反別の制限といふことを唱へる。數字の上から考へて、誠に合理的な政策の樣だが、死んだ數字を基礎にして、左樣なことがさう簡單に出來るものだらうかとは、誰しも思ひ及ぶ所である。植民地官廳の方面では、作付反別の割り當てに異議があるさうだが吾人の見る所では、割り當の問題よりも、もつと根本的な不都合があつて、恐らく實行困難なるべしと思つたことであつた。

◇

然るに最近傳ふる所によれば軍部方面から、重要な異論が出たといふ。國防の見地からであるが、その意は大略左の如きものであるらしい。平時に於て非常時の食糧問題を準備しておかねばならぬ。故に米穀の如きは相當多額を豫備しておく必要がある。實際の米穀のみならず、その本源たる米作耕地を愛護しておくことが必要である。耕地を愛護しておく必要あるのみならず、農村の米に對する耕作心を愛護しておく必要がある。

◇

今まで折角と米作の改良を謀り、耕地の開拓と改良とを謀り、漸く其の効果の顯はれた時に當つて、忽然として作付反別の制限を強制するが如きは、農村の士氣を一朝にして挫折せしむるものである。一旦有事の際に當りて直に米の不足に當面すべく國民總動員の必要ある時、耕地上の技術からも、耕作者の人數からも、俄に作付反別を增加することは出來ない。殊に農村士氣の頓挫を再び作興せんとするは尙更困難である。されば左樣な危險を冒すのは、今日の場合に極めて寒心すべきである。左樣なことをするとも一方では籾にて貯藏し、一方では之れをアルコール化してガソリン代用と爲す方法もあるのだから、左樣な危險な政策を執る必要はないといふのである。

◇

以上は、一部は傳へられた處であり、一部は吾人の推測する所であつて、しかも未だ軍部方面から閣議席上にて意見の開陳があつたとも聞かないが、此の主張には頗る考慮すべき點ありと思はれる。上述の考へ方は單に國防的見地からといふばかりでなく、米が國民の主要食料だといふ點から、平時の米穀統制政策から考慮しても矢張り同樣な意見が立てられる。米穀の生産、消費、配給に關して國家的統制政策の必要なるはいふまでもないが、その統制策たるや目先勘定であつてはならぬ。

◇

一、我政府では、早くから人口の增加に伴ひて米の生産が足らぬといふので産米の奬勵政策を樹て、府縣農事試驗場で研究した農耕法を一般に普及し、その爲めには各種の奬勵法を行ふは勿論、可なり強制的の手段をも執つた。尙植民地に米作の奬勵を實行する等、增産政策は多年に至つて殆ど徹底的だつた。その結果が漸く現はれて、多少の天候不良にも餘り怖れぬやうになり、しかも良天候の年も續くので、近年の剩餘米問題を生ずるに至つたのである。併しながら今後天候不良の年がいつ來るか、又は何年續くかも分らぬ。米が無くなると、國民一般の心の持方次第では、俄然、消費度を高めることもあり得る。又數字に表はれた統計は必ずしも絶對に信を置き難き性質のものでもある。かたぐ、今俄に耕地を制限したり、農人の士氣を挫折せしむる如き政策を執るは極めて危險であるといはねばならぬ。況んや一朝有事の際を思へば尙更の事だ。

◇

恐らくは目先勘定に走ることなく、專ら貯藏の奬勵、買上政策、肥料の配給、副業の研究、租稅、さては液化の新研究等其他の堅實な方法によりて人心の自然的作用によりて生産消費が圓滑に行はるゝ方法を執るが妥當と考へられる。徒らに統制の美名に醉ひ、角を矯めて牛を殺す方法は、唯り米穀問題に限らず他のすべての問題に關しても避けねばならぬ。現在五・一五事件の補被告は農人がすべて商人になり、眞の農人は我邦に一人もないとまで激語してゐる。吾人の見る所にては、商人よりも寧ろ相場師になつてゐるのが多いやうだ。自然に然らざるを得ざるに至るので、畢竟其の罪は米穀政策の不安當なるによる。一時を糊塗するやうな政策は問題の解決にならずして却つて危險である。もつと根本的に講究されねばならぬ。

滿鐵の移民策
純農第一主義に轉向
大連農事會社更生案未だし

大連農事會社の更生問題は數年來の懸案で昨年秋も會社側より滿鐵本社に對し對案を提出したが愼重審議することとして返戻され、會社當局は更に今春來立案に專心し最近新に案を具して滿鐵の承認を求めて來た、新更生案は一方は窮境にある會社そのものゝ建直しと共に他方明春

目指す

早々第二次移民を會社所有地に入植せしめんとするものであるが、これに對し滿鐵監理課より會社當局に意見を傳ふるところあり、會社側も更に愼重に案を練つて最後案として近く改めて滿鐵に提出する筈で他方滿鐵では谷川監理課長は各地に散在する農事會社所有地を逐次實地檢分中であり今年こそは何らかの解決案に達するものと信ぜられて居る

大連農事會社は山本条太郎總裁の高遠な理想に據つて設立されたもので一千萬圓（五百萬圓拂込）の資本金をもつて州内の土地四千町歩を買入れ第一次移民六十餘名を入れたものであるが

州内不適地

なあまり高價に買入れた嫌ひあるため忽ち經營の基礎に缺陷を生じ、さらに一部移民の選擇を誤つたゝめに會社と移民との間に屢々忌まはしき論爭を生ずるなど二重の難關に逢着するに至つた、しかし山本總裁當時の狀況においては州外に土地を買入れることは不可能であり已むを得ず無理をして州内の土地を買入れざるを得ないやうな立場にあつたので事變前ならばたとひ苦境にあるも事業を進行せしむる上において意義があつたが、事變後は邦農移住の適地を無償もしくは極めて安價に北滿方面に得られるため、これ以上に大連農事會社に犧牲を拂ふことの可否が論議さるる有樣となり一時は

東亞勸業に

合併すべしとの意見をすら生じ大連農事の影は極めて薄くなつてゐた故に今日においても滿鐵があまり多くの負擔をなさねばならぬごとき改革案は實現甚だ覺束なき有樣であるが農業經營には現在の地價があまりに高いことは事實だから何らかの是正を行つて現在の移民の土地獲得をより容易ならしむることゝなるべく反面今後の移民は純農第一主義をとつて嚴重な詮衡をなさんとする方針に出るらしいいづれにせよ農事會社更生案が滿鐵重役會議を通過するまでには相當の迂餘曲折を免れざる模樣だが、あまり遷延すると

來春も

再び移民募集が不可能となるので會社當局も對案の作製を急いでゐる

穀倉地帶を見舞ふ
豐作飢饉へ對策
泣き笑ひの黑龍江省

【奉天電話】チチハルを中心とし克山、呼海、海倫、嫩江一帶黑龍江省の穀倉地帶も本年の豐作飢饉で農民に生色あり近く各縣商務會が克山で聯合會を開催し大豆その他の特産に對する對策を研究し政府の救助を得る目的であるが永井黑龍江省總務廳長も農村救濟策については頭を惱ましてゐる、若しこれが對策の講ぜられないときは省財政に影響するところなく目下研究中であるが最善の方法として各農村に共同販賣を目的とした組合を組織せしめ特産商の市價獨占の危險を防ぐ方法もまた一つの對策であるとの意見あり、同地方を視察し五日歸奉した日滿貿易商品陳列館矢部氏は語る

全滿的特に穀倉地帶と目されてゐる呼海、齊克沿線の農村は青田賣買の禁止、中央銀行實業局の特産政策から豐作ではあるが金融の途はつかず困つてゐるらしいが急場に迫つた問題であつて今更論議してゐる時代ではないから農村救濟としては購買組合を組織し豐作による市價の維持策として中央から低利資金を受け輸出組合をもつて共同の利益をあげさせたいと思つた

防穀令解除
黑龍江省

【チチハル七日發國通】黑龍江省においては北滿水災により農耕地の大部分は浸水し省内の食糧は極度に缺乏を來した爲め省當局は民食維持の爲め本年一月十日附を以て高粱、玉蜀黍、稗等の省外輸出を禁止して居たが、本年は各農作……

再燃せる米國の
蘇聯承認論
（下）贊否兩論の根據

斯くの如く承認反對說も可成り強硬なものがあるが、ルーズヴェルト政府自身は果して如何なる意向を持つてゐるか

最近大統領側近の某外交顧問の漏らした所によるとソウエート聯邦承認は純然たる行政行爲で全然大統領の權限內の事項であるが議會における反ソウエート分子の反對を慎れて次期議會迄に手取り早く承認を決行する意向であるといふ

右の眞意の程は測り兼ねるが然しルーズヴェルト大統領としては通商關係の促進には非常な關心を示して居り、これが延いて承認にまで發展すべき可能性は多い、卽ち去る二十日農業金融統制局長官ヘンリー・モルゲンソー氏を對蘇通商交涉委員長に任命してアメリカよりの對蘇輸出促進の具體案を審議させるに決定した、一方例の復興金融會社は去る七月の棉花クレヂットに引續き最近第二次クレヂット協議を進めてゐる、その內容は大體アメリカより棉花、銅、アルミニユーム等を輸出して五千萬乃至七千五百萬ドルのクレヂットを與へ、之に對しロシア側はマンガン、プラチナ、毛皮、木材、パルプ、無煙炭等をアメリカへ輸出しその賣上によつて決濟せんとしてゐるといふ

又承認問題に對するソウエート側の態度に就ては最近のロシア新聞も餘りはつきりした見解は述べてゐないが、「モスクワ新聞」によると元來各國の承認を得ることはソウエート聯邦外交政策の重要使命の一であり、モスクワ官邊においても相當好感を以て迎へられてゐるらしい

以上の如く承認の氣運は可熟しつゝあるが、その實現迄に尙ほ相當の紆餘曲折が豫想されるロシア舊債務はアメリカ外交政策……

航空會社の發展振り
陣容漸く整ふ

【奉天電話】滿洲航空會社は呱々の聲をあげてから滿一周年餘になるが最初旅客機としては僅かに八臺ばかりであつたものが現在は既に三十七、八臺を有するにいたり滿洲の全空を飛翔しない地方はなく一ケ年飛行メートルが六百四十七萬キロに達し地球を六回以上飛行した記錄を示してゐる、特に熱河の征戰には始めて食糧藥品の品物の輸送と重傷者の後送に成功し旅客輸送機としての性能を充分に發揮した外北滿の水害と大森林の調査に當りては豫期以上の功績をあげ飛機による科學的調査に一新紀元を劃するにいたり三角地帶に熱河に空前の交通路を開拓し、第一線の皇軍につくした功績はまた偉大なものであつた、しかも五日には滿洲で最初の處女製作機滿航式二臺の進空式を擧行し名實ともに航空會社としての重大責務を果しつゝあるがやがて滿洲の航空網の完成に伴ひ極東における航空路の開拓に着手しソウエート聯邦との飛行連絡によつて歐亞を繋ぐ航空路の建設に着々その方針を進めつゝあり、優秀なる旅客機……

電々社員の不安
遞信系社員生

◇我々は遞信部內から官吏の諸權益を捨て電々會社入を餘儀なくされた者であるが、創立後四十日に垂んとする今日、未だに給與規定の發表を見ないのみならず、未だ辭令さへ交付されず、從業員の不安はその極に達して居る。

內地人口自然增加
昭和七年中百萬突破
（詳報）內閣統計局發表

【東京特電六日發】昭和七年度における內地人口動態についてその要領は既報したがこゝには全文を掲げる、內閣統計局から左のごとく發表された

昨昭和七年內地における出生、死亡については四半期ごとにその概要を發表したが今回同年中の人口動態に關する全部の數字がまとまつたのでこゝにその概要を發表して一般の參考に供する次第である

一、**婚姻**　婚姻件數は五十一萬五千二百七十件、人口一千に對する割合は七・七七であつて前年に比較すると實數において一萬八千六百九十六件、割合において〇・一七を增加した、既往において婚姻率の最も高かつたのは大正九年の九・七六であつて自後漸減の傾向を示してゐたが本年は上記の如くやゝ增加を示してゐる、重なる諸國における最近の婚姻率と比較するとベルギー、デンマーク、ドイツ、スイス等がわが國よりやゝ高くイングランド、ウエールス、佛國がわが國に等しいのを除いてはいづれもわが國より低い

二、**離婚**　離婚件數は五萬一千四百三十七件、人口一千に對する割合は〇・七八であつて前年に比較すると實數において八百二十八件割合において〇・〇一を增加した離婚率を既往について見ると大體漸減の傾向にあるが重なる諸國における最近のそれと比較するとオーストリアがわが國よりやゝ高くスイスがわが國に近似してゐるのを除いては何れもわが國より低い

三、**出生**　出生總數は二百十八萬二千七百四十二人、平均一日の出生は五千九百六十四人であつて、人口千に對する割合は三二・九二である、これを前年に比較すると實數において七萬九千九百五十八人、割合において〇・七五を增加した、既往において出生率の最も高かつたのは大正九年の三六・一九であつて自後はこの率におよぶ年なく一高一低しつゝ僅少ながらも低下せんとする趨勢を示してゐる重なる諸國における最近の出生率……

六、**自然增加**　出生死亡の差卽ち人口の自然增加は百萬七千三百九十八人平均一日の自然增加は二千七百五十二人であつて昨年中に岩手縣における推定人口百萬五千百人より更に多い人口の增加を見た譯である、これを前年に比較すると十四萬五千五百五人の增加であつて人口千に對する割合は一五・二〇にあたり前年より二・〇一の增加である、これは出生の增加、死亡の減少の二つの事實に基づくものである、既往における人口の自然增加は日露戰役および大正七、八年の流行性感冒のため一時的減少を見たほかは大體において漸增の傾向をたどり大正十五年（昭和元年）には九十四萬餘人といふ多數の增加を示した、しかして昭和二年以降は年により一高一低の狀態にあつたが本年は遂に上記の如く百萬を突破するに至つた、なほ自然增加率について見るに既往において最も高かつたのは大正十五年（昭和元年）の人口千につき一……

高等師範學校
滿洲國建設を目論む

【新京電話】滿洲國教育大綱たる實質的な生きた人間を養成すべく文教部では近く滿洲最初の高等師範學校を設立することゝなり二月取り敢す第一回生として募集五十名を募集假校舍として奉天舊東北大學校舍を利用することに決定した、同校は修業年限三年で所謂日本式な學究的な傾向を避け飽まで實質的な人間の養成に力を注ぐ筈で校舍は旣に南嶺に……

滿鐵辭令（七日）

人事

救療所增設
關東廳新事業

鳩通信所
佳木斯等に設置

北滿方面にデマ亂飛
赤宣傳文配布

市況（七日）

家庭

そろそろ必要な冬籠りの準備

滿洲も年々暖かくなつて來ますが今年の如きは例外で十月一日迄の平均温度は二〇度で平年の十七度に比較して三度去年の十六度に比べて四度高く、十月の最高温度は二六、七で普通なら九月の中頃の最高温度です、夜間も本年は十五、六度で去年の十一度に比べると大分差がありますが、さすがに昨日今日邊りから寒さが感じられるやうになり、冬籠りの準備が必要になつて來てそろそろ煖房の用意がとゝのへられつゝあります。

人氣者"石炭"の登場

一年にどれ程消費するか?

この冬籠りに必要な大連市内の石炭の消費量を調べてみますと、昨年度は實に四十九萬三千噸でその内家事用として二十三萬五千噸が消費され二十五萬八千噸が工業用として消費されてゐます、八年度上半期には二十一萬四千噸で前年に比し四萬一千噸の増加を示してゐます、寒温の影響によつて約三〇パーセント位の差異はあるとこです、ではこの石炭の相場は最近における一噸當りの値段を調べて見ますと

塊炭一三圓、A塊炭一二圓、中塊炭一三圓、切込炭一一圓、特粉炭、並粉炭一〇圓、煉炭一四圓

程度で今冬も値段には餘り大きな變化はないやうです(滿鐵本社商事部販賣所長談)

石炭の焚き方

滿鐵商事部販賣所 加藤所長談

時節柄モ少し家庭燃料に對する研究が必要と思はれます燃料節約に效果あらしめるためには石炭の種類と煖房の關係を充分考へる必要がある、石炭は火附きのいゝ撫順炭、固く煉のある炭(撫順東部炭田)或は特に煙の少い炭、無煙、半無煙等あるが、ペーチカのやうに熱を吸收して輻射するやうなものは燃え易い最物(撫順炭)をくべ、炎焼を行きわたらせ早くダンパーを閉めた方がいゝのだが、市場では反對に火もちのよい煉炭其他がよいと傳へられてゐるが火附が悪いものはボデーが暖まりにくゝその間ダンパーをあけて置くから火が逃げてしまふ、それと反對に新式の各種煖房には煉炭がよい七年度市場の要求は煉炭であつたが出來が悪く、粉分が充分抜けてゐなかつたので固くて煉りもあり火もちもよく經濟だが煖房にれりがついたりして具合が悪かつたが本年はよくなつてゐる、大きな建物には切込炭や塊炭類を使用するのは燃料選擇の見地から不經濟で煖房の火床を改造して粉炭を使用するのが一番よく暖かくて且經濟的だ、粉炭はたき方と用具如何でやすくて消費量も少なく且つ何時もやかましくいはれる煤煙防止空中淨化にも大いに效果がある

家庭への痛手

今年はストーブが高い　原料高で飛上る

そろそろストーブの用意が必要となります、家庭の便宜を計る滿日事業部主催恒例のストーブ展覧會も愈々來る十五日から三日間大連民政署横の空地で開かれますが、今年のストーブの新型お値段を總體的に調べて見ることにしました

今年は鐵の原料高で四割高の噂もありますが、大連市場のお値段?原地では相當な高値になつてゐますが、こちらではストーブの種類によつても異りますが先づ一割近くから三割高で二圓から十圓上りの狀態で滿洲の冬に缺かされぬストーブだけに今年新らしく購買する家庭には多大の痛手となつたわけです、お値段は今年は先づこれで落つき先上りとなる事はあるまいと見られてゐます、型の上では部分品が部分的に改正されて行く位でストーブによつては今年初めて炊事兼用のものができてゐます(昭和洋行主談)

卓上日誌

▲けふの運動會　旅順高等女學校(午前九時)旅順第一小學校(午前八時半)▲園藝即賣會　大連市社會館で千代田園藝社が庭園樹、苗、盆栽萬年青、蘭の大即賣會をやつてゐます(十日まで)▲沙河口青訓　八日午前八時から春日池射撃場で射撃大會を開く

臺所用具のお手入れ

(二)鍋類

お鍋は洗つて水氣を切つたら必ず布巾でふいて置くこと、油物を煮たあとは使用後直ぐお湯を煮立てゝ置いて石鹸と磨粉で洗ひます、鋼の屑で出來てゐるワイヤ、クレンザー類なら更によく落ちます、又銅鍋は後始末が悪いと、酸化して綠青を生じますから、使つたあとは直ぐ他の器に移すこと、鐵鍋は芋類のやうな澱粉質のものを煮た後では冷水につけて下さい、次にアルミの鍋は、質が軟かですからソーダで煮たり固い束子で磨粉をつけてこすつたりすると表面にきずがついたり色が變つたりしますから、へちまに糠をつけて洗ふとよろしい、お米のとぎ水で洗つてもよく、クレンザーでもよく落ちます、アルミの鍋も酢氣や鹽氣をきらひますから、酢を入れたものを煮るには瀬戸引鍋をお使ひ下さい、瀬戸引鍋は新しいうちに水一合に酢と食鹽を大匙一杯位づゝの割に加へて鍋いつぱいに入れ二三度煮たゝせてから洗つて使ふと琺瑯質から出る毒を消しますから安心です、瀬戸引鍋もあまりよくこすつて洗ふのは禁物で、軟かい束子かへちまなどにクレンザーか粉石鹸をつけて洗ひます

家庭のメモ

・・・フエルトの汚れは・・・

フエルトの汚れは澱粉をびたびたに水で溶いたのをつけ、それが乾くのを待つてブラシでこすります。

・・・お醤油のシミ落し・・・

お醤油のシミは直ぐ洗ふと落ちるが更に薄いアンモニヤを落した水ならなほよい。

"凱旋兵士を迎ふ"

前島いづみ

礦なる靴の歩みよ凱旋のつは者迎ふ日照の旗
山麓秋清らなりその胸に桂折り得し軍びと來ぬ
その思ひ遠ふる國にかけりてむ今し迎ふる勝ちいくさ人
北滿に擦擄匪賊くさぐさの禍ひしきけむそがもろの腕
皇國まもる重き任務ないさ輕くいのち捧げしこれのますら男

東洋第一の天體望遠鏡

最近南京に設置された東洋一ツアイス製天體反射望遠鏡は直接觀測に非常に便利で殊に天體寫眞撮影などの夜間操作に際してはその巧妙なる電氣裝置によつて移動し長時間の露出中に望遠鏡の視野中に現れる天體の位置が絶對狂はない相である、又觀測者は作業中自分の位置を動く必要なく下部にあるボタン一つ押せば電氣裝置によつて望遠鏡は自由自在に動く仕組になつてゐる、紫金山上天文臺はこの望遠鏡設置により東洋はいふに及ばず世界天文學界に貢獻すること大ならんと各方面より期待されてゐる、なほこの鏡はツカール・ツアイス社の製作にかゝるもので同社總代理店大連市敷島町四九(五品ビル)カーロウキッツ商會の姉妹社上海カーロウキッツ商會の納入したものであると

"獵人問語" 八木氏の近著

正隆銀行爲替課長八木虎之助氏の近著「獵人問語」は趣味の獵人としての著者が廣く山野を跋渉し、狩獵に關する興趣を手記せるもので「秋晴」以下三十數篇を収め、その清新なる大陸の自然描寫はツルゲネーフの「獵人日記」を憶はするものがあります、新涼燈下の讀物として一般に推薦するに足る良書です、滿書堂で發行、定價七十錢です

家庭顧問

亡父の貸金を整理したい

【問】御多忙中御面倒な事を御伺ひ申します、實は昭和二年十月頃亡父から或人に保證人連帶にて少し金を貸出して居りました處が父は昭和五年に死亡致しました故其後今日まで放任して居りましたが此際貸借一切整理したいと思ひますが如何なる方法が一番好都合であるか御教授願ひます、尙先方は現在支拂出來得る可能性は充分にあります且又亡父宛の連帶證書はあります(債權者より)

請求出來るが時效に注意なさい

【答】貴下が相續人であるならば貴下は借主及連帶保證人に對して何時でも辨濟を求められますしかし商業上の貸金ならば辨濟期日より五箇年にて又それ以外の普通の貸金ならば十箇年にて時效が完成しますから權利はこれによつて消滅することになります、相續後の財産整理に付ては往々にして相續人の知らない事實が後で發見せられてこれが爲めに相續人が不測の損害を蒙ることがありますから成るべく速かに辯護士に御相談なさることを御勸めします(寺島由松)

樂しい思出の記念

意味シンな新"夫婦指環"の出現!!

結婚指環流行調べ

幸福な將來のシムボルとして又樂しい思ひ出の記念として結婚になくてはならないのが結婚指環です……この結婚の指環も歐米ではエンゲージメントが成立した時の

婚約 指環と、いよいよ結婚式を擧げるといふ時の結婚指環と二通りになつてゐますが日本では一般には俗にいふカマボコの結婚指環だけを交換する習ひです、そのカマボコは普通の金指環とちがつて十八金を用ひ、繼目のないものが縁起をよろこばれてゐます稀に結婚に因んだカンランの葉、オレンヂの花、忘れな草などをカマボコのまはりに纏む人もありますが多くは内側に自身の名と姓の頭字、結婚の年號を纏み込むだけで

歐米 のやうに「我が生命の終りまで」とか「靈の結合」といふやうな誓ひや愛の言葉を纏みこむのはごく一部のクリスチャン位に限られてゐます、カマボコも一頃のやうに二匁も三匁もあるやうな太いのは飽かれて極く普通なのはせいぜい一分巾位ですから指の細い人なら目方もやつと七、八分、指の太い新郎用のでも一匁をあまり出ますまい。從つて十八金で五圓から七圓位、この頃ではプラチナ(十五圓見當)や二十分の一カラット位のごく小粒のダイヤを一つはめこんだプラチナ(三十圓見當)もひろく用ひられてゐますが普通の繼目なしのカマボコに代つて最近眞ん中でピッシリと抱き合つて一見普通のカマボコですが離せば絡み合つて二つになる意味シンな

夫婦 指環といふ目新らしいものが出現しました、これならば合せ目に愛の言葉を彫込んでも人目に立たないでよいでせう、エンゲージメント・リングを双方から交換するのは日本ではほとんど稀で、唯男の側から婚約のしるしに或は結納品に添へて寶石入の指輪を相手に贈る風は年々盛んになつて來ました、この寶石は婚約者の幸福を祝するためその誕生石を選ぶのが普通です

即ち一月生れの女性には神秘的な燃ゆる愛と勝利者の權力をもたらすガーネットを、二月生れの女性には清らかな愛情のシムボルであるアメシストを、三月は聰明と沈着と勇氣を養ふブラッドストーン、四月は清浄無垢の平和の標章ダイヤモンド、五月は若々しく無窮廉潔の象徴エメラルド、六月は幸福と長壽をもたらす眞珠、七月は仁愛と威嚴のルビー、八月は眞夏の幸福サードニックス、九月は貞操と徳望のサファイヤ、十月は希望と潔白のオパール、十一月は眞の友愛と幸福をもたらすトパーズ、十二月は繁榮と成功のシムボル土耳古石を贈るのですところがこの從來の誕生石はあまり高價すぎたり

地味 すぎたりするのが多いので最近米國では新に合成石の誕生石が選定され世界的な流行を來してゐます

滿洲向の誕生石

新しく選ばれた十二種

滿洲では特に安價に手に入る寶石類がありますので今度滿洲向の新誕生石として次の十二種がえらばれることになりました

一月アレキサンドライト、二月バイオレットサファイヤ、三月ブリユースピネル、四月ホワイトサファイヤ、五月エメラルド、六月セイロンサファイヤ、七月ルビー、八月サードニックス(瑪瑙)九月サファイヤ、十月オパール、十一月トパース、十二月ジルコンサファイヤ(森洋行調べ)

ラヂオ　大連 JQAK

十月八日

▲午前六時　ラヂオ體操第二
▲午前六時卅分　ラヂオ體操第一
▲午前十時　レコード(コロンビア)
▲午前十一時五十分(新京より)講演「滿洲國警務機構」民政部警務司長長尾吉五郎
▲午後一時(京城より)ニュース野球試合實況(朝鮮龍山球場より中繼)滿倶對鮮鐵定期戰
▲午後三時三十分　ニュース
▲午後六時　ニュース、講演「女性の能力に就て」鈴木綾枝
▲午後六時三十分(東京より)舞臺劇(明治座より中繼)「美男鬘三勝半七」瀬戸英一作、場景一 柳橋梅川座敷の場二、笠屋三勝内の場三、同外の場(配役)蓑屋半七(片岡我童)雇女おひろ(鶴岡久子)娘分お末(片岡ひさし)娘お通(尾上菊枝)笠屋三勝(森律子)鶴亀昇(片岡松六)同(坂東田藏)藝者おさま(初瀬浪子)厚倉屋二郎兵衛(伊井友三郎)(小唄)春日とよ枡中春日とよ穂、春日とよ榮、春日とよ晴
▲午後七時四十五分(東京より)ピアノ獨奏(一)熱情(奏鳴曲)ベートーヴエン作曲、第一樂章アレグロ・アッサイ、第二樂章アンダンテ・コン・モト、第三樂章(終曲)アレグロ・マ・ノン・トロッポ(二)マヅルカ(變ロ長調)ショパン作曲(三)ポロネイズ(變ロ短調)ショパン作曲(四)「紡ぎ歌」メンデルスゾーン作曲(五)「カンパネラ」リスト作曲、イグナツ・フリードマン
▲午後八時三十一分　ニュース▲氣象通報

本社特選 新棋戰(其七)

平手　先六段△石井秀吉　六段▲石原勇吉

【圖は五七桂成迄の局面】△石井氏持駒銀香歩

△五七銀 ▲五五桂 △七六玉 ▲四三歩 △三二桂成 ▲同銀 △三四歩 ▲同龍 △四六桂 ▲四五龍 △三四香打

迄合計百七手にて石井氏の勝

土居八段總評 本局は双方相懸り模樣で堂々と對抗してゐたが此時石原君は俄に方針を變更し四四歩と突いて得意の持久戰の方針を執つた以下着々と駒組みを整へてゐたが、その時石原君は手詰りを避くる意味に七筋から開戰し轉じて五筋の戰ひとなつて活氣ある局面を現出した、中盤の形勢を窺ふに石井君は六六銀以下巧に敵の鋭鋒を避け有利の局面を展開してゐたが八七銀引不可の爲め些か形勢を損じた、しかし石原君に於ても八三飛の引き場所を誤り局面は混戰狀態となつた、この時石原君は形を整へつゝ徐ろに指すべきが至當なるを、三五角の淺薄な策を執り、續いて六四同歩の大悪手を演じ之が敗因となつたのは石原君としては不出來の棋戰であつた。

萩原七段解説 石原氏の四三歩は三三金と逃げては七三馬と寄られて悪いので四三歩と打つたのであるが、この局面では石井氏の玉が安全故最早見込みがないのである、石井氏三四歩と玉の逃げ道を防ぎ同龍、四六桂、三四香の順は當然の手であるが直接玉手くをせずに控へ目にかゝつて行くことは肝要な事である。

第廿九回 滿日特選碁戰

先々先先番　四段 中川新　三段 渡邊英夫

○一四四ヨ七 ●一四五ヨ五 ○一四六ヨ四 ●一四七カ五 ○一四八ワ五 ●一四九カ六 ○一五〇カ九 ●一五一カ七 ○一五二ヨ四 ●一五三ヨ八 ○一五四タ八 ●一五五レ十一 ○一五六タ十一 ●一五七ソ十一 ○一五八タ十二 ●一五九タ十 ○一六〇カ八 ●一六一ヨ十 ○一六二ワ七 ●一六三ヨ十一

—【9】—

解説 黒百四十九で百五十ならば百四十九から押へ黒(い)白(ろ)黒(は)白(に)黒(ほ)白(へ)黒(と)の時(ち)と振り替るのである

滿日各地版

召集規定の改正で間誤つく鄕軍
突如原隊の召集を受けて 歸れぬ悲喜劇續出

【奉天】從來內地に於て召集を受け現役兵で歸休兵となつて居た者は渡滿して在留屆を提出して置けば內地原隊の召集を受けなくても濟んだが本年六月二十日規定された陸軍省第廿一號により本年は內地原隊の召集を受ける事となり多數渡滿して居る歸休兵は突然原隊の召集に種々悲喜劇を演じて居る一昨年の召集を受け本年七月滿期歸休となつたもので將來の活舞臺を滿洲と定め着の身着のまゝ旅費だけ作つて來滿したものか奉天だけで三十餘名も居るがこれ等の歸休兵は內地において原隊の召集を受けなくて濟む手續をとり來滿したものが突然この召集を受くることなり然も旅費は貰へず懷中無一文で歸らうには歸れず何とかならぬものですかと毎日の樣に奉天署兵事係を訪れ泣きついてゐるので兵事係でも之に同情し出來るだけの方法を講じてゐる始末であるが中にはアンコロ店の店員として只喰べるだけの報酬を受け眞面目に働いて居る山田某は現役兵としてつとめて居る際小遣も使はず貯めて居た金が卅圓あるのがこの召集を受けてアンコロ店では旅費をくれず貯金の三十圓は動員の時使ふ金でこの旅費に使ふ金でないと係官を手古摺らせて居るのもあるかと思へば五日兵事係を訪れた二人のルンペンは

私達も召集を受けて居ますご覽の如く着のみ着のまゝです、旅費の出る所はありませんかどうしませうか

と屆け出て居るので係官も至急鄕里から旅費を送つてくれる樣に手續をなして居る有樣でかうした召集を受ける歸休兵の中には職には就かず旅費はなく困つて居る者が多數ある見込である

山城鎭日本小學校設立

【奉天】今春來計畫中だつた山城鎭日本人小學校新設については愈々此度海龍領事分館松浦副領事の盡力により滿鐵の後援を得て當地日本人居留民會の手により新設する事に決定し九月二十八日工事請負は室井千代吉氏に決定、同二十九日地鎭祭を行ひ愈々工事に着手したが落成期は十一月十日頃の豫定で十一月中には開校の運びに至る豫定である、場所は瀋海鐵路局の好意により北門外廣場を三千坪借用する事となつた、これで瀋海線唯一の日本人小學校が出來る譯であるが將來日本人居住者が增加するに連れて痛感された子弟教育の惱みも一掃される譯である

弓野力男氏

【チチハル】賜暇歸朝を命ぜられた前チチハル領事館警察署長弓野力男氏は二日午前八時チチハル驛發列車で日滿官民多數の見送を受けて離齊した

錦州居留民會

【錦州】錦州居留民會では六日午後三時より臨時民會を招集し議長、副議長および行政委員（十名）會計檢査委員（二名）の選擧を行つた

夏枯れ影響で收入が激減
昨年と比べば增收 九月中の鐵路總局收入

【奉天】鐵路總局の九月中總鐵道收入は三百五萬九千八百十九圓で前月の三百五十二萬八千二十八圓に比して四十六萬三千二百三圓卽ち約一割三分餘の激減である、これは夏枯の影響や特產物の出廻りが遲く、又匪賊跳梁期として一般に旅行及輸送の警戒されたによるものである、然し昨年同期の百四十萬二千五百七十九圓に比すれば百六十五萬七千二百四十圓卽ち一倍以上の增加を示して居る之を以てしても如何に滿鐵に委任されてから其の經營が躍進して居るかゞ想はれる尙本年九月の鐵道收入狀態を示せば

項目	數
乘客	五四〇、二五二人
運賃	一、〇一五、六七七圓
貨物	八一八、〇三〇噸
運賃	二、〇〇五、九五二圓
其他	三八、一四〇圓
計	三、〇五九、八一九圓

原始的な統制法で行動する熱河匪團
進路の決定は易で 支那正規軍より却て規則的

【奉天】數百名の團體をもつて部落から部落へと移動する匪賊團は部隊の統制も頗る嚴正で支那軍よりは反つて匪賊團の方が規則的な行動を行つてゐるがそれは團體を統率する頭目が絕對權力を持ち又その配下にある部下は絕對服從であたかも一家主義をもつて團體行動を取つてゐるのでその中でも熱河省內にある匪團は東邊道その他三角地帶の匪團と異り彼等は獨特の組織法をもつて團體行動が行はれてゐるが彼等が如何に組織立つた行動を行つてゐるかその一例を擧げると一團體中にはかならず喏柵子、當家白、戰、易者、橋查の五ツの部隊に分れてゐる卽ちその五分所は

一、當家白——頭目團體の統制に當る
二、戰——ボーイ
三、易者——先生と呼ばれその部隊の進路は易によつて定む
四、橋查——檢查をなす役

この外部隊移動中における分擔は

1、夜柵子——夜間宿營の時警戒の任につく
2、風柵子——晝間同上（夜柵子風柵子の兩者の指揮に當る者を水箱といふ）
3、先員子——移動の際警戒の任に當るこれを指揮する者を砲頭といふ
4、男柵子——男の人質監視役
5、女柵子——女の人質監視役

以上の如く彼等はこの役割によつて各自嚴格なる行動が行はれてゐるが中でも部隊の移動に際し先づ易によつてその方向を定むるが如きは如何にも滿洲式である

苦鬪の討匪から松山部隊歸る
金川地方の狀況を聞く

【奉天】木の枝に縛びつけた日章旗は討匪行の如何に苦戰であつたかを物語つて居る程白地が鼠色になつて居る——それを二本携へた名譽の松山〇隊長の指揮する鐵道守備の〇隊は小隊長山本博光氏の引率の下に勇ましく六日午後一時二十八分のはとで歸奉し直に二時の列車で原地新民に歸還したが隊長を始め將兵の顏は常駐地陣中の如何に苦鬪であつたかを窺ふ事の出來る、赤銅色にドス黑く光つて見え 軍服背囊〇隊將兵の毛布機具類は殆ど修理のいとまない忙しさを想はして居た山本隊長はそれでも部下を省みながら語る

七月上旬から約三ケ月間朝陽鎭方面から金川鎭南地方の匪賊討伐に當つて居たが事變當時の樣な政治的色彩をもつものは少くなり喰へぬから生活の爲になり下つて居るものが多いので續々歸順を願ひ出る者あり彼等は歸順をするから自警團にしてくれとか滿洲國軍に編入して欲しいとか色々な條件を持ち込みこちらとしては一寸困る事だが矢張り何とか生計のたち行く樣に考へてやりたいと思つた、以前は匪賊は武器としては紅槍位のものだつたが武器も相當に備へ拳銃或は長銃隊を組織して奇襲して來る分散常駐軍としてもまた油斷は出來ない

一番可哀さうなのは地方農民で我等が引揚げるといふのを聞いてどうかこの儘常駐して下さい、食糧品はわれわれが提供しますから——と軍を信頼する事は實に想像外で三ケ月間滯在して僻陬の山間地にも全部日本軍を慕ふ農民ばかりで彼等の駐屯してゐるため安全村となつた御禮から毎日色々の馬賊の動靜を敎へてくれるが片ッ端から討伐することは却々困難である、今度歸還する事になつた村では村長が泣いて引留めたが更替するのだといふことが判つてわれわれの引揚げる時には村外れまで感謝の見送りをした——

山本隊長の眼には感激の露が光つて居た、匪賊の危害から遁れた軍常駐地の村では日本軍を神の如く信頼して居る

北鮮鐵道沿線素描（4）
南陽の發展ぶり
滿鮮國境を繫ぐ要衝

△鍾城驛　線路は國際鐵橋より右折して陽山屯平野を望みつゝ進む、こゝは太古肅愼時代より女眞、李朝に至る迄數回に亘り諸民族の興亡去來せる地であつて、東には山岳を繞らし、西は豆滿江を隔てゝ間島、和龍縣に相對する國防警備の要衝として知られてゐる、人口五千三百餘、北鮮の古都である、鍾城硯は名物として一般に珍重さる、名所受降樓は今を距る四百餘年前邑の周圍に城壁を築き胡賊の襲來に備へて居つた時の望闕で城壁の中央にあり三層樓となり雷天閣と名付けて居たが後受降樓と改名したものである

△嶋岩驛　線路はこの附近では豆滿江岸を走り雄大な豆滿江の流水を賞することが出來る、こゝは人口稀薄な江岸の一寒村である

◇……◇

△潼關驛　豆滿江と東南に起伏する山岳との間に開けた平野に位し昔から江岸二十四鎭の一に數へられ約三百年前に築造せられた城壁の址を殘してゐる、現在人家二百四十戶、人口約一千六百八十名許りの部落で冬季出穀期には豆滿江結氷により氷上運搬の穀物奧地より牛馬車で多數搬出せられ沿線有數の出廻り高を示すに至つて居る

△水口浦驛　豆滿江を隔てゝ間島馬牌に對し三方嶮岨な山に圍まれた江岸の一小部落に過ぎず、人家百十戶餘を算するのみ

△江陽驛　線路は愈々豆滿江に近接し護岸擁壁又は水制蛇籠を設け山側の斷崖は切取を以て僅かに通じて居るを見る、爲めに附近は耕地少く住民は越江して耕作を營み生活を續ける狀態である

◇……◇

△南陽驛　間島を貫流する海蘭河、布爾哈通河、嘎呀河が豆滿江に合する處の三角洲に拓けた平野の一部西方に南陽がある、東北は屏風の樣に山を繞らし前方は豆滿江を隔てゝ滿洲國圖們（灰幕洞改稱）に對して居る、昨今まで人煙稀なる荒蕪地で住民の殆どは越江耕作に從事して居つたものであるが滿洲事變を契機として久しく懸案中の敦圖線が敦化より對岸圖們に出で國際鐵橋を介して聯絡することゝなり爲に工事關係者や內鮮人の移住者が急激に增加し一躍二千四百名の大都邑となり旅館、料理屋のみで數十軒に達する進展振りで市況頓に活氣を呈して居る豆滿江を挾んで對立する兩市街は從來渡船により交通して居つたが國際鐵橋完成により本年八月より一般に橋上通行を爲して居る南陽、圖們兩驛よりは相當距離があるので乘合自動車の運行により便利を圖ることになつて居る、待望中の敦圖線は敦化より朝陽川で南廻線と分れ間島の中福延吉を經て對岸圖們に出で國際鐵橋を介してこの南陽に連絡し既に營業を開始し近く淸津、新京間直通列車の北部國境驛になるのであるが將來雄津を終端港とする京圖北廻線は滿洲國の首都新京と雄基との間僅かに六百七十五粁餘內鮮滿を繫ぐ最捷徑路となつたもので日滿交通史上に一大革新を齎したものである、今後豐富なる北滿の物資は京圖線により內鮮方面に搬出せられ警備を兼ねた交通經濟軍事上幾多の重要なる役割を持つ線路の朝鮮側連絡驛として最も重要の位置を占めるにいたるものである

◇……◇

△豐利驛　三方山を以て繞らし西方のみ豆滿江に向け開けた江岸の一寒村で耕地に乏しく只上流約半里の地點に於て間島を沃流する海蘭河が豆滿江に合流してゐるので附近の江幅廣く奧地より流下する木材の陸揚場として好適の地と爲つてゐる

△世仙驛　豆滿江に臨む穩城平野にある、水利組合の水路は井然と附近を走り一帶美田を爲して居る

貴院議員滿洲視察團
六日奉天て

『朦朧女給』
浮草の如く流れ歩く彼女等に 奉天署の嚴重な彈壓

【奉天】人口增加に伴ふ奉天カフエー、飲食店の發展振りは素晴らしいものがあり新に現れるもの亦外にどのカフエーを見ても內部の改造をなし女給の增員を行ふなど好い景氣を煽つてゐるがこうした時期に乘じて他所より入りこみ無屆のまゝ女給、女中などして働き又他に移つては各所カフエー、飲食店を轉々し浮草の如く流れてゐるもの多數に上りしかもこれ等女給に限つて借金を未拂のまゝ姿を晦ましたり風紀を紊したりして營業主その他に迷惑をかけることが多大であるのみか善良なる同業に對しても惡影響を及ぼすことが多いので奉天署保安係ではこれ等不良分子を一掃するため無屆女給の嚴重な取締りを行つてゐるが、近頃この網を潛つてひそかに働いてゐる女給が增加して來たので更に嚴密な調査を行ひ無屆女給の徹底的取締りを行ふこととなつた、この網に引掛るものが多數に上るであらうと

青訓の查閱
廿日營口で

【營口】關東軍司令部では全滿各地の青年訓練昭和八年度の查閱施行さるが當營口では十月二十日午前八時より營口小學校で現在生徒三十五名の查閱を執行される、尙查閱官は關東軍司令部付陸軍少佐石川忠夫氏である查閱當日は在鄕軍人青訓後援會市有志その他一般は成るべく繰合せ多數の參列方を望んでゐる

金州署員九名滿洲國へ

【金州】當地警察署員で滿洲國に就任するため豫て辭表提出中であつた左記九名は愈々今回依願免官となつた

警部補警務主任佐藤敬治、同高等主任眞田文門、巡查田中二男、同竹內元藏、同東緋義、同柿谷吾一、同柳博、同谷口覺三、同下重壽

官金橫領說は事實無根

【新京】通遼軍政部經理課囑託米田寬氏に對し一部方面に官金一萬五千圓を橫領したとの噂があつたが調査の結果事實無根と判明し米田囑託は勿論軍政部も迷惑を感じてゐる右に就いて軍政部當局は

米田囑託に對し官金橫領の噂があるが事實無根である大金が軍政部に保持せられる事は絕無とも云ふべく噂の如き大金橫領の機會は有り得ない米田囑託が憲兵の取調云々も無根であつて日系官吏の立場服務なりを困難に導くが如きデマに對して愼重なる態度をとられん事を一般に希望する

と述べてゐる

旅順放送

▲旅順警察署では五日署報を以て左の如く發表された
部長波多野利作金州へ▲甲斐米藏退職▲部長谷部孝助善通寺動警務へ▲長谷部兼千代內派出所へ▲橫馬場藤一鮫島町派出所へ▲吉田清一十年町派出所へ▲柳瀨正敏公主嶺へ▲岡部正次安東へ▲永井熊太郎今吉釣二本署內勤へ▲有友茂生留置場へ▲門屋忠太郎日本橋へ
右の他中山文吾、岡部巖、內山槇吉、坂田享、淸井潤、田淵富重、小林源一、永尾義信の八巡查は今回新たに旅順署勤務を命ぜられた
▲ハルビン赤十字に轉勤した駒川潤氏は三十日附在旅各方面へ在任中の挨拶狀を寄せた
▲沙河口警察署長鷹石氏は五日午後一時自宅より自動車にて出發赴任した
▲常盤町四　高畠又市氏方では二十二日長女和子さんが出生
▲中村町一二ノ三　池田敬一氏方では二十四日三女倫子さん同上
▲伊地知町二三　森本敏雄氏方では二十一日次女操さんが同上

營口小學校も參加
南部體育會研究會競技

【營口】十月八日大石橋小學校で擧行される遼陽以南瓦房店までの第一區聯合教育研究會の競技は營口小學校よりも尋常五六年生が參加する事とて出場選手は日々猛練習を續けてゐる、尙當日は午前七時發列車にて大石橋に出向くと

松樹地委選擧當選者

【瓦房店】松樹地方委員選擧は十月五日午前八時より開票、當選の榮冠者左の如し

得票	氏名
三八	孫萬壽
二〇	劉貴德
一四	任濟三
一三	山路猶龍
八	東慶太郎
六	杉原武次郎
豫備委員	徐德金

各地片々

◇開原　開原電氣株式會社は十月五日午後六時電氣週間も有効に完了したので直接電氣事業に關係深き方面の人々數十名を料亭二葉に招じ座談會を開催し續て平素の援助を謝し其勞を慰むるため晩餐を饗した
◇開原　開原縣西豐縣の兩縣並參事官は十月五日午後五時宴席を料亭ニコニコに設け騎兵大隊長、飯田開原守備隊長外幹部、田中憲兵隊長外幹部、加藤署長、驛長、在鄕軍人分會長、佐竹協和會辦事處副處長を招じ盛宴を催ほし治安維持に對し軍部の絕大なる援助を衷心より感謝した
◇開原　騎兵第五大隊長は十月五日正午開原、西豐兩縣の日滿官民、憲兵、加藤警察署長、島所長、驛長、佐竹協和會辦事處主事等を驛食堂に招じ八棵樹事件に關し援助の厚意を謝し盛大なる午餐會を催ほした
◇營口　營口稅關にては來る十六日は孔誕に相當する爲め休廳す旨告示第三十九號松原稅關長名を以て發表した
◇錦州　錦州居留民會の議員選擧は一日を期して行はれ既報の顏觸れ三十名當選したがこれを年齡より見ると最高は六十五歲で田中杉夫君、最低は二十七歲で寺島克次郎君でこの平均年齡は三十七歲であると
◇錦州　日本製藥會社は錦縣第六區平山子に約三百町歩の土地を買占め日本人農家十戶を移住せしめ藥草栽培を行ふべく計畫し目下縣公署と折衝中
◇奉天　北陵に新裝成つた國立奉天賽馬場において來る十三日から六日間國際競馬が開催されるのでファンから期待されて居るが同賽馬場高野氏等は五日午後六時新聞通信記者を公記飯店に招待し披露宴を催した
◇安東　九月中に安東を通過滿洲に入つた觀察又は皇軍慰問の團體數は九十二、人員四〇一九に達した
◇開原　島開原地方事務所長は六日午後六時新舊地方委員並各區區長を料亭二葉に招じ盛宴を催す由である
◇奉天　新任奉天鐵道事務所長白井喜一氏は三日午後六時から萬屋に在奉新聞記者團を招待し一夕の懇親宴を催したが白井所長は奉天在勤はこれで三回目で滿洲事變來各方面とも變化し房御花街の美妓の顏も全く變り今後は各方面の援助を得たい旨を述べて挨拶をなし記者團と乾盃八時半盛會裡に終了した

値段を統一して廉い品を賣る
大東門から大南門の商店糾合 市場會社設立具體化

【奉天】奉天市政公署では省城內外の野菜魚類の集散地となつて居る大東門から大南門の地域の各商店を糾合して三萬數千圓を以て一大市場會社を設立し增加する人口の生活必需品の調節をはかる事に旣に豫算も決定し中央政府も省公署も之を承認したので閻市長は目下具體的計畫を進めつゝある、この市場會社が設立されると魚菜類の値段が統一し廉い品も購められるのみならず衞生上からいふも設備は完備するので各方面に歡迎されて居る

ころあつたが五日は製材作業その他の各工場を實地視察した

鼠一匹二錢で買上ぐ 營口署にて

【營口】營口市警察署では日滿防疫會議の決議に基き三日午後二時より署內に警察長衞生科長各分署長二十四名を召集してペスト防疫に關する緊急事項を協議し即日鼠一匹二錢に買上ぐる事を實行すべく決定して午後四時散會した

橫領して駈落

【奉天】忠淸南道生れ當時京城府西堺洞北澤方使用鮮人李二萬(二九)は昨年十一月頃北澤方の集金五百圓を橫領し彼の情婦京城西堺洞飲食店丁在植方女中崔順(二三)と共に手に手を取つて行方を晦ましたので八方に手配し搜査中この兩名は工業區奉天總站前鮮人宿東昌旅館に投宿してゐる事を奉天署でつきとめ六日午後一時頃兩名とも逮捕したが身柄は龍山署より來奉する係官に引渡される筈である

洮南に派遣 民政部衞生司から二名

【四平街】民政部衞生司では洮南におけるペスト調査のため東北防疫處長屆崎相陽氏外一名を洮南に派遣去る一日出發した、又農安防疫班長、廣木彦吉氏は病氣加療中の處全快せるを以て二日防疫員野畑幸、山下郡翼の兩氏と共に農安に向け出發した、該地方のペストは一時猖獗を極めたが目下小康狀態にあり農安地方には最近新患者の發生も死亡者もなしと

佐藤鄕軍分會長の榮譽

【四平街】佐藤在鄕軍人分會長は創立以來十數年間當地在鄕軍人分會の役員として將又分會長として鄕軍の爲めに殆んど寢食を忘れて奮鬪して來たがその貢獻枚擧に遑あらず、爲めに最近當分會の成績は頓に擧り這回總裁宮殿下より功勞章を授與せらるゝに至りたりと因に功勞章は在鄕軍人最高の名譽のものであると

圖書帶出券を一般有志に贈呈 營口圖書館活用策

【營口】營口圖書館は本月四日より十二日迄例年の通り圖書の曝書を行ふために休館してゐたが閱讀者の不便を慮り一日にても早く開館せんと切々整理中である、而して永野館長赴任以來銳意改善に腐心し尙營口人士の圖書館活用の比較的少なきを遺憾とし館內にポスターを貼出し或ひは地元新聞を以て大衆に呼び掛け種々畫策實行中である、今回街頭進出の第一步として先般來より各方面を訪ひ先づ地方有力者に圖書帶出券を贈呈して同館の利用を强調し積極的方策に出で居る爲め一般より好評を得て居る

吹雪のなかに渡り初め式
海拉爾河橋梁落成

【ハイラル】豫て興安北分署で山河へ通ずる交通利便の爲め皇軍の指導を仰ぎ橋梁中だつた海拉爾市街より東北約一里の彼方海拉爾河の橋梁工事も愈々完成を見たので五日午前十一時より是が渡橋式を擧行した、當日はまばらな吹雪さへ落ちて參列の士に鼻水の洗禮を以てしたが渡り初めをする小林老夫婦は紋附の禮裝誇らしく滿、蒙人の渡り初め者の先頭に立ちて元氣に手を引き合つて高砂の翁じさを異鄕人に目をみはらす高波○團長凌省長等は官民の名士と其の後に次いで渡つたが、その後からは騎兵隊の足並も揃ふた渡初めあり、又戰車、タンクと北滿なりやこその渡初式が展開された、終つて向ふ岸に設けられた祝宴場では手も凍えて打ち震ひつゝも美妓連の熱燗にこの大工事を謳歌した、構築能力の低い當地で百米からあるこの海拉爾河の橋梁工事は全く至難とされてゐたが皇軍の指導全きを得て廿一艘から成る船舶の浮橋が完成されたわけで之によつて受くる小舟連絡の不自由を拭つた住民の利便や如何ばかり又軍事上に取つても重要な役割を果す事となるのである

河北、田庄臺間新驛を設置
奉山當局總局に申達

【奉天】奉山鐵路局では河北田庄臺間の鮮農部落に新驛の設置を總局に申達して來て居る、即ち同農村はかつて海水の逆流によつて土地が鹽化し全くの荒蕪地となつて居たが鮮農六百戶二千五百名を有する同村に東亞勸業會社が荒蕪地三千町步を耕地化し鮮農移民に一步を進めんとするもので、新驛設置條件としては旅客及貨物の取扱の即時可能或は其の將來性並に其の地の特殊事情、即ち名勝舊跡の地である事等であるが今回此處の場合は農業移民の確立といふ國策的な見地より其の將來性は勿論一の前例を遺る事ともなり、又斯樣な條件の孰れかによる小驛が奉山線には多々ある事とて總局としても近く其の設置を許容する意向である

絹紬業者代表

【安東】安東の柞蠶と最も密接な關係のある福井、岐阜兩縣の絹紬製造業代表者六名は五日朝來安し午後一時から商議において柞蠶業者と取引方法改善に關し種々懇談した

軍需資源調査

【安東】關東陸軍倉庫の宮田一等主計、萩原囑託一行は軍需資源調査のため四日來安商議において製材、柞蠶、特產、雜穀その他の業者と會見し主として各物資集散狀況について數字的說明を求むると

"棋盤山の嵐"
橫道河子事件のため 加藤開原署長の作成

【開原】開原警察署長加藤庄市氏は昭和七年九月三十日昌圖東方橫道河子討匪に際し悲壯なる戰死を遂げた故水間巡査部長、池田、永田、風岡三巡査の功績を記念すべく「棋盤山の嵐」と題して悲壯な琵琶歌を作成し近頃來開中の薩摩琵琶の名手岩淵神風氏に作曲及演奏を依賴し、去る九月三十日慰靈祭の際四士の殉職せる棋盤山上にて演奏せしめ、更に十月二日警察署樓上にて署員一同に聽かしたが聽く者其當時の壯絕悲絕を追想し暗淚を催さぬ者はなかつた署長の作れる琵琶歌は左の如し

琵琶歌「棋盤山の嵐」　作者 加藤庄市　作曲 岩淵神風

人の命と財物とを
守護るは我等警察の
貴き務めと畏れなる
國を思ふて命を承け
此處滿蒙の一線に
日每夜每に挑みなし
時しも昭和七年の
九月三十日の朝まだき
松島警部補以下二十八名
昌圖附近の匪賊をば
討伐すべき命を承け
水間部長は身も輕く
機關銃を手にとりて
使命は重しいさやさて
池田永田風岡巡査こそ
橫道河子へ進み行く
賊は知りてか逸早く
算を亂して逃走するを
機關銃のつるべ擊ち
無二無三にぞ薙ぎ拂ひ
勇み〳〵て追擊す
賊は散々打ちなされ
逃ぐる術もあらざるに
悲しや盆地の四方より
賊は次第に數を增し
十重二十重に包圍なし
死物狂に打ち出す
一彈部長に命中し
サツト飛び散る鮮血は
服を朱に染めけるが
されどひるまず銃を取り
猶ほも激しく戰ひしが
續いて打込む敵彈に
無念なるかな嵐吹く
荒野が原に散る花の
淸き其名を止めつつ
戰死を遂げしぞ痛ましき
勇士埋骨棋盤山殉職之志照四海
噫殉職の警察官
我等の鑑みと仰がれて
屍は大地より消ゆるとも
御靈は永久に天翔りて
皇御國を護るらむ〳〵

奉山沿線の愛護村 殆ど全部組織終る
早くも建設の實績

【奉天】奉山、瀋海の各國線を保護する鐵道愛護村は各方面共に着々進捗し奉山線では新民、溝帮子打虎山、盤石、錦縣、連山、興城等は旣に愛護村の建設を終り綏中は七日村長其他地方民代表者が會合し協議することになつてゐる外義縣、北票を終れば奉山沿線は全部終了する筈であるが愛護村の建設により最近その效果を現はしたのは奉山線の公金十二萬を掠奪した白旗堡、饒陽河一帶の村民に對する責任から村長が率先して犯人の探査に當り一味黨徒の七、八分は逮捕された、その他磐石管內の鐵路破壞に對する責任を明にするため村民が努力してゐるなど鐵道愛護が實際運動化して來たこれは勿論日本軍の鐵路守備の威力による背後の力があるからで軍としては實に淚ぐましい鐵道愛護を續けてゐるのである、六日奉山線で綏中に向つた道山奉天鐵路處務主任は語る

鐵道を愛護せねばならぬといふ自覺が愛護村を建設した地方民は諒解するやうになつて來たが其れにたいする要求も色々生れて來る、其のうちで特に各地で一樣歎願し問題となつてゐるのは鐵道沿線五百米以內に高粱の耕作を嚴禁されたことは其の沿線地以內より土地をもたぬ農民もあるので非常に困つてゐるといふのである、其れには鐵道さへ愛護が十分行はれたならば許可するから努力して欲しいと說明してゐる狀態であるが、慰安列車の運行で今後度々さうした催しをして欲しいとか、活動寫眞は生れて初めて見たが時々觀せて呉れとの希望が出た

奉山、瀋海では愛護村の村長には無賃乘車券を發行する方針である

滿洲選出の議員
"議會報告のため來た" 大藏公望男安東着

【安東】元滿鐵理事、貴族院議員大藏公望男は五日午前六時十分安東着、關屋地方事務所長等の出迎へを受けて安東ホテルに入つたが關屋所長等より最新の安東事情を聽き實際を視察し同夜六時安東倶樂部において非常時局の內地政界について講演した大藏男は語る

自分は滿洲から選出された議員のつもりで議會終了後報告のため滿洲に來ることにしてゐるので今度も安東を振出しに奉天、新京、ハルビン、大連等で報告講演を行ひ一面最近の滿洲の事情を視察するつもりだ

チチハル刑事事件

【チチハル】チチハル警察廳にて處理せる九月中の刑事々件は件數三三、犯人七二名であるが、その內譯は左の如くである

件名	件數	男	女	合計
竊盜	九	一四	一	一五
傷害	四	四	〇	四
詐欺	四	七	二	九
橫領	二	一	一	二
賭博	一一	三八	〇	三八
阿片	一	一	〇	一
婚姻妨害	二	二	一	三
計	三三	六七	五	七二

鐵嶺三業組合の慰安會

【鐵嶺】鐵嶺三業組合は從來藝酌婦の慰安會は午後より夕方までとし夜は平日通り働らくを例としてゐたが今回は前例を破り大奮發をして來る九日組合員は勿論藝酌婦女給仲居帳場に至るまで全部の從業員を朝から晚まで全休させる事にした而して晝は自由に遊ばせ夜は遼山滿一座の總見をさせるにつき當日は料理屋食道樂カフエー等全部休業するので勝手ながら顧客の御來遊をお斷りするとある、斯く全員を全休させる事は鐵嶺空前の事で今回の慰安デーの結果を見て今後春秋二回位は全休日を定めるかも知れぬ

鞍山局の取扱成績

【鞍山】九月中鞍山郵便局の郵便小包、爲替貯金の取扱高は左の通りであるが爲替貯金の受拂總額廿五萬七千圓中振出及預入高は拂渡高の倍額に當り好況を物語つてゐる

		引受	配達
通常郵便	書留	二、二七五	二、四九九
	價格表記	六五	六八
小包郵便	書留	三五九	二、四六二
	代金引換	一二	九六六

爲替貯金	振出	拂渡
爲替	五〇、四七六圓	一九、六〇七圓
貯金	四二、〇六一	四六、二二〇
振替貯金	八〇、八四〇	一七、九一七

日曜奉天の催し

【奉天】當地に於ける八日の催しは左の如し

▲鞍山對奉天ヤング・イーグル・クラブ陸上競技大會 午後一時より國際運動場に於て
▲南滿中學堂運動會 午前八時半より同校々庭
▲在鄕軍人奉天北分會の射擊大會 午前九時より午後四時まで大東屬奉天造兵所射擊場に於て
▲鐵路總局射擊會 正午より守備隊射擊場にて

遼陽片々

▲中央電報局寄附電話抽籤 午後一時から春日小學校に於て▲牧田新任署長は六日はとで家族同伴着任したが驛頭には署員同家族並に日滿官民有志多數の出迎へがあり署長は之等の人々に着任挨拶をなし直ちに神社に參拜、終つて警察署に初登廳の上署員に一場の訓示をなした▲輸入組合主催の旅商團は二十三日から四日間の豫定で城東、峨嵋庄小屯子、大安平方面に出張すと▲滿洲國石丸侍從武官は日滿兩國傷病將士慰問の爲め七日下りはとで來遼同夜遼塔ホテルに一泊翌八日下りはとで北行▲熊岳城で八日開催の遼陽以南瓦房店以北の南部地方事務所の聯合庭球大會に遼陽から沖所長外數名が參加すと▲金光教國武教會長は岡山本部の教祖五十年祭に參列のため六日朝隣路出發した▲衞戍病院に傷病兵十五名が六日朝到着した▲小學校の五、六年生十五名は八日大石橋小學校におけるハンドボール試合に出場青年訓練所では九日午前八時から關東軍司令部附浦山大尉の定期查閱が執行さると▲州外軟式野球大會に優勝した奉天貨物チームが同日來遼午後三時半から白塔グラウンドに於て遼陽軍と試合開始したが十二對零で遠來の奉天軍慘敗した▲警察署の高等司法兩主任退職の爲め缺員となつて居たが本年高等科卒業の前川上村兩部長が五日はとで着任した▲弓長嶺運鑛線の工事入札は遼陽小屯子間と小屯子弓長嶺間を二區に分ち六日鞍山で請負入札があつたが竣工期は十一月末であると▲淸水前署長の送別會は四日公會堂で土曜會主催で開催されたが出席者八十餘名極めて盛會であつた▲廣島縣人會では五日夜遼塔ホテルに於て淸水前署長の送別會を催したと▲警察署では十八、九の兩日管內臨時種痘を施行すと

米國青年の登龍門 フイツシヤー賞

ゼネラル・モータース社の自動車ボデー製作で有名な米國フイツシヤー・ボデー會社內のクラフトマン・ギルド(工匠組合)は一般青少年の內より縮型自動車モデルのデザインを募集して、優秀者には學術研究賞を與へて居るが年々その應募者の增加を見てゐる、今年は第三回で優勝者は七名選ばれた。米國青年組、チャールス・カツド(十八歲)ジャック・ウイツクス(十八歲)同少年組、スタンレー・ノツケル(十五歲)ミロン・ウエッブ(十五歲)カナダ青年組タビツト・テナント(十七歲)ジヨセフ・オラフソン(十七歲)同少年組、リチヤード・ガスリ(十五歲)右の優秀者はそれ〴〵五千ドル宛の賞金を得たが、これは各自希望の大學への學費に充てられる事になつてゐる、今年は應募者が多く米國は勿論カナダからもあり、其の數實に四十九萬六千人を超へ、その審査は米國及びカナダの各工科大學教授によつて行はれ嚴選の上、以上の七名が最高位を得たのである、尙佳作の百二十人は五日間シカゴ市見學の機會が與へられ一行は先づ同市に於ける萬國博覽會を始め一流の工場を視察し、最終日には陸軍兵器廠に於いて歡迎の晚餐會があつて閉散した、これら青年の斯界登龍門たるフイツシヤー・ギルドの懸賞募集に對して斯界から注目されて人氣を呼んでゐる、尙提供された今年度の賞金は合計で九萬ドルであつた。

安田正鷹氏新著 水利權發賣

從來水の問題程複雜にして難解而も不分明なものはない、殊に近來發電事業の勃興に伴ひ、灌漑用水水道、漁業、流木等水利關係の法律秩序は愈々複雜、重要性を加へて來た、本書は以上の水法諸問題に就て平易明快なる叙述の中に最近迄の學說判例を隨所に織込み、實例を擧げ以て飽迄學理と實際とに亘つて吾國水利權の本態を極められたもので、實に著者積年の研究と官命を帶びて全國に遍き踏查體驗との結晶である、即ち第一章に用水權論として水利關係の發展、主體、內容、使用權、專用權、性質、水、成立原因、用水權の特質、移轉等を擧げ、第二章河川法と漁業權として本質、河川法、河川利用事業との關係等、第三章流木權論、第四章水法判例の研究以下水利に關する萬般の事象を網羅し、實際に即した吾國未曾有の文獻で法曹及實務家諸賢に推奬して止まない(東京神田猿樂町一丁目松山房發兌定價三圓五十錢送料三十錢)

今は辛苦も懷しく 身も輕き凱旋行

第六師團殿りの高田部隊 きのふ故國へ急ぐ

連日にわたつた第六師團の凱旋行もいよいよ今日七日が最後だ、高田部隊は二隊に分れて市中行進を行ひ、沿道の官衙會社商店等は國旗をかざして萬歳を浴びせる、早くも見送りにつめかけた市民學生達の間を縫つて同部隊は山縣通りを埠頭に現れ直に乘船を開始した例によつて見送り人は旗大の知名士集まり心からの挨拶が取交される、定刻が近づくや小川市長、凱旋部隊を送る辭を述べ高田部隊長の感謝に溢れた答辭あり、名殘を惜む五色のテープが萬歳のドヨメキとバンドのリズムに煽られて次第々々に引伸ばされる、凡ゆる艱難辛苦に死線の間を馳驅した滿蒙の曠野も去らんとする今はの際には懷しく、人の心の高鳴りの中を船は故國の空へ、黄昏染める秋靄を衝いて出發した

満日婦人團の活動 高田部隊長の感謝

七日午後五時出帆の羽後丸で第六師團殿を承はる凱旋部隊の精鋭を率ゐて凱旋した高田○團長並びに伊藤○隊長は別れに臨んで本社に對し

在滿中は私共の部隊及び他の凱旋部隊が種々御世話になりました、殊に婦人團よりは手厚い饗應にあづかり兵一同は大喜びです、有難う御座いました、特に婦人團には宜しく御傳へ下さい

と本社並びに婦人團に對し感謝するところあつた

高田部隊歡迎宴 六日夜遼東ホテルで

滿洲本第六師團凱旋の殿を承つた高田○團長並びに伊藤○隊の將校歡迎宴は六日午後六時半より遼東ホテル七階で盛大に擧行された、來賓側よりは高田○團長、伊藤○隊長以下各幹部將校、歡迎者側よりは小川市長、御影池民政署長、高柳中將、岩井少將等その他百餘名の官民列席し、小川市長先づ起つて勞苦に酬ゆる凱旋歡迎の辭を述べれば、高田○團長はこれに對し莊重な語調を以て

日滿各位、殊に當地の各位から多大の後援を賜り今玆に任務を終つて内地歸還の途につくに當つて誠に感謝感激に堪へない次第です、只今は市長閣下より手厚い歡迎の辭を頂きましたが、長城線確保には右に服部○團あり、左には日高○團あつて、はじめて長城線突破、古北口の戰鬪に目的を達し得たのであります、それにも拘らず市長の御言葉、また斯くの如き手厚いおもてなし、將兵一同御禮の御言葉もありません、本日は師團長の見送りに行つて驚きました、このやうなことは郷里鹿兒島においても見ることは出來ません、いよいよ殿としてあす(七日)内地に歸還します、この御恩は終生忘れることの出來ないものであります、それと共に目下國は非常時であります、皆樣は益々滿洲國の健全なる發展を圖ると共に國策の遂行に努力あらんことをお願ひします

と頗る感激に滿ちた答辭あり、それより北村席美妓連の餘興あつて朗かに凱旋祝盃を取交したが、午後八時御影池民政署長の發聲にて凱旋將兵の萬歳を三唱し盛會裡に散會した

左樣なら凱旋兵 (下)高田部隊長

滿日婦人團の接待 ミス滿洲も手傳ひ

埠頭待合所における本社並びに滿日婦人團及び各女學校同窓生のやさしい手で開かれたおでん、だんごの模擬店は六日は午後二時から一齊に開いたが、待兼れた樣に無邪氣な兵隊さんが殺到してまたゝく間に品切れと云ふ景氣よさ、特に文化協會の技藝女學校の生徒等が「妾達だつてだまつてなられませんわ滿洲國の爲に戰つていたゞいた勇士等です、お手傳ひさせて下さいな」とばかり約二十名許りの滿洲の娘さんが可愛い日本語でサービスして、只でさへ喜び切つた兵隊さん達をすつかり有頂天にして了つて、正に日滿融合の美しい一場面を呈した、かくて第二日目も充分効果をあげたが、七日は少し方法を變へ午前十時より關東倉庫内に模擬店を開き凱旋時間迄充分おもてなしをしたものである

木蘭襲擊は孫朝洋一味

【チチハル五日發國通】木蘭を襲擊して縣城を燒き久泉參事官を殺害した匪賊は本年八月實縣を襲擊した部下一千を有する孫朝洋の一味が、城内警察隊の一部を買收し反逆を企てたものであることが判明した

立教優勝か リーグ戰豫想

【東京特電六日發】大學リーグ戰は秋季の三十試合のうち十八戰を終りあと十二戰を殘すが、五日迄のところでは立教九勝二敗、明治八勝五敗、慶應五勝四敗、法政五勝六敗、早稻田四勝五敗、帝大二勝十一敗で立教が斷然優勢にあり既に法政、帝大に完勝し早稻田に二勝、あと慶明兩者と戰ふのだがその實力では殘る四戰に二勝は確實で、明治には二勝するかも知れない、七日の對慶應戰が重大の影響を齎すものとみられるが、リーグを通じて老巧の點で双璧菊谷三宅の對戰が興味を集めるであらう

明治は既に十三戰し、帝大に三勝早慶に二勝したが、法政に一勝のみで立教に若しあと二勝すれば、立教が慶應に連敗する場合、明治の優勝となるがこれは疑問だ、慶應は殘る早、立、法三校との六戰に六勝又は五勝しなくては優勝が出來ない、法政はあと早慶との四戰だが、これに完勝しても既に優勝の望みなく、早稻田が連敗に蹉跌して殘る六戰に六勝すれば圏内に這入るが、今の早稻田チームにはそれは期待されない、要するに立教が霸權に近づき明治がこれと爭ふといふ狀態で今後の試合は慶立、明立の二戰に興味が集中し、早慶戰は優勝に係はりのないものとなつた觀がある

必死の防疫陣も終熄に至らず

ペスト、新馬營子方面に猖獗

【奉天電話】通遼から洮南一帶に亘るペスト菌の蔓延に對し、日滿兩國當局は協同防疫陣を張つて極力これが絶滅に努力してゐるが、今なほ全く終熄に至らず鐵路總局四洮、洮昂各鐵路局では隔離狀態でその蔓延を喰ひ止めてゐる有樣で、これまで甘珠爾廟附近の王府では百餘名の死亡者あり、部落民は他に逃げ出すの慘狀を呈し、北イリコフ王府でもまた百餘名の死亡者を出しいよいよ猛威を揮つてゐる、洮昂線では新城子の新驛を鎭東に移し、區間旅客乘降は一切禁止するほか特產、鑛物以外の貨物は取扱はざることになつた、なほ四洮線の錢家店驛の望診は防疫方法としては生ぬるいので、列車内で檢疫を行ふことになり、新馬營子に發生した四名のペスト患者の死亡した家屋においてまた三名の死亡者あり、總局では該家屋を危險として燒き拂ふため檢疫醫一名は同地に向つた、幸ひ同線の防疫方法が徹底してゐるため四平街方面までは菌の襲來はないが、ペスト蔓延地帶は容易に終熄の見込みはない

岡山の共產黨 起訴三十一名

【岡山七日發國通】岡山縣に於ける極左分子は曩の五・一五事件に續いて行はれた數回の大檢擧により全く壞滅したかに見えたが當時巧に姿を晦ました殘黨はうまく地下に潛入し中央黨部の指令を受けて再建を企て水平運動と合流して一體となり、工場農村學校等に魔手を延ばし始めたのを探知した縣特高課ではその本據を探査する一方資金網を掃蕩すべく檢事局指揮の下に縣下二十三警察の警官一千名を動員し本年四月十二日未明を期し大檢擧を決行被疑者百六十三名、參考人二百四十七名を引致し爾來半年取調べの結果本日起訴三十一名、起訴保留猶豫四十名と決し取調一段落と共に記事の掲載を解除された

五・一五民間公判

ファッショ制度で荒木陸相を首班

犯行を供述する橘

【東京七日發國通】民間五・一五事件第六回公判は七日午前九時二十分より開廷、橘は愈々犯罪の供述に入り、土浦の料亭花月で海軍將校に演説をなしたこと、日召との關係「決行を自分にすゝめたのは古賀清である」等を詳細に述べ次いで

昭和七年三月權藤成卿から若し決行すれば一味は一網打盡となり、中心將校は極刑に處せられるから古賀に中止するやう君(橘)から忠告して異れ、と云ふので古賀に話したが古賀は一笑に附したと語り

變電所襲擊は自分の提案で近世文化に對する憎惡の現れであると述べ少憩、續いて橘記ち七年四月十六日古賀が愛郷塾を訪れ議會に手榴彈を持ち込んで投ずること、日銀や新聞社を爆擊すること等の計畫を話したが自分は議會には尊敬すべき代議士も居るし日銀は大衆の敬意を表する存在だし新聞は大事な輿論機關だから爆擊は不可であると思つたと述べ四月より五月迄の間に千四百圓の資金を受取つたことを述べ首相官邸その他を襲擊した理由につき問はれ

政黨財閥特權階級からなる三位一體代表と考へたからだと答へ

戒嚴令が布かれた場合には荒木陸相を首班とするファッショ政府が樹立されると思つたと答へ一旦休憩

熱河の關所閉鎖

入省手續きは朝陽で 兵站監部錦州出張所引揚げ

【錦州特電七日發】熱河の關門であり關所である關東軍兵站監部錦州出張所は、いよいよ本月十五日頃閉鎖して新京へ引揚げることになつた、從來錦州出張所は軍の補給機關として南滿並に後方業務の連絡及び熱河河北各支部を統轄し、且つ熱河省出入の取締を行つて來たため熱河進出者は必ずこの關所の門をくゞり入省許可を受けねばならなかつたが、最近熱河方面の治安維持恢復し第六師團先づ凱旋したのを始め、第○○團また山海關より當錦州に移動するに及びその必要がなくなつて引揚げるに決した模樣である、なほ引揚後は新京において各支部を統轄し、一面朝陽支所を出張所に昇格し熱河入省手續きは同出張所において取扱ふことになると

實滿軟式野球戰 第二回戰

八日午後二時滿倶球場で

審判兒玉政雄 二神武 吉田要三氏

"自分一人が惡者" "安東君がシツカリしてくれぬからだ"

又山田辯護士は相變らず落つきなく語る

どうも自分一人が惡者になつてこれといふのも衛研の安東君がしつかりしてくれないからだ、出發する時自首の手續きもしておいたのだから自分の云つた通りしてくれると、こんなことにはならなかつたと思ふ、兒玉博士にせよ其他の人にせよ參考人の程度で身柄など留められるのではないと思つてゐたのだが、博士は沙河口署の峻烈な取調べを受けたり留置されたりして、頭が混亂してもぐさを攫んで浮び上りたい氣で自分の事をいつてゐるものだと思ふ

取調べた上 高井檢察官語る

山田辯護士の取調べは正午一先づ中止されたが高井檢察官は語る

取調べは午後も引續きやるが山田辯護士の口から新事實が出るかどうか、新しい人物の取調べを始めるかどうかと云ふことはもつと調べて見なければ判らないが、これとても御想像に委せる外ない、山田辯護士は今の所收容する必要はなからうと思ふ

眞造氏と會見 高井檢察官

午前中兒玉博士の實兄眞造氏、從弟彥衛氏と會見した高井檢察官は午後二時より御幡三輪子を喚問、勝美夫人を繞る中園と青柳の關係につき午後五時過ぎまで嚴重なる訊問を行つた

豆海に匪賊來襲 滿人二名を拉致

目下警備隊が追擊中

【奉天七日發國通】六日午前八時三十分頃洮昂線豆海驛に約二十名の匪賊襲來、電信電話線其他備品類を破壞し、驛員の食糧品を强奪して九時三十分東方二支里の地點に逃走、同地點に在つた別動隊約二十名の匪賊と合し附近部落を掠奪東方に向け逃走した、なほ豆海驛襲擊の際同驛滿人保線員二名拉致された模樣、急報に接し江橋警備隊は同九時十分同地發の應急列車にて泰東警備隊は同十時十分裝甲列車にて同方面に出動目下該匪賊を追擊中である

大連の名譽 淫蕩な町と聞いて驅落

大阪泉北郡大津の織物商横田周三(三九)と神戸市加納町バー山の家屋の女給中山スミ(二一)の兩人は、六日入港のうらる丸で手に手を取つて驅落ちして來たが、手配により水上署に取押へられた、中山スミは大阪泉尾女學校出身の頗る美人で大阪で大丸節に勤務したこともあり、決して男と關係はなく單に男が一緒に來いといつたのと、噂に聞けば大連は淫風吹き荒ぶ處だけによいところとの話だから、ダンサーにでもならうと思つてやつて來たと述べるので目下郷里の親元に問合せ中

奉天醫學會

奉天醫學會は來る九日午後四時十分より滿洲醫大第五講堂で醫學會を開催

一、自然界に於ける非病原性抗酸性菌の分布と病原性抗酸性菌の研究(豫報) 戸田忠雄 占部薫

一、關東州及び滿鐵附屬地在住の

一、滿洲人保健統計の研究 川人定男

三、血液の不溶容積及びデル・ニヒトルセンデ・ローム蛋白結合鹽素に就て

四、システセルクス・セルローズホミニスの一例 竹中義一

五、人血特異的被降性物質の被吸者現象に就て第三報 王世恭

萬引青年捕る

六日午後二時頃市内大山通り三越支店で靴下二足を萬引せんとする青年を大連署員が發見直ちに引致した、右は市内西通六一大町末成(二八)といひ先般來の滿鐵消費組合本部の頻々たる萬引も同人行爲と睨み目下餘罪取調べ中

女中さんヤーイ

市外甘井子四十五番地加藤浩方女中相澤ふみ(二一)は去る五日午後九時頃大連の齒科醫に治療にゆくといつたまゝ歸宅せず、加藤方では六日午後小崗子警察署へ搜査願を出して來た

高田商議會頭

ハルビンにおける滿洲商議聯合會に出席中の高田商議會頭、長永書記長の一行は八日朝歸連の豫定である

軍馬に御馳走

沙河口霞町婦人會では熱河凱旋の勇士達と苦勞を共にし殊勲を樹てゝ凱旋した軍馬を歡待しやうと會員中より五圓を醵金し杉浦榮子さん外一名は六日關東倉庫に持參「これで軍馬に人參を買つてあげて下さい」と差し出したので倉庫ではこの美しい申出に大いに喜び早速人參を買つて春晴丸で凱旋した軍馬にどつさり御馳走した

大運動場 來秋神宮外苑に

【東京六日發國通】明治神宮外苑の增營は奉贊會によつて計畫を進められ、來秋綿講館の完成によつて一通り終了するが更に新規に第二次內苑、外苑の增營に取かゝる方針で明治神宮外苑を中心に體育の綜合的大殿堂を建設する計畫である、即ち第二次增營計畫は

一、ラグビー競技場、一、テニス・コート、一、競馬場、一、體育會館

等でオリムピックの東京開催問題と紀元二千六百年の接近とは右の計畫を促進するだらうと云はれてゐる

鞍山丸船長

去る五月二十五日鞍山丸が大連より清水に向け航行中午後八時頃、後水道を通過の際天候不良のため佐田岬に乘り揚げ船首を大破したる事件の船長吉岡忠義に係る海事審判は六日午前九時より海事審判室において木村理事、岡本委員長、關根、江原兩委員出席の下に開廷され大塚輔佐人の辯論あつたが、放漫なる運航によつて惹起された事件であるからと懲戒法第一條第二號を適用され職務執行停止二ケ月を科せられた

滿洲冶金談話會

滿洲冶金談話會では八日鞍山昭和製鋼所會議室で左記演題の下に講演會を午後二時より開催する

一、超硬質合金に就て 萩原三平氏

二、軌條の瑕に就て 兒玉壽臣氏

三、赤鐵鑛の還元磁化實驗 長谷川熊彥氏

四、耐强酸金屬材料に就いて 日下和治氏

五、最近の輕金屬工業 内野正夫氏

六、昭和製鋼所の現況と製鋼計畫 梅野常三郎氏

終了後懇親會を開催、會費懇親會出席者三圓缺席者は一圓 尙會員外の傍聽を歡迎する

安樂椅子

選擧ナンセンス一つ——男の名には隨分〇〇郎といふのがあるが、今年の鞍山地方委員選擧のやうな「郎」揃ひも一寸珍しい、昭和製鋼所に次郎、三郎、猶三郎の三候補があるかと思へば町側にも四郎、吉次郎、萬三郎の三氏が出馬してゐるてな工合で、立候補者十名のうち六名までが皆「郎」ばかりだのた。

◇

ところでかう「郎」づくしで食つては投票するものも隨分面喰つたらしく、その證據には無効十三票の白紙二票を除くと殘り十一票全部がこの「郎」間違ひの無効票で、姓と名が全然別人だつたり次郎が吉次郎となつたり、三郎、萬三郎、猶三郎などが變に突き混ぜられたり却々やゝこしいものがあつた。

◇

また「ナガイシロウ」の假名字など野毛四郎の誤りかとも見られるしといふ譯で立會人諸君も無効分判別に苦しんだが、餘つぽど懲りたとみえて開票が濟むと一同申し合せたやうに「もうこれから新郎の立候補は御免だ」と

從六位勳六等二宮由太郎儀豫而病氣ノ爲入院加療中ノ處昨六日午後八時死亡致候間此段謹告仕候
追而葬儀ハ九日午後二時霞町大法寺ニ於テ執行可仕候
十月七日
男 義雄
親族一同

日曜附録

マンガ カラス

童話 わがまま蛙（かへる）

中村洋

ある古沼に、たくさんの蛙が集まつて、お國を作つてゐました。この古沼には、いつもたつぷり水があつて、有難いことに、いたつてお國は平和でありました。ところが、蛙たちは、この平和なお國が、退屈で退屈でたまりませんでした。それで、毎日がやがやわめきたてながら、神さまにお祈りしてゐました。

「どうぞ神さま、わたくしたちにひとりの王様をお授け下さいませ、さうでないと、毎日退屈で、退屈でもう死にさうでございます」

神さまは、蛙たちの願ひをおきき屆けになつて、ある日、王さまをお授けになりました。

彼等の王様は、太い松の丸太ン棒でした。ずつと以前、大風で根元から折れたもので、なにしろ、この王様が、大きな音とゝもに、古沼にお越しになつたときは、沼の水が半日も、搖れてやみませんでしたので、人民どもは命からがら、家の中に逃げこんで、どうなることかと、一時は、たれもかもぶるぶるふるへてゐました。

そのうちに、水が元のやうにおだやかになつたので、蛙たちは水草や花菖蒲の陰から、そつと鼻先をのぞかして、おそるおそる王様の方をうかゞつてみては、みんなで囁き合ふのでした。

「なか〳〵立派なお方だ」

「どつしり、落着いてゐらつしやる」

「無口なお方らしい」

「行つてみやうではないか」

中にはさう言つて、こはごは王様の後に坐るもの、すぐ横脇に進みでるもの、おそるおそる、御前に進んでおじぎをするものがゐました。王さまは、何んにもおつしやいませんでした。

すると、そのときでした。あはて者の罰あたり奴が、おそれおほくも、ぴょんと王さまのお背中に飛びつきました。さアたいへん！みんなは、まつさをになつてしまひました。

ところが、王さまはほんのちよつと、おからだを動かされただけで、お咎めにはなりませんでした。

そして、それからといふものは、この寛大な王様は、横着な人民どもの、泳ぎの飛込み臺になられました。

ところが、飽きツぽい蛙どもは三日するともう、松の丸太ン棒の王様では、退屈でしようがなくなつてしまひました。

蛙たちは、またしても、神さまに新しいお願ひを始めました。あんな無口な方でなく、もつと、もつと元氣な王様を、どうぞお授け下さいますやうに、と言ふのでした。

神さまは、蛙どもの注文に叶ふやうにと、今度は、頭の赤い丹頂鶴を、新しい王樣として、古沼にお遣はしになりました。

なるほど、新しい王樣はお元氣なお方でした。お元氣なばかりでなく、とても氣難かしい御性質とみえて、人民どもがぺちやくちやしやべるのが、何よりお氣に召さないと言つて、お越しになる早々、おしやべり者は、片端しから食べてしまふといふ、たいへんなおふれをお出しになりました。

さアたいへん！かはいさうに、蛙さんたちは、毎日毎日、おつかなびつくりで、暮さなければならなくなりました。だつて、王様から

「お前もおしやべり屋だな」

と言はれると、もともとおしやべりの蛙さんですから

「いいえ、わたくしはおしやべりではございません」

と、きつぱりお答へできるものはありませんでした。

ですから、蛙たちは、よるとさはると

「ああ、昔がよかつたなア」

と、言つて殘念がつてゐます。あんまり、氣ままを言ふものではありませんね（をはり）

考へどもの 第六十七回

ニユツとまげた ふといお足 鹿（しか）かウシか馬（うま）か

寫眞をごらんください。ニユツとふとい足をまげてゐますれ、シカでせうか、ウシでせうか、ウマでせうか、わかつた方は來る十月十五日までに、大連市東公園町滿洲日報社内「滿日日曜附錄係」あてにハガキでお答へください。正解者にはいつものやうな方法で、二十名にご褒美をあげます。

第六十五回の答 ビールビン

第六十五回の考へものは、ネクタイではなくて、ビールビンを首のところにあてゝゐたのでした。相變らず正解者がおほくて、いつものやうに籤をひきました、今度は次の方々にご褒美をあげます

當籤者

▲中固驛岡山則行▲新京田中金藏▲大石橋重信節子▲蓋平池田正太▲安東安藤勝▲旅順井上滿儀▲開原羽原安一▲大連今津修▲同渡邊久子▲同福海充▲同鳴尾千惠子▲同野崎清惠▲同並木弘敏▲同片岡鈴子▲同奧野和子▲同池田信夫▲同重松さみ子▲同藤井嘉夫▲同大野義祐▲同津田ナリ子

なほ當籤者で大連市内の方には新聞社から當籤お知らせのハガキを出しますから、それと引きかへに本社でご褒美をお受とりください一沿線の方には直接お送り致します

小學六年生の力試し室

お答は來週出します

國史

（一）次の書物は誰が著したのですか。
1、神皇正統記
2、大日本史
3、古事記傳
4、山陵志
5、海國兵談

（二）尊王論について、次の問に答へなさい。
1、德川時代になぜ尊王論が起つたか。
2、尊王論を起すに力のあつた學問と、その學者三人。
3、始めて尊王論を唱へた人
（三）寛政の三奇人とは誰々のことですか。
（四）德川齊昭は如何なる考へで攘夷論を主張しましたか。
（五）大連神社の祭神はどなたですか。

前週の答 地理

一、我が國の主なる火山脈五つ
千島火山脈
那須火山脈
富士火山脈
阿蘇火山脈
霧島火山脈
二、我が國の川の
利…水力を利用するに便
害…水運の便が少い。
三、農業の盛なわけ
1、氣候溫和である。
2、地味がこえてゐる。
四、養蠶の盛な縣
長野　群馬　愛知　埼玉
製糸業の盛な縣
右と同じ
絹織物の發達してゐる縣
京都　福井　石川　群馬
五、製鹽業の盛な地方
1、瀨戸内海沿岸地方
2、臺灣西海岸
3、朝鮮
六、工業の發達した理由
1、石炭の產額多し。
2、水力の利用が容易である。
3、交通機關が發達してゐる。
4、學問技術が進歩してゐる。
七、我が國の主な貿易品
輸出＝生糸　綿織物　絹織物
輸入＝綿　鐵及鐵材　木材

二千年前（ねんまへ）の珍（めづら）しい石棺（いしくわん） イタリーで發見（はつけん）

イタリーのミラノといふ町にコセンツアといふ大きなお寺がありま す。一人のにんぷがそのお寺のある道をほつてゐましたら一つの大きな石のくわんおけがでてきました。それを學者たちにしらべてもらつたら、これはいまから二千年もまへのものだといふことがわかりました。この石のくわんは大理石で、その中には人のほねがはいつてゐました。この大理石のくわんは大きな石をえぐつてつくつたものです。そのおもてにはとてもきれいなほりものがしてありました。それはかりうどのすがたの男と女がやりをもつてゐて、そのなかに大きなくまが四ひきの犬にかみつかれてゐるやうすがほつてありました。二千年もまへのものがみつかつたので、ヨーロッパの學者たちはめづらしがつてゐるさうです。

暗闇（くらやみ）でも目（め）が見（み）える 臺灣（たいわん）のかはつた少年（せうねん）

人間が夜でも目が見えたらどんなにいいかしれませんね。ねこなんかはひるも夜もおなじやうに目が見えます。ところが臺灣の一ばん南はしにある恆春といふ町の第一公學校四年生林連熙さん（十三さい）は夜でも晝間のやうに目が見えるといふことです。ひるまはねことおなじやうにひとみがほそくなり、夜になるとひろがつて何でも見えます。このことをきいた人々はまつくらな夜なんかこの子どもたちやうちんのかはりにつれてあるくさうです。

ユメでめくらになつた

ルーマニアの一人の少年がある ばん自分がめくらになつたゆめをみました。ところがつぎの朝、目をさますと、どうでせう、何もみることができなくなつてゐるのです。この少年はまさゆめをみたのでせう。いまおいしやさんにみてもらつてゐるとのことです。

しやしんせつめい

（1）ひろびろした塩田の全景、塩の山が方々に見えます
（2）蒸發池の地ならし
（3）塩を取つたのちの結晶池のローラーかけ
（4）さ（5）は結晶池のそこにたまつた塩を集めてゐるところ――（大房身の關東廳鹽業試驗場でうつす）

塩の豪傑 武田信玄も降參

それほど人間にとつて大切

満洲で出來る塩の話

皆さんは越後の上杉謙信が甲斐の武田信玄に塩を送つた話を學校で習つたことでせう、塩は人間にとつて一日もなくては生きていけぬものです、どんなごうけつの信玄でも塩がなくなればこうさんするより仕方がありません、それほど塩は人間にとつて大切なもので、そこで人間は昔から塩をつくることを知つてゐました、満洲でも今から三、四千年前から塩をつくつてゐたことが歴史の本に書いてあります、ここに百年ほど前から「天日塩」といふつくり方が發明されてからひじやうにさかんになりました。今では關東州内では塩田が七千町歩あります、そして一年にとれる塩は目方にして四億斤です。また満洲國では八千町歩の塩田があり、一年に三億斤の塩をとつてゐますすなはち、満洲ぜんたいで一年に七億斤の塩が出來るのですから塩は満洲でもたいせつな産業であります。

お塩の種類 満洲のは天日塩

塩には色々の種類があります、湖塩といふのは塩からい湖からとる塩であり、井塩といふのは塩からい井戸水をくみ上げてつくつたものであり、又岩塩といふのは地下から石炭のやうなかたまりになつて取れるものです。しかし一ばん多いのは海の水から取る海塩で、これには火の力でにつめてつくるせんごう（煎熬）塩と日光と風さでつくる天日塩とがあります。日本の塩はせんごう塩ですが満洲の塩は天日塩です。つぎにこの天日塩がどうしてできるかをお話しませう。

塩田 塩をつくるばしよ

塩をつくるばしよを塩田といひます。皆さんが汽車で普蘭店や金州あたりをお通りになると、海の水がさほくまで引いてひろい陸地があらはれてゐるのをごらんになるでせう。塩田はかういふ海岸につくります。まづ海水が入らないやうにじやうぶな堤防をきづきますそれから畦（あぜ）や溝（みぞ）やいろ／＼な仕事をするばしよをつくり、石のローラーをかけて土地をかたくします。塩田の大きさは何千町歩といふひろいものもありますが、それをたいてい二町歩から四、五十町歩にわけてゐます一つの塩田の中はたいてい次のやうなわりあひにわけます。貯水池三、蒸發池三、結晶池二そのほか二

美しいお塩の花
海水から塩になる迄夏は五六日

まづ塩をつくるには海水を貯水池にひきこみます、貯水池はたいてい一ばん高いところにありますから海水はしぜんに蒸發池におくられます蒸發池は一だん、二だん、三だんといふやうにだん／＼にひくゝつくられてありますから海水はしぜんにながれおちながらこくなつてゆきます、いよ／＼こくなつた時、つぎのだんの結晶池に入れます、すると一日くらゐたつと白い塩が美しくしづんできます、それをかきあつめてあぜの上に人の高さくらゐに積み上げます、三四回塩をとつたのち、結晶池には水を入れてよくあらひ、くま手のやうなもので地ならしをしローラーをかけて、また海水を入れます蒸發池に海水を入れてから塩をとるまでの日かずは季せつによつてちがひますが、夏は五、六日、春さ秋は一週間から二週間です

今年は……大出來
雨が少なくて

あぜにあつめた塩はトロッコで塩田の中にある塩つみ場に山のやうにつみ上げます。それからまたい（麻のふくろ）に入れてジャンクで汽船につみ日本や支那へもつてゆきます、また塩田でできた塩はごろがついてゐて品質がよくないので工場にもつて行つてよくして出します、皆さんがご飯の時につかふ塩は工場でよくした塩です、満洲で塩をつくる季節は三月から十月までですが夏が一ばんさかんです、今年は雨が少なかつたのでどこの塩田もいつもの年よりもたくさん塩がされたさいつて大よろこびです。

驚く塩の力
恐しい毒ガスや煙幕も、もさは塩でつくる

塩は何につかふかさきくと皆さんはすぐ食べるものだと答へるでせう。そうです塩は私たちのおりようりに味をつけるものです。しかしこれは塩のつかひ方のごく一ぶぶんで、今日では何千さほりさいふつかひ方があります。まづ塩からはソーダさいふものがされますが、ソーダからはさらに皆さんの綸のぐにつかふたくさんの色ができます。いろ／＼のくすりや、ガラス、ラムネ、せつけんなど數へきれないほどたくさんのものができます、また塩からは鹽素さいふものができますが、鹽素からはいろ／＼のくすりができるほか、戰爭の時につかふおそろしい毒瓦斯や煙幕などもたいていこれでつくります。むかしエヂプト人は死體を塩づけにしてきれいにまいて取つておきましたが、それが何千年の後までのこつてゐるミイラです、何と皆さん、塩の力は大きなものではありませんか

満洲の大きな風車

海水を貯水池にくみ上げる満洲式の大きな風車で普蘭店ふきんでも汽車の窓から見えます

【上】貯水池に海水を入れる水車――貯水池が高いところにある塩田ではかういふ水車で海水をとり入れます、しかし大潮の日にしぜんに海水が入るやうになつてゐる塩田もあります

【中】貯塩場で塩をたいにつめてゐるところ――高い山のやうなのはみんな塩で、クリーがシャベルで入れてゐます、日光が白い塩にはんしやして目もあけて居れぬやうにギラ／＼光り、クリーたちはあせを一ぱいかいてしごとをしてゐます（貔子窩の東拓塩田でうつす）

【下】ジャンクにつんでゐるさころ――貯塩場でまたいにつめられた塩はクリーがかついでジャンクにつんで汽船迄もつて行きます

こほろぎ
田邊昌生

おにはの　石の下で
ころ　ころ　ころ　さ
こほろぎ　が　ないてゐた。
でんき　を　つけたら、
なき　やんだ

犬
宇治原猛雄

ワンワンワン　さ　ほえついた
ぼく　も　ワンワン　さ　いつたら
にげちやつた

鳳凰城の記念碑

安奉線をあらしまはつた匪賊をうまく手なづけ、そして人じちにつれていかれた日本人をさりもどすためにいつて、きよ年の秋、鳳凰城で匪賊のためだましうちにあつて戰死した友田縣參事官、西秘書、白井指導官、劉通譯官、鳳凰城警察の賀門、藤井巡查部長など六人の方々をながくおまつりするために鳳凰城の鳳城公園に記念碑をつくつてゐました。こんどできあがりましたので、十月十三日の朝九時からなくなられた方々の一しゆう年ゐれいさいとこの記念碑のおいはひさ一しよにするさうです。

秋の青空

今は樂しい季節　いざ、朗らかに　嬉しい氷滑の冬も近い

みなさん「青い空青い から見てゐましよ」といふ淋しい童謠がありますね。たしか母さんがお留守で、そのお歸りを門に出て待つてゐるのでした。あの歌には時季はかいてなかつたかと思ひますが、それでも秋のことゝ考へられます。日本の空の色の一等濃く美しいのは秋、次に冬ですが、冬は寒くてなか〳〵母さんのお歸りを御門に出て立つて待つてゐるのは大變です。こゝえさうなのを我慢して出たところで、なか〳〵呑ん氣にお空なんか見て突つ立つては居られません。

足ぶみしたり手に息を吹きかけたり、トボンと立つては居られますまい。あの童謠はさても淋しい調子でしたが、一たい大人は昔からむやみに秋は淋しいものにきめ、何の罪もない蟲の聲まで、悲しいときめてしまつたのは少し變です。寒い冬がくるさか、カン高い變化のない細い音がつゞくから悲しくなるさか、理窟はいろ〳〵つきますが、しかしものゝ稔る時、ふさる時、スキーやスケートの出來る冬が近づくのださいつて、やはり喜ぶはうが本當でせう。少くとも昭和日本の少年少女諸君は秋を樂しい時として、それこそ秋の青空のやうに、ほがらかに喜んで下さい。

あひる　石井勝

おいけにあひるが　およいでる
いつも　二つならんで
があがあ　ないてるよ。

かーてん

ゆーらり　かーてん
風が　ふくと
ゆーらりこ
ゆーらり　かーてん
おもしろ　さうだなあ。

なぜ秋の空は美しいでせう

おほづかみにいへば、秋は空氣が乾いてゐて水蒸氣が春や夏より少く、高氣壓がよくシベリヤから日本まで押し出して來て、晴れた日が多いから、空の色が美しいのです。日の光りが地球の上まで來る途中、塵や、水蒸氣の小さい〳〵人目にわからぬほどの粒々や、空氣そのものゝ粒々にぶつかると、一部分の光がはね返されて散らばります

空氣のつぶのやうな小さいものに當つて散らばるのは、七色にわけられる日の光りのうち、虹でいつたら紫や青の側にある光だけです

その散らされかたが激しくなると、お日樣の光りのうち赤や黄色に近い方の光だけしか地球上にとゞかなくなります。朝日や夕日の光は地球を包む空氣中をはすかいに長い間とほつて來る途中で紫青緑の光りを散らされてしまひ、赤い光だけがとゞくので赤々と見えるのです。

陽が沈むと暮れる滿洲

高氣壓が太平洋にがん張つてゐて、そこからアジヤ大陸に海風を送り込む春や夏は、日本は南風や東風が多くて暖かいかはりは、海上の水氣をタツプリ持つた風のため、その水蒸氣に邪魔されて、秋ほどの青空は、晴れた日にも見られません。秋から冬にかけて、高氣壓はシベリヤから支那大陸にすわりこみ、そこから寒い乾いた風を太平洋に吹き送るやうになります。この風も日本海を渡る時に水氣を運んでは來ますが、これは日本のまん中を貫く大山脈の屏風にぶつかつてみんな雨や雪にして北陸地方つまり裏日本に落してしまひ、表日本へ西風や北風になつて吹いて來る頃にすつかり乾き切つてゐます。おかげで寒いかはりには日光は邪魔するものが少くて空氣のつぶだけに照り返され、美しい濃い青空が仰がれます。その代り日が入るとすぐ暗くなり、春や夏ほど日の入つた後の空の照りかへしがきかなくなつて來ます。みなさんご承知のやうに滿洲國あたりは空氣が乾いてゐて、いつも日本の秋の日のやうにまつ赤な日が沈むとすぐ暗くなります。

一年前の回顧

武裝移民團來滿（十月八日）

開拓者として最も統制ある組織のもとに固められた長野、新潟、群馬を境に北へ十一縣から選拔された拓務省肝煎りの第一武裝移民團は總指揮者歩兵中佐市川益平氏ほか數氏に引率されて、八日入港のばいかる丸で雄々しくも目指す滿洲の表玄關大連に第一歩を印しました、この選ばれた光榮ある移民團は待合所内に小憩ののち、埠頭差廻しの列車に乘つて午前九時五十分大連驛を華々しく出發しましたが、奉天に二泊、ハルビンに二泊、かくて松花江の流れを便船によつて佳木斯に向ふといふことでした。

秋も名殘を……（同九日）

八日の午後から俄然下つて來た氣溫は、同日最低九度三を示して秋に入つてのレコードを示しましたが、九日は朝七時四十分から時雨が來て、同四十六分よりうづら豆大の雹を交へ、冷たくガラス戸を打つて嚴寒を思はせました。陽がのぼつて風は落ち、氣溫はやゝ上り十二度八を示し、この日曜の各所の運動會や催し物に惠みを與へましたが、これが今年の和かさの終りだらうといはれました。

共產黨の陰謀發覺（同十日）

九日午前逮捕された川崎第百銀行大森支店襲撃ギャング今泉善一の懷中から裁判所、刑務所、警視廳を襲撃すべくこれに要する資金を吸收せよといふ共產黨本部からの指令が出ました。これによつて今泉は共產黨直轄の資金局中央部に關係する重要人物で、本部は非常手段をもつて資金を吸收する計畫をたて大々的活動を企てゝゐたことがわかりました。

我軍紅槍會匪擊退（同十一日）

午前四時海倫西方に集結した紅槍會匪六百は我が平賀部隊を襲撃したるも我主力に散々擊退され北方に逃走しました、敵死體百五、我が死者は田村特務曹長以下七名、負傷は九名でした。

英婦人射殺さる（同十二日）

朝九時三十分頃英米煙草支店々員英國人ウトルケ夫人が子供二人を連れて自動車にて吉林街に差掛つたところ警官の服裝した賊三名現はれ子供二人を拉致せんとしたのを夫人が身を以て抵抗したので賊は夫人を射殺逃走しましたがハルビン附近のギャングの一味らしいとのことでした。

支那の國論不統一（同十三日）

リットン報告書に對する日本の輿論一致に反し、支那においては今日に至るも、なほ國論の統一行はれず、支那の對聯盟態度は國内の紛爭と相俟つて益々根底のない空元氣のものとなりました。よつて蔣介石や羅文幹はこの情勢を憂ひ張學良に對し「日本の輿論一致し近く聯盟に態度を闡明せんとしてゐるが、我國の現狀は寒心に堪へざるものあり、貴下はよろしく北方の輿論を統一し、一致して對外に當られたい」と電報を發しました。

改組問題圓滿解決（同十四日）

紛糾に紛糾を重ねて來た大連中央卸賣市場の改組問題は午後四時市役所側から小川市長、岡野助役、當業者側から濱部、田淵、山縣の各代表それに支那側全部市長應接間に會合呉越同舟、劇的場面の裡に圓滿解決しました。

家庭滿洲語　紙上講座

第廿九課

一
(1) 有日頭（イオ(ウ)イー トウ）（有太陽）
(2) 沒有風（メー(イ) イオ(ウ) フ(オ)ン）
(3) 好天氣（ハーオ テ(イ)エヌ チ）
(4) 天氣暖和（テ(イ)エヌ チ ヌ(ウ)オアヌ ホ(ア)）
(5) 外頭不（ワエ(イ) トウ ブ）

二
(1) 看孩子（カ(ヌ) ハエ(イ) ツ）
(2) 小心（シアオ シ(ヌ)）
(3) 孩子哭（ハエ(イ) ツ ク(ウ)ー）
(4) 怎麼了（ツエ(ヌ) モ ラ）
(5) 他餓了（ター オ(ア) ラ）
(6) 出去玩見（ツ(ウ)ー チ(ウイ) ウア(ヌ) ル）冷（レ(ラ)ーン）

三
(1) 要。那個（ヤオ ナエ(イ) コ(カ)）
(2) 要。這個（ヤオ ツエ(イ) コ(カ)）
(3) 那個呢（ナエ(イ) コ(カ) ネ(イ)）
(4) 不要。那個（ブー ヤオ ナエ(イ) コ(カ)）
(5) 這個頂好（ツエ(イ) コ(カ) テ(イ)ーン ハオ）
(6) 那個頂不好（ナエ(イ) コ(カ) テ(イ)ーン ブー ハオ）
給他奶（ケー ター ナーエ(イ)）

【譯語】

一
(1) 日が出て居る
(2) 風が無い
(3) 好い天氣
(4) 陽氣が暖い
(5) 外は寒くない
(6) 出て往つて遊ぶ

二
(1) 子供を守りをする
(2) 氣を附ける
(3) 子供が泣いた
(4) どうしたか
(5) 彼は腹が透いた
(6) 彼に乳を遣る

三
(1) どれが欲しいか
(2) これが要る
(3) あれは？
(4) あれは要らない
(5) これが一番良い
(6) あれが一番惡い

【說明】

看は二樣の調子が有つて普通の場合は第四聲で（見る）といふ譯であるが、看・と第一聲に調子を更へると（守る・番をする・）といふ意味に看はるのである。

頂は形容詞の最上を表す言葉で（最も――）又は（一番――）といふ意味に使はれる。

發音上の注意

日　イーは（リー）又は（ジー）と讀ち易い音で有るが、（リ）や（ジ）の音は全然無い、此音を發するには舌の尖を内方に曲て上顎に着けずに（イ）音を發するのであるが、口の形迄も（イ）音を發する樣に横に平たく引いてはいけない、上下の唇を成丈け離して置いて、其儘ツー又はスーの發音の後尾に附いて來る――といふ譯（即ち一種の母音）を出せば内方に曲た舌端に輕き微動を覺える譯で、純粹のイーではないことが判る。（第四課參照）

暖　ヌ(ウ)オアヌは單純な（ノアヌ）又は（ヌアヌ）ではない、口先を尖らせる氣味のヌ(ウ)から出て次第に口を大きく開けて行く間にオアの音が出て最後に輕く（ヌ）で終る樣にする。

和　ホ(ハ)は（ハ）を發音する樣な口つきにして置いて、其儘舌根の奥から（ホ）を發する樣にすればよい。

冷　レ(ラ)ーンの發音は動もすれば口をつぼめた（ローン）と成りたがるから、練習としては成るべく口を開け續けた儘、寧ろ（レーン）と發した方がよい。

前週の答

(1) 這個很好
(2) 那個很不好
(3) 疊衣裳
(4) 換乾淨的
(5) 我要好的
(6) 沒有好的
(7) 那個對
(8) 這個對
(9) 那個不對
(10) 怎麼不去

【問題】　次の言葉を支那語に譯せ

(1) 陽氣は寒くない
(2) 内は暖い
(3) 外は大層寒い
(4) 彼に菓子を遣る
(5) 門（入口）の番をする
(6) 品物の番をする
(7) 最も多い
(8) 一番少い
(9) これが一番大い
(10) あれが一番小い

今週の獻立　大連彌生高女五年生

	朝	晝	晩
日	味噌汁（白菜、油あげ）、鯛デンブ、胡瓜奈良漬	うどんの信田煮（奈良漬）	燒松茸とたこの柚子酢、鯿パン粉揚げ粉吹き芋
月	味噌汁（わかめ、油揚）、大根おろし、海苔の佃煮	白菜と油揚の炒煮	清汁、まるめ鯿、葱、鮪の軟煮、里芋旨煮、ほうれん草、燒松茸のしのびわさび
火	トーストパン、馬鈴薯とハムのサラダ、紅茶、リンゴ	牛蒡の信田巻	鶏挽肉と春菊の清汁、ヤマトフイレットステーキ
水	味噌汁（油揚大根）、ふき豆、らつきやう漬	豆腐、人參、隱元の炒煮	清汁（ほうぼう、三つ葉、海苔）、栗子鶏丁
木	味噌汁（麸、油揚、春菊）、金平牛蒡、紫蘇の佃煮	しやくし菜とハムの炒り煮	豆腐の滿月蒸、えびそぼろあんかけ、鯑の照燒
金	味噌汁（豆腐、葱）、昆布の吉野煮	鯿の蒲燒、大根おろし	肉糸湯、芙油鶏（鶏と卵の揚物）
土	バタ、トースト、果汁（りんご）、ボイルポテト、紅茶	チキンライス、福神漬	松茸鶏片（鶏と松茸の炒煮）、柿のおろし和へ、清汁（さうめん、ハシベン、春菊）

も

WAKAMOTO わかもと

三十日量 一圓六十錢

胃腸

病原因に作用する酵素劑

藥劑を服用させて豫期の效果が現れなくては、患者の不滿はいふ迄もなく、醫家としても面目を失する。といつて例へば、胃酸過多症に重曹劑を服用させると、胃酸過多症の一症候である呑酸は解消して、一時患者を滿足させるが、呑酸の原因である胃酸過多症そのものを治癒する效果に缺けるから、思慮ある醫家は、一の症候だけを解消して病源を治癒する効のない對症藥劑を服用させることは屢々躊躇する。

然るに「わかもと」は、症候だけを解消する對症藥劑と異り、先づ胃腸疾患の根源を治癒するを目的とする活性酵素劑である。――即ち「わかもと」中の多種活性酵素は、衰退した胃腸の組織細胞を再生賦活して、健全な機能に更生させる作用が顯著であるから、「わかもと」だけで胃酸過多症、胃弱、胃下垂、胃潰瘍、腸カタール等を根源から治癒に導く、――斯くして原症が治癒する結果、原症の症候である呑酸、胃痛、膨滿感等は必然的に解消する。

便秘……更に、便秘に於ても、「わかもと」は下劑の樣に腸を刺戟して一時的に便通をつける對症的作用でなく、腸の組織細胞を根源から强健にして蠕動を正調するため、頑固に停滯せる便も遂に腸の自力で排泄されるに至り、併も下劑の如く危險な副作用もなく、習慣性も絕對に伴はない。

榮養

一般 榮養劑に優る酵素榮養劑

榮養劑を必要とする程の衰弱者は必ず胃腸も衰弱してゐる。――この種の衰弱病者には種々の榮養劑を服用させても胃腸が衰弱してゐる爲に榮養の吸收が充分に行はれず、たとへアミノ酸劑の樣な吸收され易い性質の榮養劑だとしても、每日僅か數瓦を服用させて稀薄に榮養素を補給した位では、衰弱の恢復が捗々しくないのが當然である。

然るに、單なる榮養劑でなく、酵素榮養劑である「わかもと」は、先づその酵素の作用によつて衰弱した胃腸を健全にし、食慾を增進して、胃腸をして專ら榮養の吸收に當らしめるから、三度々々の食餌からだけでも、一日服用させる榮養劑の十數倍、――即ち、數十瓦、數百瓦の榮養素が吸收されるは容易である上に、更に「わかもと」中の可溶性の蛋白、脂肪、含水炭素、無機鹽類、各種ヴイタミン等の榮養素が補給されるので、單なる榮養劑を服用させても著効のなかつた慢性胃腸病者、結核、虛弱兒等も「わかもと」を服用せしむれば、能く肉つき、體重をまし、衰弱を恢復するに至るのである。

脚氣……近來、脚氣の豫防と治療に卓効あるヴイタミンBが、貧血の治療にも著効あることが立證されたが、「わかもと」中の豐富なヴイタミンBは、組成中の鐵分との綜合効果により、從來、鐵劑又は砒素劑を以てしても捗々しくなかつた貧血患者に、血色素を增加させ、健康人特有の紅潮を呈せしめるに至るは、醫家も驚異とする處である。

(藥價低廉・榮養と育兒の會・發賣)